

令和元年度
川越市文化芸術及び生涯学習に関する
意識調査 報告書

川 越 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の内容.....	1
3 調査の設計.....	2
4 回答者の属性.....	2
5 集計と表記.....	4
II 調査票と回答結果	5
III 調査結果の分析	20
A 文化芸術の活動について.....	20
問1 文化芸術の鑑賞内容.....	20
問2 文化芸術の鑑賞場所.....	23
問3 文化芸術の鑑賞をしていない理由.....	24
問4 今後の文化芸術の鑑賞内容.....	26
問5 自ら文化芸術の活動をした内容.....	29
問6 自ら文化芸術の活動をした場所.....	32
問7 自ら文化芸術の活動をしていない理由.....	33
問8 今後、自ら文化芸術の活動をしたい内容.....	35
問9 文化財等の保存・活用の活動への参加の有無.....	39
問10 文化財等の保存・活用の活動に参加していない理由.....	41
問11 文化財等の保存・活用の活動への今後の参加意向.....	43
問12 「川越の文化」という言葉のイメージ.....	45
問13 芸術鑑賞や文化活動の必要性.....	48
問14 文化活動や芸術家の支援のために必要なこと.....	50
問15 文化活動をもっと活発にするための市の取り組み.....	52

B	生涯学習の活動について	55
問 17	生涯学習の内容	55
問 18	生涯学習の手段	58
問 19	生涯学習情報の取得手段	61
問 20	生涯学習で得た知識・技能や経験の活用	64
問 21	生涯学習をしていない理由	66
問 22	今後の生涯学習の意向	69
問 23	地域や社会の活動への参加意向	72
問 24	多くの人が地域や社会の活動に参加するために必要なこと	75
問 25	市民活動・生涯学習施設に期待する運営・役割	78

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の文化芸術及び生涯学習に関する意識や具体的活動状況を把握し、今後の支援施策策定のための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査の内容

(1) 文化芸術に関する意識調査

- ①文化芸術の活動について（問 1～問 8）
- ②文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動について（問 9～問 11）
- ③文化活動について（問 12～問 15）
- ④自由意見（問 16）

(2) 生涯学習に関する意識調査

- ①生涯学習の活動について（問 17～問 22）
- ②地域や社会での活動について（問 23・問 24）
- ③市民活動・生涯学習施設について（問 25）
- ④自由意見（問 26）

3 調査の設計

- (1) 調査対象地域 川越市全域
- (2) 調査対象 川越市在住の満 18 歳以上の市民（令和元年 7 月 1 日現在）
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 川越市住民基本台帳から抽出（無作為抽出）
- (5) 調査方法 郵送法を使った自記式調査票（郵送による配布・回収）
- (6) 調査期間 令和元年 7 月 30 日から令和元年 8 月 16 日

4 回答者の属性

(1) 市全体

内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 [※] 回収率 (%)
市全体	300,160	100.0	3,000	1,338	44.6

※ 総回答数(1,343)から白紙による回答数(5)を除いて算出

(2) 性別[※]

区分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 回収率 (%)
市全体	300,160	100.0	3,000	1,338	44.6
男性	149,494	49.8	1,500	575	38.3
女性	150,666	50.2	1,500	732	48.8
その他／答えたくない	—	—	—	7	—
無回答	—	—	—	24	—

※ 有効回収率における女性の割合と男性の割合に大きな差があることに注意が必要である。

(3) 年齢別

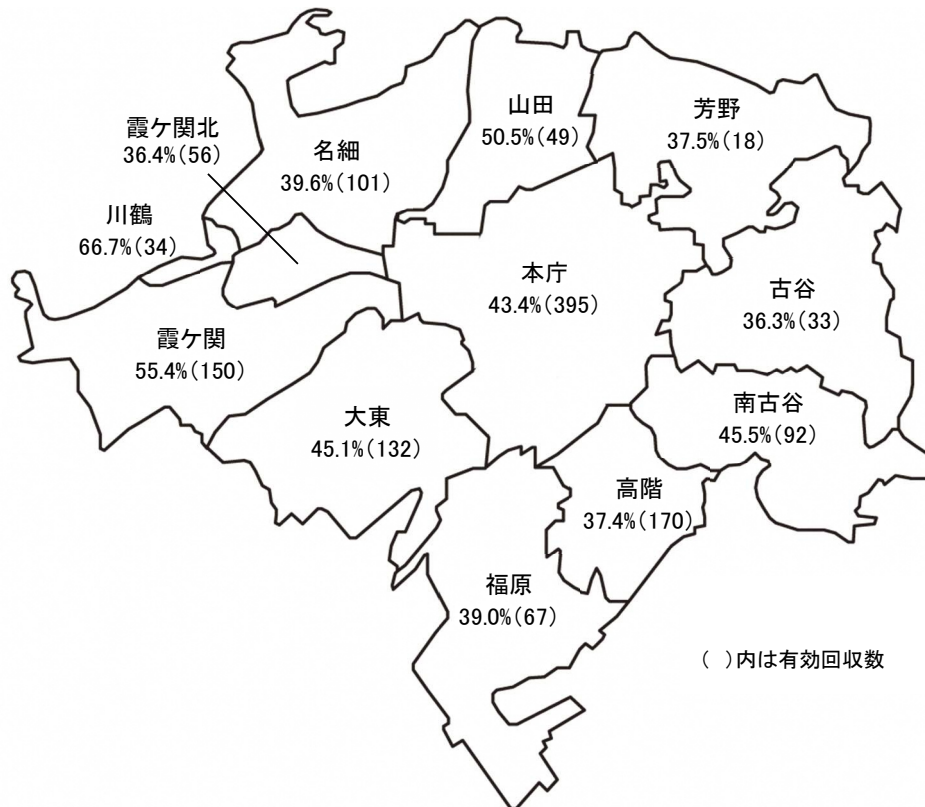
区分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 回収率 (%)
市全体	300,160	100.0	3,000	1,338	44.6
18・19 歳	6,898	2.3	47	8	17.0
20-29 歳	37,829	12.6	446	103	23.1
30-39 歳	42,293	14.1	474	189	39.9
40-49 歳	56,039	18.7	544	231	42.5
50-59 歳	44,617	14.9	398	191	48.0
60-69 歳	41,777	13.9	417	251	60.2
70 歳以上	70,707	23.6	674	337	50.0
無回答	—	—	—	28	—

※ 有効回収率における 18・19 歳の割合が少ないことに注意が必要である。

(4) 地区別

区分	内訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有効 回収数	有効 回収率 (%)
市全体		300,160	100.0	3,000	1,338	44.6
本庁地区		91,280	30.4	911	395	43.4
芳野地区		4,715	1.6	48	18	37.5
古谷地区		9,059	3.0	91	33	36.3
南古谷地区		20,359	6.8	202	92	45.5
高階地区		45,332	15.1	455	170	37.4
福原地区		17,404	5.8	172	67	39.0
大東地区		29,504	9.8	293	132	45.1
霞ヶ関地区		27,023	9.0	271	150	55.4
川鶴地区		5,100	1.7	51	34	66.7
霞ヶ関北地区		15,298	5.1	154	56	36.4
名細地区		25,295	8.4	255	101	39.6
山田地区		9,791	3.3	97	49	50.5
無回答		—	—	—	41	—

【地区別区分図】



5 集計と表記

(1) 回答率

回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

誤差を考慮し、nが10未満のものについては、コメントしていません。

(2) 表記

調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

(3) 標本集計の誤差

今回の集計は、対象者（母集団 300,160 人）から一部を抽出した標本調査です。そのため、母集団に対する標本誤差が発生します。

標本誤差は、次の公式で求めます。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 回収数（比率算出の基数）
 P = 回答の比率（%）

《標本誤差早見表》

単位:%

基数（n）	回答の比率（P）				
	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,338	±1.6%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.7%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

Ⅱ 調査票と回答結果

文化芸術及び生涯学習に関する市民アンケート ご協力のお願い

日頃皆様には、本市の文化芸術の振興及び生涯学習の推進にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、川越市では、市民の皆様の文化芸術及び生涯学習に関する意識や具体的な活動内容などについてご意見を伺い、それぞれの活動を支援していく施策の貴重な資料として活用させていただくため、市民アンケートを行います。

この調査は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の方から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年7月

川越市長 川合 善明

◎調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、個人を特定したかたちで公表されることは一切ございません。ありのままお答えください。

【ご記入に当たってのお願い】

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. 黒のボールペンまたは濃い鉛筆でご記入ください。
3. アンケートは、「A 文化芸術に関する意識調査」「B 生涯学習に関する意識調査」「C あなたのことについて教えてください」の順に構成されております。
4. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によってはお答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。ただし、質問によって○をつける数を「1つに○」「○はいくつでも」などと指定がありますので、その範囲以内でお答えください。
6. 「その他」にあてはまる場合で、() がある場合は、() 内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。

ご記入が終わりましたら・・・

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて **8月16日(金)** までにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。

※返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。

【お問い合わせ先】川越市 文化スポーツ部 文化芸術振興課

埼玉県川越市元町1丁目3番地1(本庁舎5階)

☎(049)224-6157(直通)

FAX(049)224-8712

※各選択肢に続く数値は回答結果(%)を表しています。

A あなたの文化芸術の活動についておたずねします

問1 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に下記の演目等に関する公演や展示会等を鑑賞しましたか。（○はいくつでも）（n=1,338）

1. クラシック音楽（15.0） 2. ポピュラー音楽（22.4） 3. 美術（21.4）
 4. 演劇（6.0） 5. オペラ・ミュージカル（7.1） 6. バレエ・ダンス（5.7）
 7. 日本舞踊（1.7） 8. 歌舞伎・能・狂言（3.2） 9. 邦楽（3.4）
 10. 民俗芸能（4.5） 11. 落語・演芸（6.4） 12. 映画・映像（41.0）
 13. 茶道・華道（3.8） 14. 文芸（2.1）
 15. 文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）（31.8）
 16. その他（ ）（1.6）
 17. 鑑賞していない、鑑賞できなかった（32.0） → 【問3へお進みください】
 <無回答>（0.7）

※上の用語の詳しい意味、例については「用語説明」をご覧ください。

用語説明

◆演目について

クラシック音楽	管弦楽、吹奏楽、器楽などによる、西洋の芸術音楽
ポピュラー音楽	ジャズ、ロック、ポップス、フォーク、歌謡曲、演歌などの大衆的な音楽
美術	絵画、工芸、写真、書道などの芸術
邦楽	琴、三味線、尺八など、日本固有の伝統音楽
民俗芸能	獅子舞、万作、祭囃子、民謡など、各地域で受け継がれている芸能
演芸	漫談、浪曲、お笑い、マジックなどの芸能
文芸	文学、詩、俳句など言語によって表現される芸術

◆文化財

文化財	<p>文化財保護法に基づき、国・県・市などにより指定・選定・登録されているもの。たとえば、川越市には以下のようなものがあります。</p> <p>[有形文化財]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大沢家住宅 ・喜多院 ・時の鐘 等 <p>[民俗文化財（有形・無形）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石原の獅子舞（ささら獅子舞） ・川越氷川祭の山車行事 ・川越祭りばやし 等 <p>[重要伝統的建造物群保存地区]</p> <p>川越市川越伝統的建造物群保存地区 （・蔵造りの町並み：一番街を中心としたエリア）</p> <p>[登録有形文化財]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉りそな銀行川越支店 等
-----	---

問1で、1. ～16. の鑑賞をしたと答えた方におたずねします。

問2 どこで最も多く鑑賞しましたか。(1つに○)(n=901)

川越市内

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. ウェスタ川越 (16.0) | 2. やまぶき会館 (1.6) |
| 3. 西文化会館(メルト) (1.9) | 4. 南文化会館(ジヨイフル) (1.4) |
| 5. その他() (18.8) | |

川越市外

- | | |
|----------------|---------------------|
| 6. 東京都内 (30.6) | 7. その他(市・区) (11.2) |
| | <無回答> (18.5) |

問1で、『17. 鑑賞していない、鑑賞できなかった』と答えた方におたずねします。

問3 その最も大きな理由1つに○をつけてください。(n=428)

1. 興味がない (22.9)
 2. 興味はあるが時間がとれない (32.0)
 3. 近くで観たい催し物をやっていない (9.6)
 4. どこでどんな催し物をやっているのかわからない (13.6)
 5. 入場料や交通費などの費用がかかりすぎる (7.7)
 6. その他() (12.6)
- <無回答> (1.6)

問4 今後、下記の演目等の中で、鑑賞してみたい演目等がありますか。
(○はいくつでも)(n=1,338)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. クラシック音楽 (29.2) | 2. ポピュラー音楽 (30.6) |
| 3. 美術 (23.9) | 4. 演劇 (17.2) |
| 5. オペラ・ミュージカル (28.7) | 6. バレエ・ダンス (14.1) |
| 7. 日本舞踊 (3.7) | 8. 歌舞伎・能・狂言 (21.9) |
| 9. 邦楽 (9.6) | 10. 民俗芸能 (5.6) |
| 11. 落語・演芸 (27.8) | 12. 映画・映像 (44.4) |
| 13. 茶道・華道 (4.9) | 14. 文芸 (2.5) |
| 15. 文化財(博物館や川越まつり会館の見学を含む) (24.6) | |
| 16. その他() (1.7) | |
| 17. 特にない (8.7) | |
- <無回答> (3.0)

問5 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に下記の演目に関して、自ら活動した（演じる、作品を創る、習う）ものはありますか。（○はいくつでも）（n = 1,338）

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|------------------|
| 1. クラシック音楽 (1.9) | 2. ポピュラー音楽 (3.2) | 3. 美術 (4.3) |
| 4. 演劇 (0.1) | 5. オペラ・ミュージカル (0.3) | 6. バレエ・ダンス (2.3) |
| 7. 日本舞踊 (0.6) | 8. 歌舞伎・能・狂言 (0.1) | 9. 邦楽 (0.5) |
| 10. 民俗芸能 (1.0) | 11. 落語・演芸 (0.2) | 12. 映画・映像 (1.0) |
| 13. 茶道・華道 (1.6) | 14. 文芸 (1.0) | |
| 15. その他 () | | (3.5) |
| 16. 自ら活動していない、活動できなかった (79.7) | →【問7へお進みください】
〈無回答〉 (3.3) | |

問5で、1.～15.の活動をしたと答えた方におたずねします。

問6 どこで最も多く活動しましたか。（1つに○）（n = 227）

川越市内

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. ウェスタ川越 (10.6) | 2. やまぶき会館 (1.8) |
| 3. 西文化会館（メルト）(3.1) | 4. 南文化会館（ジョイフル）(4.0) |
| 5. その他 () | (41.9) |

川越市外

- | | | |
|----------------|------------|--------------|
| 6. 東京都内 (12.8) | 7. その他 () | 市・区 (13.2) |
| | | 〈無回答〉 (12.8) |

問5で、『16. 自ら活動していない、活動できなかった』と答えた方におたずねします。

問7 その最も大きな理由1つに○をつけてください。（n = 1,067）

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 興味がない (29.7) | 2. 時間がない (30.1) |
| 3. 近くに活動の場所がない (2.2) | 4. 自分が参加できる催しが無い (10.8) |
| 5. 一緒に活動する仲間がいない (3.1) | |
| 6. いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない (7.1) | |
| 7. 参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる (4.0) | |
| 8. その他 () | (7.6) |
| | 〈無回答〉 (5.4) |

問 8 今後、下記の演目の中で、自ら活動したいと思うものはありますか。
(○はいくつでも) (n = 1,338)

1. クラシック音楽 (6.2) 2. ポピュラー音楽 (9.3) 3. 美術 (10.1)
 4. 演劇 (1.6) 5. オペラ・ミュージカル (1.7) 6. バレエ・ダンス (5.1)
 7. 日本舞踊 (1.8) 8. 歌舞伎・能・狂言 (0.7) 9. 邦楽 (2.1)
 10. 民俗芸能 (2.2) 11. 落語・演芸 (2.2) 12. 映画・映像 (3.9)
 13. 茶道・華道 (8.4) 14. 文芸 (3.0)
 15. その他 () (3.7) 16. 特にない (53.0)
 <無回答> (5.8)

問 9 あなたは、この1年間(平成30年8月～令和元年7月)に、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加したことはありますか。(お祭り、獅子舞などの伝統行事や、博物館の講座などへの参加も含みます。)(1つに○) (n = 1,338)

1. 主に川越市内で参加したことがある (13.5) →【問 11 へお進みください】
 2. 主に川越市外で参加したことがある () (市・区) (1.7)
 →【問 11 へお進みください】
 3. 参加していない、参加できなかった (81.9) →【問 10 へお進みください】
 <無回答> (2.9)

用語説明

歴史的遺産	このアンケートでは、文化財保護法に基づく指定を受けていない、まちに長く残されてきた歴史的価値のある資源をいいます。 地元の地域に長く残されている建物、工芸品や民俗芸能、祭礼や習慣までも歴史的遺産に含まれるといわれています。
-------	--

問 9 で、『3. 参加していない、参加できなかった』と答えた方におたずねします。

問 10 その最も大きな理由 1つに○をつけてください。(n = 1,096)

1. 興味がない (34.5)
 2. 時間がない (30.4)
 3. 近くに活動の場所がない (4.6)
 4. どうすれば参加できるか情報がなく、わからない (17.7)
 5. 参加費や交通費などの費用がかかりすぎる (1.9)
 6. その他 () (7.2)
 <無回答> (3.7)

**問 11 今後、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加してみたいと思いますか。
(1つに○) (n = 1,338)**

1. 参加してみたい (30.4)
2. 参加したくない (15.8)
3. どちらでもない (46.8)

<無回答> (7.0)

**問 12 「川越の文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強くお持ちですか。
(2つに○) (n = 1,338)**

1. 音楽、美術などの芸術 (1.6)
2. 伝統的なお祭、行事、芸能 (80.0)
3. 文化財や歴史的遺産 (69.7)
4. 他の都市や海外の人達との交流 (3.3)
5. 生活の中から生まれた知恵や工夫 (2.4)
6. 新しい価値観の創造 (1.1)
7. 学問や教育 (0.1)
8. 科学技術 (0.2)
9. その他 () (0.8)
10. わからない (5.2)

<無回答> (4.6)

問 13 あなたは、日常生活の中で、優れた芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行うことが大切だと思いますか。(1つに○) (n = 1,338)

1. 非常に大切だ (23.1)
2. ある程度大切だ (55.8)
3. どちらでもない (14.4)
4. あまり大切ではない (2.4)
5. まったく大切ではない (1.1)

<無回答> (3.2)

問 14 市が市民の文化活動や市内の芸術家を支援するには、どんなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) (n = 1,338)

1. 経済的支援 (45.9)
2. 活動施設等の優先的提供 (32.1)
3. 広報等によるPRの支援 (45.4)
4. 活動機会の積極的開催 (35.9)
5. 後継者育成への支援 (33.9)
6. 文化芸術の振興に寄与した方等の表彰 (5.6)
7. その他 () (1.6)
8. わからない (10.2)

<無回答> (3.8)

問 15 あなたは、文化活動をもっと活発にするために行なう市の取り組みとして、次の各項目が、どれくらい重要だと思いますか。(それぞれの項目1つに○)
(n = 1,338)

	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	無回答
a. 市民の文化活動に関する情報提供	1 (38.9)	2 (32.1)	3 (20.9)	4 (1.5)	5 (1.0)	(5.6)
b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供	1 (30.7)	2 (35.7)	3 (24.2)	4 (2.5)	5 (0.8)	(6.1)
c. 文化活動の指導者や研究者の養成	1 (27.8)	2 (34.2)	3 (27.2)	4 (3.5)	5 (1.3)	(6.0)
d. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1 (31.0)	2 (32.6)	3 (25.8)	4 (3.7)	5 (0.9)	(6.0)
e. 文化施設の整備、既存施設の活用	1 (27.8)	2 (37.6)	3 (25.6)	4 (1.9)	5 (0.9)	(6.2)
f. 練習・発表・創作等の活動への支援	1 (20.7)	2 (35.6)	3 (33.3)	4 (2.9)	5 (1.2)	(6.3)
g. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	1 (17.5)	2 (30.4)	3 (38.8)	4 (5.7)	5 (1.6)	(6.1)
h. 市内大学との連携による公演・講座の実施	1 (14.4)	2 (28.8)	3 (41.4)	4 (7.2)	5 (1.7)	(6.5)
i. 外国籍市民との相互理解の促進	1 (11.2)	2 (25.7)	3 (44.5)	4 (9.3)	5 (2.8)	(6.6)
j. 文化財保護のためのPRや人材の育成	1 (23.2)	2 (37.8)	3 (28.7)	4 (3.1)	5 (0.8)	(6.4)
k. 文化財や歴史的遺産の観光への活用	1 (28.8)	2 (37.2)	3 (24.4)	4 (2.8)	5 (0.9)	(5.9)
l. 民俗芸能の公開や後継者育成の促進	1 (25.6)	2 (37.6)	3 (27.3)	4 (2.4)	5 (0.8)	(6.4)
m. 子どもが文化に親しむ機会の提供	1 (43.7)	2 (32.6)	3 (16.7)	4 (0.6)	5 (0.9)	(6.4)

用語説明

◆問 15：取り組みの内容

市民の文化活動に関する情報提供	市内の団体・サークルや施設、催し物などの情報をまとめ、調べやすく提供すること
-----------------	--

問 16 川越市の文化や芸術に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

引き続き生涯学習に関するアンケートのご回答をお願いいたします。

B あなたの生涯学習の活動についておたずねします

本調査でいう『生涯学習』とは、自己の啓発や充実のため、生活の向上のためや職業上の能力の向上のため、自発的に行う学習活動のことを想定しています。

問 17 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に『生涯学習』をしたことがありますか。次の中からあてはまるものをお選びください。（○はいくつでも）（n=1,338）

1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）（22.6）
 2. 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）（15.2）
 3. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）（32.7）
 4. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）（11.3）
 5. 育児・教育（幼児教育、教育問題など）（5.8）
 6. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）（15.7）
 7. パソコン・インターネットなどの知識・技能（12.0）
 8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能（5.5）
 9. 自然体験や生活体験などの体験活動（4.6）
 10. その他の活動（ ）（1.3）
 11. していない（34.2） → 【問 21 へお進みください】
 12. わからない（2.4） → 【問 22 へお進みください】
- ＜無回答＞（2.5）

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 18 あなたは、『生涯学習』をどのように行っていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。（○はいくつでも）（n=814）

1. 公民館の講座や教室（17.8）
 2. 図書館の講座や教室（4.5）
 3. 博物館の講座や教室（4.3）
 4. 美術館の講座や教室（4.1）
 5. ウェスタ川越の講座や教室（9.8）
 6. その他の川越市の講座や教室（やまぶき会館・西文化会館（メルト）・南文化会館（ジョイフル）の講座や教室を含む）（7.5）
 7. 国・県・他市町村等の講座や教室（6.3）
 8. 学校（大学、各種学校等）の公開講座など（8.0）
 9. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室（22.0）
 10. 民間の通信教育（5.3）
 11. 同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動（24.0）
 12. 自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）（43.2）
 13. パソコン・インターネットなど（33.4）
 14. ラジオやテレビ（15.6）
 15. その他の活動（ ）（10.1）
- ＜無回答＞（1.8）

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 19 あなたは、『生涯学習』に関する情報をどのように得ていますか。
次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 814)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1. 川越市広報 (43.4) | 2. 公民館だより (11.3) |
| 3. 自治会の回覧 (13.5) | 4. 川越市のホームページ (5.8) |
| 5. ウェスタ川越イベント・インフォメーション (9.6) | |
| 6. 生涯学習情報誌マナビィガイド (1.4) | 7. 家族からの紹介 (3.3) |
| 8. 友人、知人からの紹介 (27.5) | 9. 新聞記事や折り込み広告 (13.6) |
| 10. 書籍・雑誌 (20.0) | 11. ポスター、チラシ (11.2) |
| 12. ダイレクトメール (2.9) | 13. ラジオやテレビ (13.5) |
| 14. インターネットなどによる検索 (45.9) | |
| 15. SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) (14.1) | |
| 16. その他の手段 () (4.1) | 17. わからない (1.7) |
- <無回答> (3.6)

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 20 あなたは、『生涯学習』を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 814)

1. 仕事や就職の上で生かしている (32.9)
 2. ボランティア活動に生かしている (8.7)
 3. 資格を取得した (9.8)
 4. 家庭・日常の生活に生かしている (40.9)
 5. 地域や社会での活動に生かしている (9.2)
 6. その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている (19.5)
 7. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている (6.4)
 8. 自分の人生がより豊かになっている (45.3)
 9. 自分の健康の維持・増進に役立っている (47.2)
 10. 学業、学校生活の上で生かしている (2.1)
 11. その他 () (0.7)
 12. 生かしていない (1.2)
 13. わからない (1.1)
- <無回答> (4.5)

問 17で『11. していない』と答えた方におたずねします。

問 21 あなたが、『生涯学習』を行っていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 458)

1. 仕事や家事が忙しくて時間がとれない (51.1)
2. 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない (7.0)
3. 費用がかかる (20.1)
4. 必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない (13.3)
5. 一緒に学習や活動をする仲間がいない (12.4)
6. 身近なところに施設や場所がない (7.9)
7. 自分の希望や実施時期・時間に合わない (17.7)
8. 家族や職場など周囲の理解が得られない (0.7)
9. きっかけがつかめない (24.9)
10. そういうことは好きではなく、面倒である (9.8)
11. 特に必要性を感じない (16.8)
12. その他の理由() (7.2)
13. わからない (2.0)

<無回答> (2.4)

問 22 あなたは、今後どのような『生涯学習』を試みたいと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 1,338)

1. 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など) (44.2)
2. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、社会問題など) (28.8)
3. 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など) (49.3)
4. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など) (25.0)
5. 育児・教育(幼児教育、教育問題など) (8.1)
6. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など) (16.8)
7. パソコン・インターネットなどの知識・技能 (21.4)
8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能 (13.2)
9. 自然体験や生活体験などの体験活動 (15.3)
10. その他の活動() (0.8)
11. 学習をしたいとは思わない (5.0)
12. わからない (6.0)

<無回答> (7.1)

**問 23 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。
次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 1,338)**

1. 学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動（10.7）
2. 地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など（13.2）
3. 子育て・育児を支援する活動（12.6）
4. 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動（15.7）
5. 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動（14.8）
6. スポーツ・文化活動（26.1）
7. 障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動（11.5）
8. 地域の環境保全に関する活動（9.3）
9. 国際交流に関する活動（10.3）
10. 防犯・防災活動（10.5）
11. 自治会活動（9.2）
12. その他（）（2.0）
13. 地域や社会での活動に参加したいとは思わない（8.2）
14. わからない（18.9）

〈無回答〉（5.5）

**問 24 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思えますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
(○はいくつでも) (n = 1,338)**

1. 地域や社会での活動に関する情報提供（51.9）
2. 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り（46.9）
3. コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること（28.2）
4. 活動の成果が社会的に評価されること（15.5）
5. 交通費などの必要経費の支援（22.3）
6. その他（）（4.3）
7. 特にない（4.6）
8. わからない（10.1）

〈無回答〉（4.6）

問 25 川越市では、市民の皆さんの自主的な学習活動を支援し、市民活動の場や生涯学習の機会の充実を目的とした市民活動・生涯学習施設（ウエスタ川越2階）が平成27年にオープンし、主体的な学びの場として活用されています。あなたは、この施設にどのような運営・役割を期待しますか。次の中から最もあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）（n=1,338）

1. 活動室・会議室などの貸出（6.1）
2. 多様な生涯学習講座の実施（22.9）
3. 学習講座やイベント情報の提供（13.8）
4. 利用者への相談支援業務（3.3）
5. 打ち合わせスペースの提供（1.2）
6. その他（ ）（1.6）
7. 特に期待することはない（9.1）
8. 施設があることを知らない（20.3）

<無回答>（21.7）

問 26 あなたが、自分自身の趣味、学習、地域の活動を進める上で、市に望むことがありましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

C 最後に、あなたのことについて教えてください

F 1 あなたの性別についておたずねします。(1つに○) (n = 1,338)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 男性 (43.0) | 2. 女性 (54.7) |
| 3. その他/答えたくない (0.5) | |
| <無回答> (1.8) | |

F 2 あなたの満年齢についておたずねします。(1つに○) ※令和元年7月1日現在 (n = 1,338)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 18・19歳 (0.6) | 2. 20～29歳 (7.7) |
| 3. 30～39歳 (14.1) | 4. 40～49歳 (17.3) |
| 5. 50～59歳 (14.3) | 6. 60～69歳 (18.8) |
| 7. 70歳以上 (25.2) | |
| <無回答> (2.1) | |

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。(1つに○) (n = 1,338)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 単身世帯 (15.8) | 2. 夫婦二世帯 (25.9) |
| 3. 二世帯世帯 (親と子) (47.5) | 4. 三世帯世帯 (親子と孫) (6.3) |
| 5. その他 () (2.2) | |
| <無回答> (2.3) | |

F 4 あなたのご職業は、この中のどれにあたりますか。(1つに○) (n = 1,338)

1. 農業 (1.5)
 2. 商工・サービス業 (自営業、家族従事者) (5.5)
 3. 自由業 (医師、弁護士、税理士、芸術家など) (1.9)
 4. 会社経営者・管理職 (会社、団体等の課長職以上) (5.5)
 5. 事務職 (一般事務、販売員など) (9.9)
 6. 専門・技術職 (研究者、技術者、教員など) (11.1)
 7. 技能労務者 (建設作業員、工員、運転手など) (4.4)
 8. 非正規社員 (パート・アルバイト・派遣社員) (15.2)
 9. 学生 (1.3)
 10. 家事専業 (14.5)
 11. 無職 (21.4)
 12. その他 () (5.7)
- <無回答> (2.3)

F 5 あなたのお住まいはどこですか。お送りした封筒の宛名右上にある名称をご確認の上、選んでください。(1つに○) (n = 1,338)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 本庁管内 (29.5) | 2. 芳野地区 (1.3) |
| 3. 古谷地区 (2.5) | 4. 南古谷地区 (6.9) |
| 5. 高階地区 (12.7) | 6. 福原地区 (5.0) |
| 7. 大東地区 (9.9) | 8. 霞ヶ関地区 (11.2) |
| 9. 川鶴地区 (2.5) | 10. 霞ヶ関北地区 (4.2) |
| 11. 名細地区 (7.5) | 12. 山田地区 (3.7) |
- <無回答> (3.1)

F 6 あなたの通勤、通学先はどこですか。(複数ある場合は主な場所1つに○) (n = 1,338)

1. 自宅 (農業、自営業、家事専業、無職など) (27.4)
 2. 川越市内 (自宅以外) (23.7)
 3. 埼玉県の他市町村 (18.2)
 4. 東京都 (12.7)
 5. その他 () (3.8)
- <無回答> (14.3)

お忙しいところ、調査にご協力くださりましてありがとうございました。

皆様の貴重なご意見、ご要望をできるかぎり川越市の文化芸術の振興及び生涯学習の推進施策に反映させるように努力してまいりたいと思います。

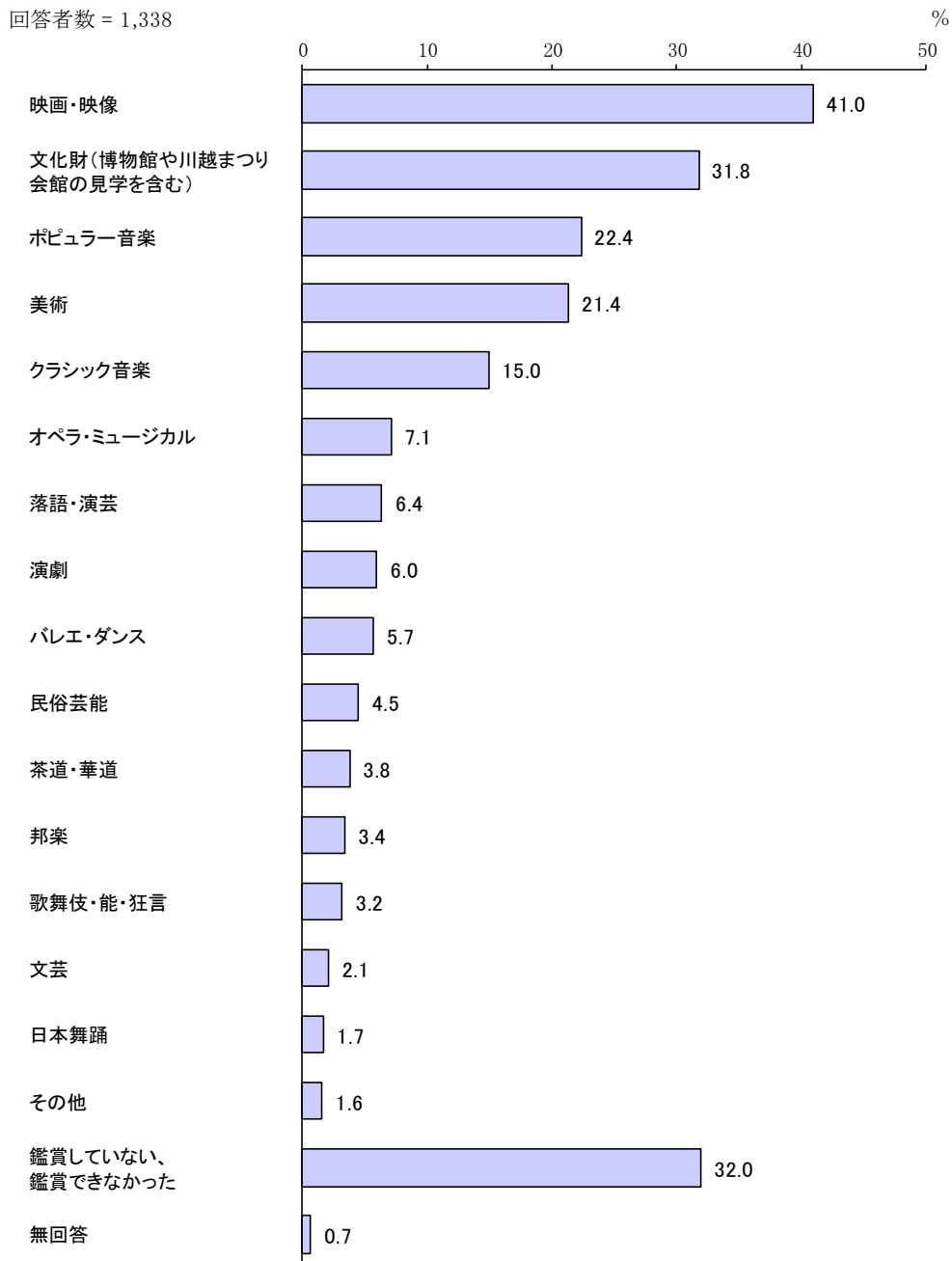
なお、本調査の集計結果等については、後日、川越市ホームページへ掲載する予定です。

Ⅲ 調査結果の分析

A 文化芸術の活動について

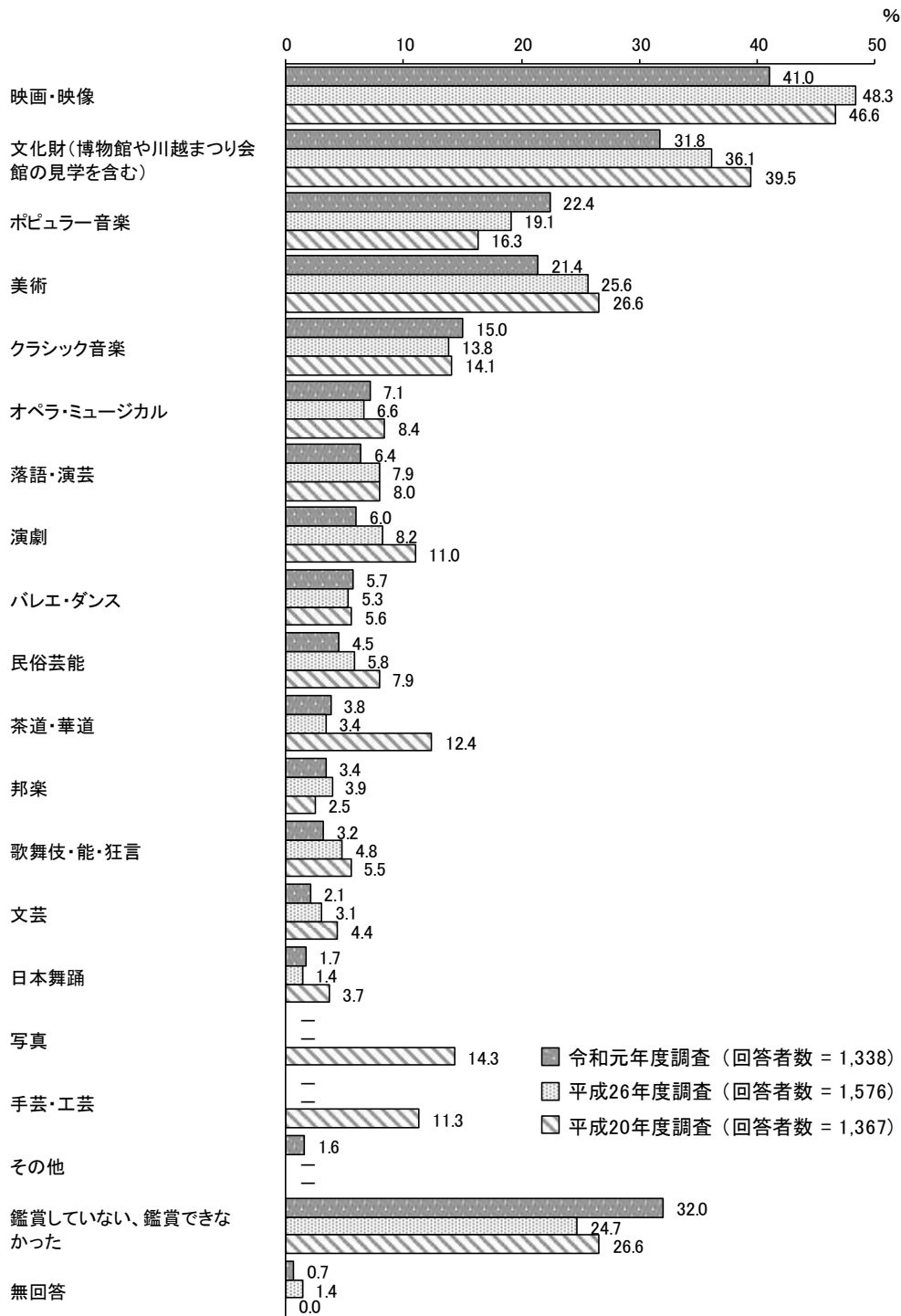
問1 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に下記の演目等に関する公演や展示会等を鑑賞しましたか。（〇はいくつでも）

「映画・映像」（41.0%）が最も多く、4割を超えています。以下「鑑賞していない、鑑賞できなかった」（32.0%）、「文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）」（31.8%）の順となっています。



【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「鑑賞していない、鑑賞できなかった」が 7.3 ポイント増加し、最多数の「映画・映像」が 7.3 ポイント減少しています。



※令和元年度調査、平成 26 年度調査には、「写真」「手芸・工芸」はありませんでした。また、平成 26 年度調査、平成 20 年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

平成 20 年度調査では、「茶道・華道」は「書道・華道」、「歌舞伎・能・狂言」は「歌舞伎・能楽・文楽」、「文芸」は「文芸・文字」という選択肢でした。

【性別】

性別でみると、男性は「鑑賞していない、鑑賞できなかった」(38.4%)が多く、第1位の回答となっています。

一方、女性の第1位は「映画・映像」(44.7%)で、男性で第1位となった「鑑賞していない、鑑賞できなかった」(26.5%)は第3位の回答となっています。この他、「落語・演芸」以外のすべての選択肢の割合が男性より高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財(博物館や川越まつり 会館の見学を含む)	その他	鑑賞していない、 鑑賞できなかった	無回答
男性	575	12.0	19.1	16.7	3.1	3.0	3.0	1.0	2.3	2.4	4.3	6.8	36.7	0.7	1.6	28.5	1.4	38.4	0.7
女性	732	17.5	25.4	25.0	8.1	10.2	8.1	2.3	3.6	4.2	4.5	6.0	44.7	6.0	2.6	34.8	1.8	26.5	0.5
その他/ 答えたくない	7	—	14.3	14.3	—	14.3	—	—	—	—	—	14.3	28.6	—	—	14.3	—	57.1	—

【年代別】

年代別でみると、「映画・映像」が20～60歳代のいずれの年代でも第1位の回答となっていますが、70歳以上では「鑑賞していない、鑑賞できなかった」(37.7%)が最も多くなっています。

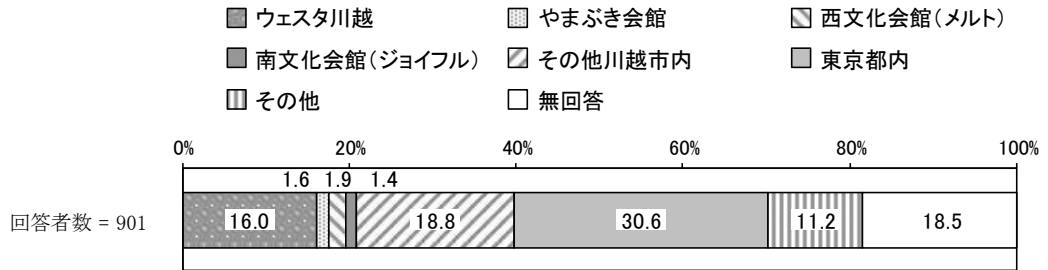
単位：%

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財(博物館や川越まつり 会館の見学を含む)	その他	鑑賞していない、 鑑賞できなかった	無回答
18・19歳	8	25.0	25.0	—	12.5	25.0	—	—	—	—	—	—	37.5	—	—	—	—	50.0	—
20～29歳	103	11.7	38.8	21.4	9.7	8.7	3.9	1.0	2.9	6.8	1.0	5.8	60.2	1.9	1.9	28.2	2.9	20.4	—
30～39歳	189	9.5	21.7	13.8	3.7	7.4	3.7	1.1	0.5	6.9	2.6	5.3	43.9	3.2	2.6	22.8	3.2	37.0	—
40～49歳	231	16.9	22.1	17.7	6.5	10.0	10.4	—	0.4	2.2	2.2	4.8	51.9	1.7	0.4	36.8	1.7	27.3	—
50～59歳	191	17.3	19.4	27.7	10.5	10.5	5.2	0.5	4.2	3.7	4.2	6.3	51.8	3.1	1.6	36.6	2.1	27.2	0.5
60～69歳	251	15.1	23.1	25.1	5.6	5.2	4.8	1.2	4.0	2.4	4.8	9.2	40.6	4.4	2.8	31.9	1.2	31.9	0.4
70歳以上	337	15.7	19.9	21.7	3.0	3.6	5.3	4.7	4.7	2.1	8.0	6.2	20.8	5.3	3.0	33.2	0.3	37.7	1.8

問1で、1～16の鑑賞をしたと答えた方におたずねします。

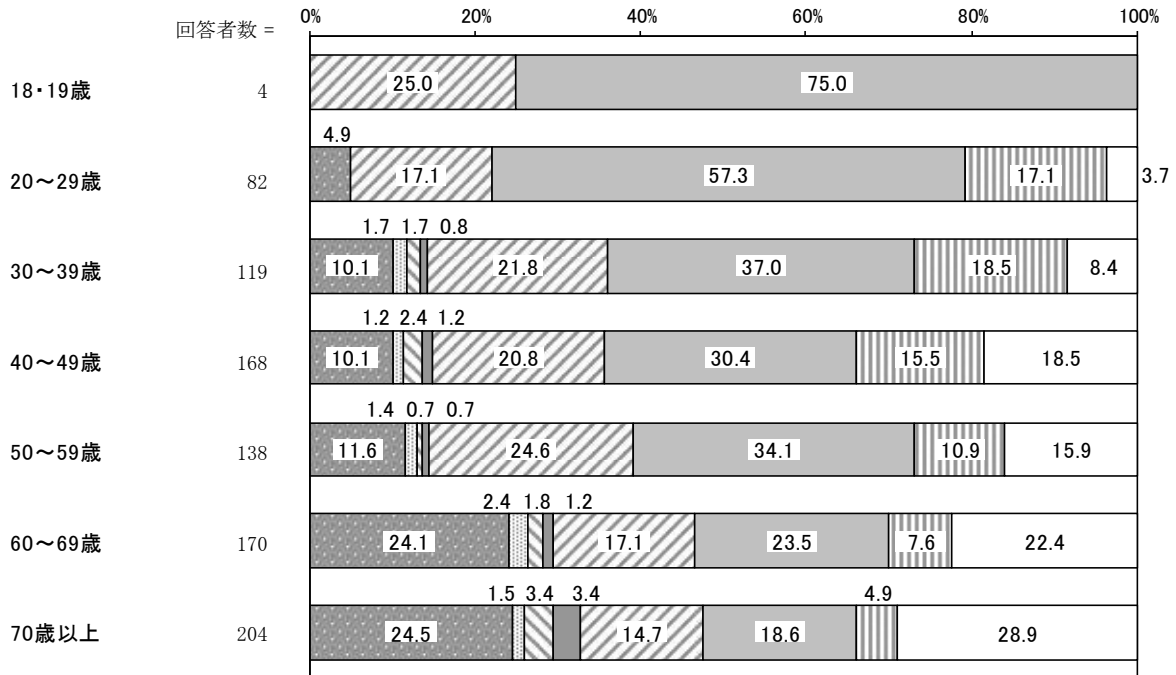
問2 どこで最も多く鑑賞しましたか。(1つに○)

「東京都内」(30.6%)が最も多く、約3割を占めています。次いで「その他の川越市内」(18.8%)となっています。



【年代別】

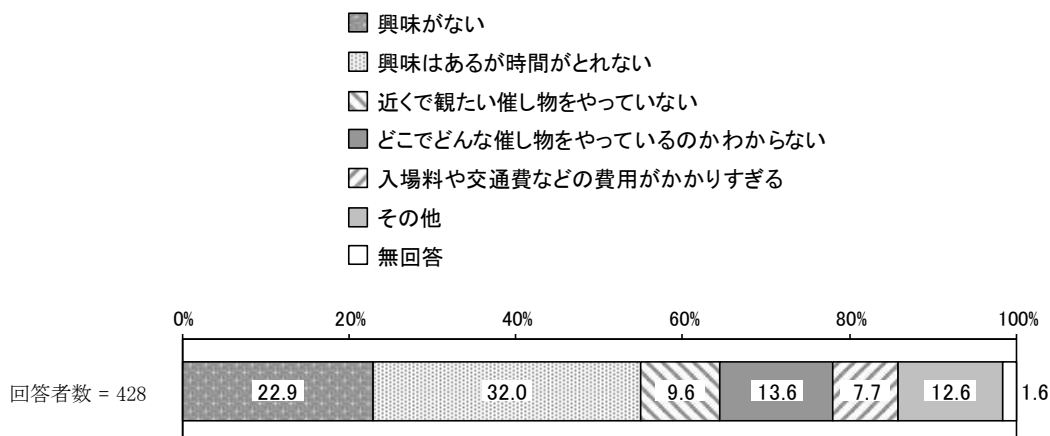
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ウェスタ川越」の割合が、年代が低くなるにつれ「東京都内」の割合が高くなる傾向がみられます。



問1で、『17.鑑賞していない、鑑賞できなかった』と答えた方におたずねします。

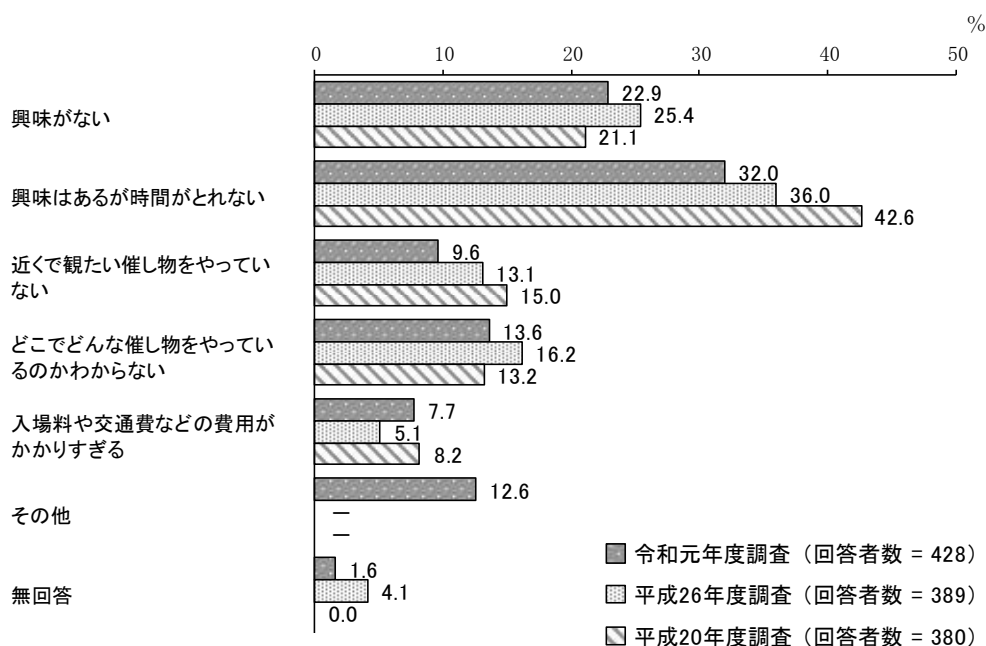
問3 その最も大きな理由1つに○をつけてください。

「興味はあるが時間がとれない」(32.0%)が最も多く、3割を超えています。以下「興味がない」(22.9%)、「どこでどんな催し物をやっているのかわからない」(13.6%)の順となっています。



【経年比較】

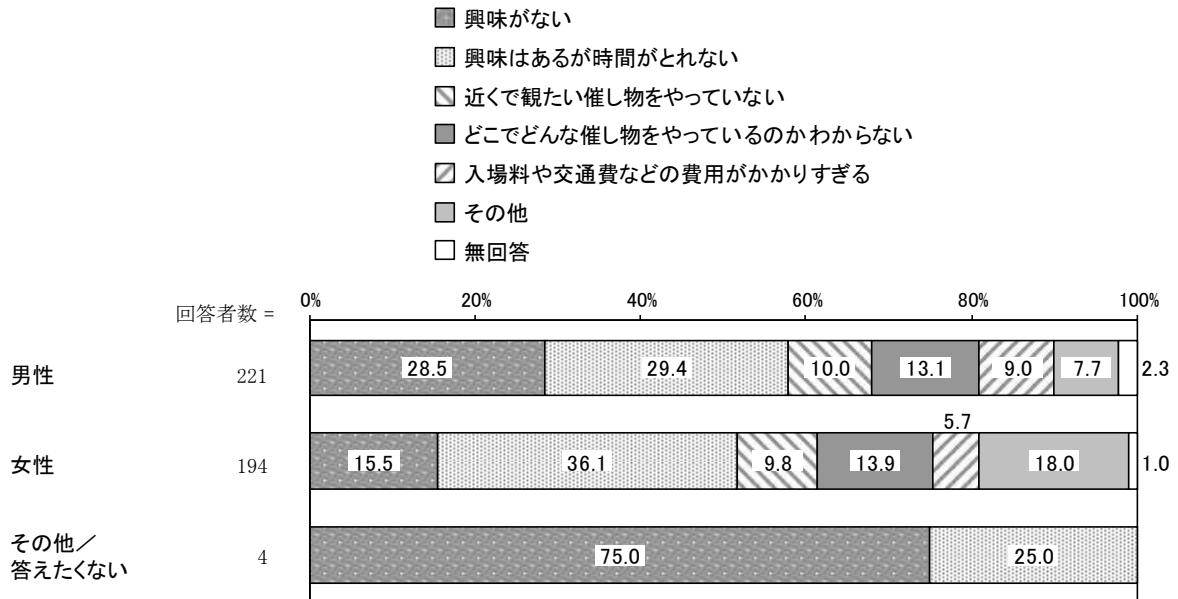
平成20年度調査、平成26年度調査とは選択肢が異なるため参考とします。



※平成26年度調査、平成20年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

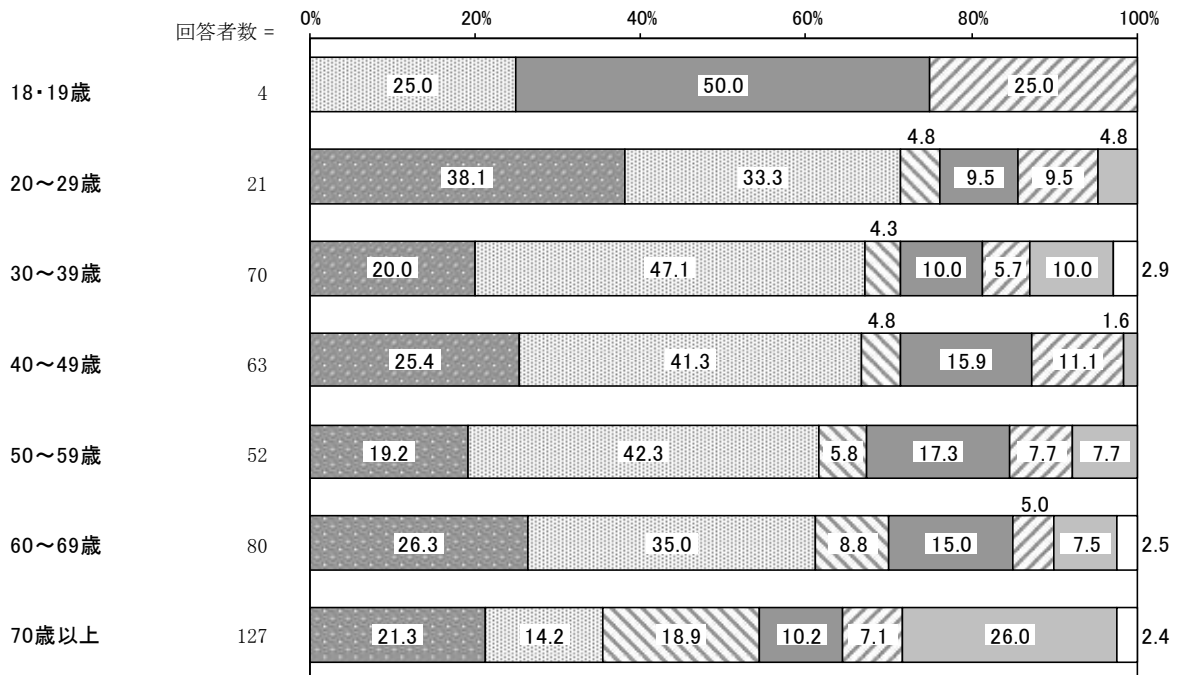
【性別】

男女とも「興味はあるが時間がとれない」が第1位の回答ですが、第2位の「興味がない」の数値に、13ポイントの大きな開きが見られます。



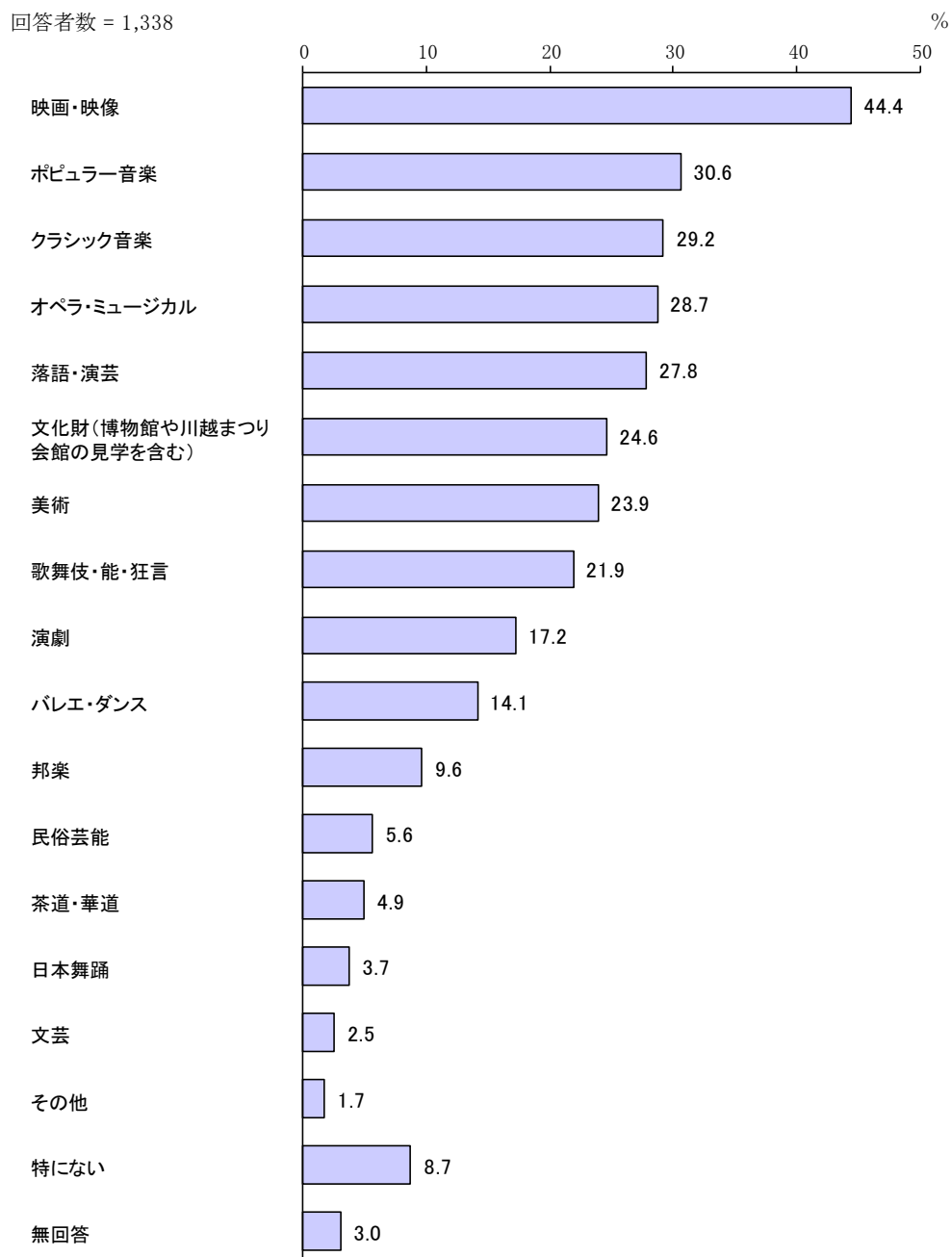
【年代別】

年代別でみると、30～60歳代のいずれの年代も「興味はあるが時間がとれない」が第1位、「興味がない」が第2位の回答となっている一方、20歳代及び70歳以上では「興味がない」が最も多く、「興味はあるが時間がとれない」の回答を上回っています。また、70歳以上の回答では「近くで観たい催し物をやっていない」（18.9%）が他の年代と比較して多くなっています。



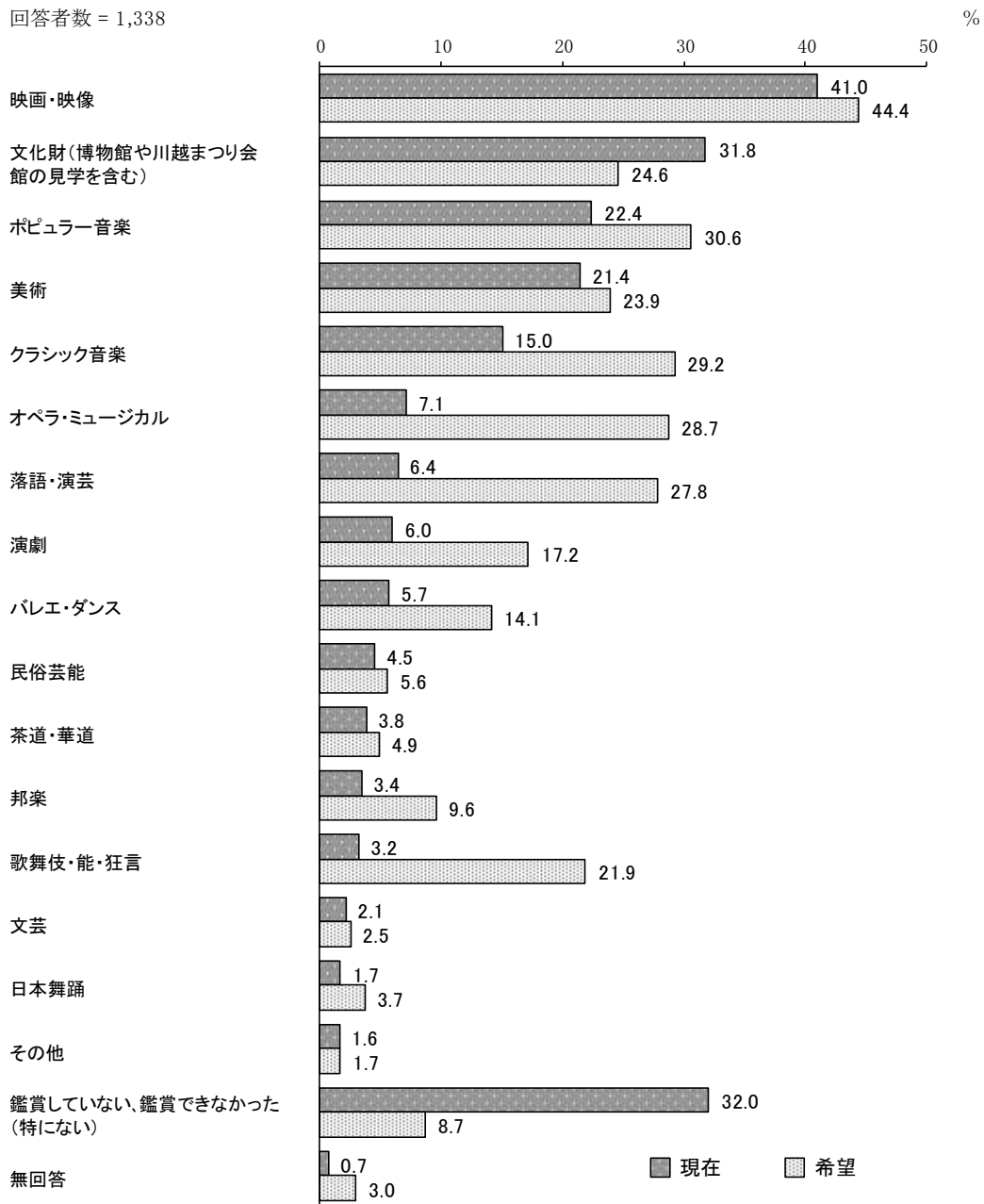
問4 今後、下記の演目等の中で、鑑賞してみたい演目等がありますか。
(〇はいくつでも)

「映画・映像」(44.4%)が4割半ばで最も高く、以下、「ポピュラー音楽」(30.6%)、「クラシック音楽」(29.2%)の順となっています。



<現在と希望の比較>

問1での「鑑賞していない、鑑賞できなかった」の回答は32%でしたが、問4の「特にない」の回答は8.7%です。このことから、“現在は鑑賞していないが、何らかの演目等を鑑賞したいと思っている人”が多いと考えられます。特に「オペラ・ミュージカル」「落語・演芸」では現在よりも希望が20ポイント以上高くなっています。



【年代別】

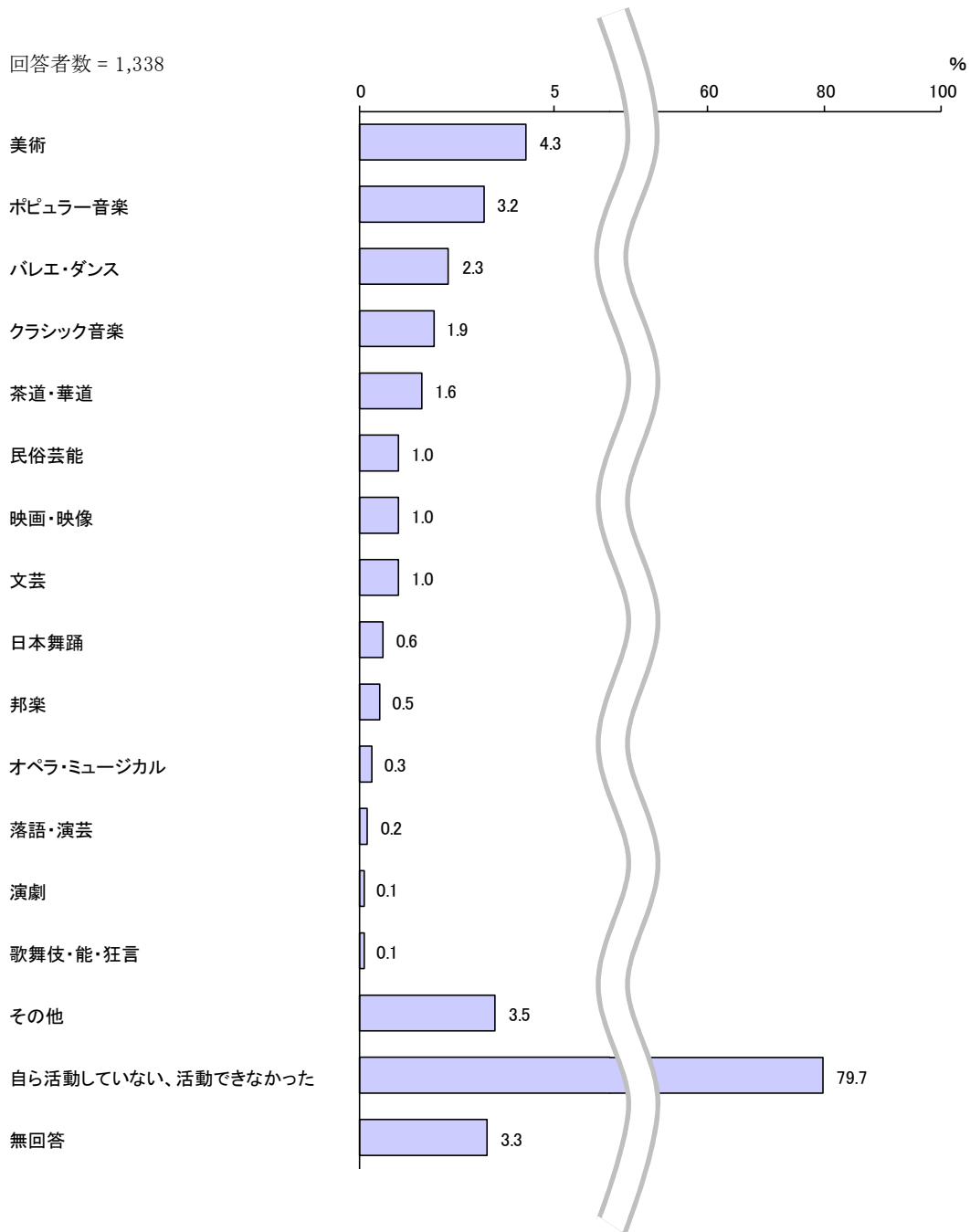
年代別でみると、ほぼ全ての年代で「映画・映像」が第1位の回答となっていますが、20～29歳では「オペラ・ミュージカル」が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財(博物館や川越まつり 会館の見学を含む)	その他	特にない	無回答
18・19歳	8	25.0	25.0	—	—	25.0	—	—	—	—	—	12.5	62.5	—	—	—	—	12.5	—
20～29歳	103	33.0	32.0	19.4	18.4	43.7	11.7	3.9	18.4	12.6	2.9	17.5	40.8	2.9	1.0	16.5	1.0	9.7	1.9
30～39歳	189	33.9	38.6	19.0	18.0	33.9	11.1	1.1	17.5	15.9	3.2	23.3	55.0	4.2	1.1	19.6	2.6	3.2	2.1
40～49歳	231	32.0	28.6	25.5	17.3	39.0	22.9	2.6	22.9	8.7	2.6	24.2	49.8	3.9	1.3	24.7	1.7	10.4	0.9
50～59歳	191	31.4	36.6	26.7	19.9	32.5	19.4	3.7	27.7	11.0	3.7	31.9	43.5	5.8	4.2	28.8	2.6	5.2	3.1
60～69歳	251	24.3	29.1	25.5	18.3	22.7	12.0	3.6	24.3	8.0	10.8	29.9	49.0	4.4	2.8	27.1	1.6	7.2	3.2
70歳以上	337	26.1	24.9	25.5	14.2	15.4	9.5	5.9	19.6	6.2	6.8	31.5	33.5	5.6	3.6	27.3	0.9	13.4	4.5

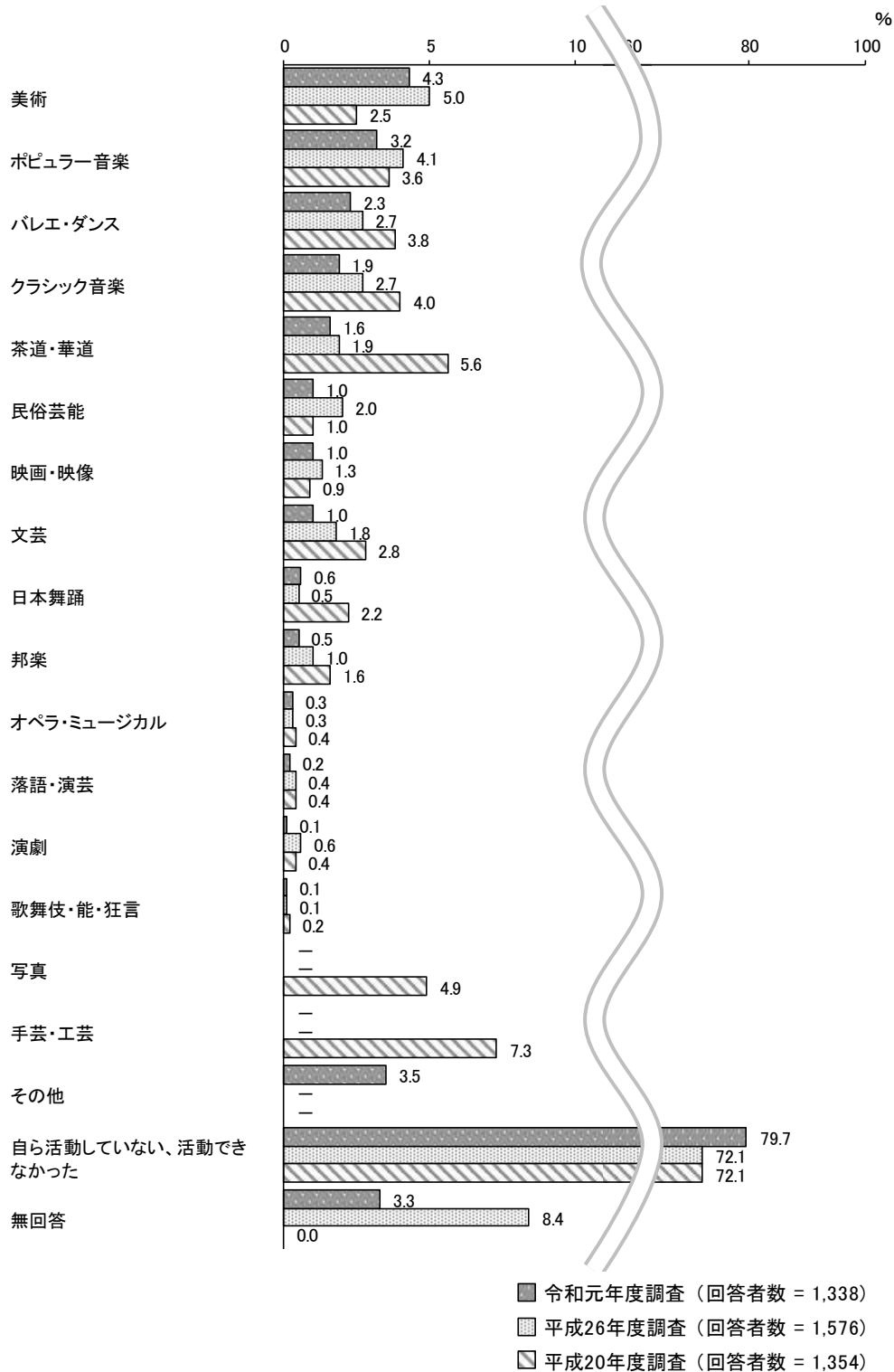
問5 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に下記の演目に関して、自ら活動した（演じる、作品を創る、習う）ものはありますか。（〇はいくつでも）

「自ら活動していない、活動できなかった」（79.7%）が最も多く、8割となっています。



【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「自ら活動していない、活動できなかった」が 7.6 ポイント増加しています。



※令和元年度調査、平成 26 年度調査には、「写真」「手芸・工芸」はありませんでした。また、平成 26 年度調査、平成 20 年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

平成 20 年度調査では、「茶道・華道」は「書道・華道」、「歌舞伎・能・狂言」は「歌舞伎・能楽・文楽」、「文芸」は「文芸・文字」という選択肢でした。

【性別】

性別で見ると、男性、女性とも「自ら活動していない、活動できなかった」が第1位の回答ですが、男性の「自ら活動していない、活動できなかった」(85.6%)は女性の回答(75.4%)を10ポイント以上上回っています。

一方、女性は「民族芸能」、「落語・演芸」、「文芸」以外のすべての選択肢の割合が男性を上回っています。

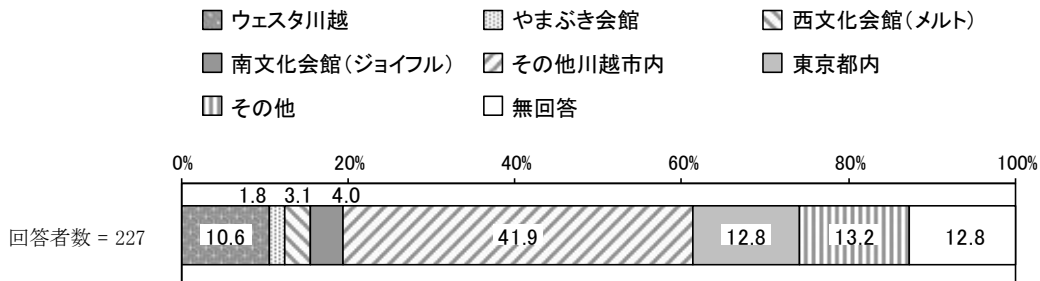
単位：%

区分	回答者数(件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	その他	自ら活動していない、活動できなかった	無回答
男性	575	0.9	3.1	3.0	—	—	1.0	—	—	0.3	1.2	0.3	0.7	—	1.2	1.9	85.6	2.6
女性	732	2.7	3.3	5.6	0.1	0.5	3.3	1.0	0.3	0.7	1.0	0.1	1.2	2.6	0.8	4.9	75.4	3.6
その他／ 答えたくない	7	—	14.3	—	—	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	85.7	—

問5で、1.～15.の活動をしたと答えた方におたずねします。

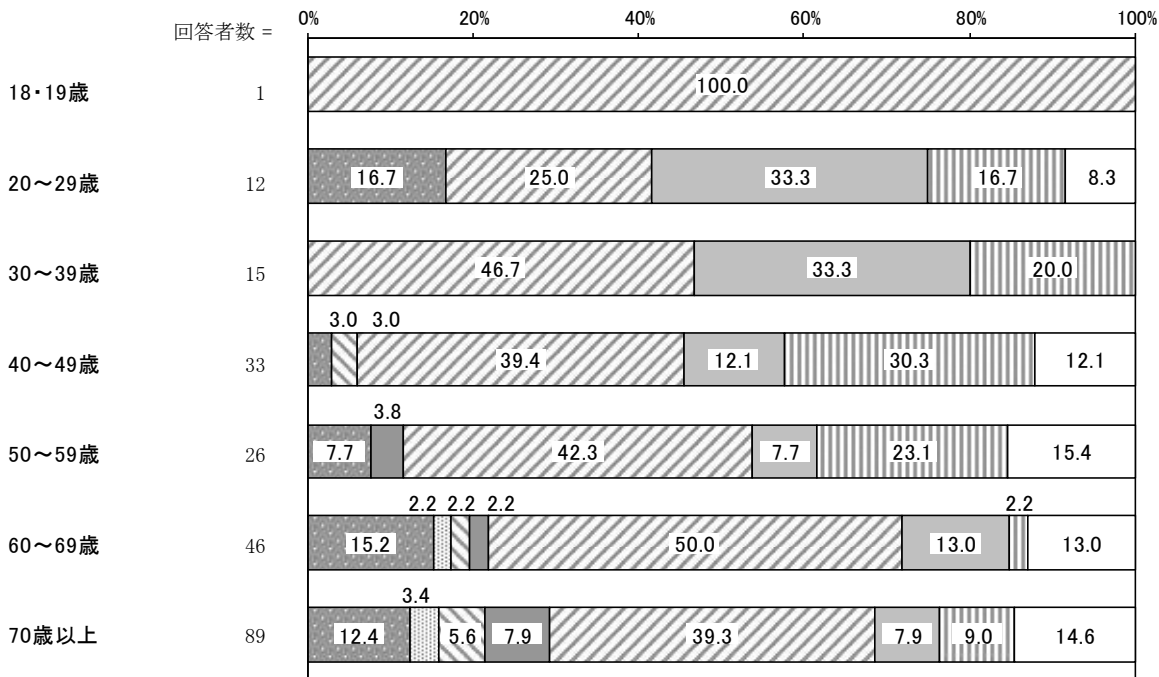
問6 どこで最も多く活動しましたか。(1つに○)

「その他川越市内」(41.9%)が最も多く4割を超えています。以下、「東京都内」(12.8%)、「その他」(13.2%)の順となっています。



【年代別】

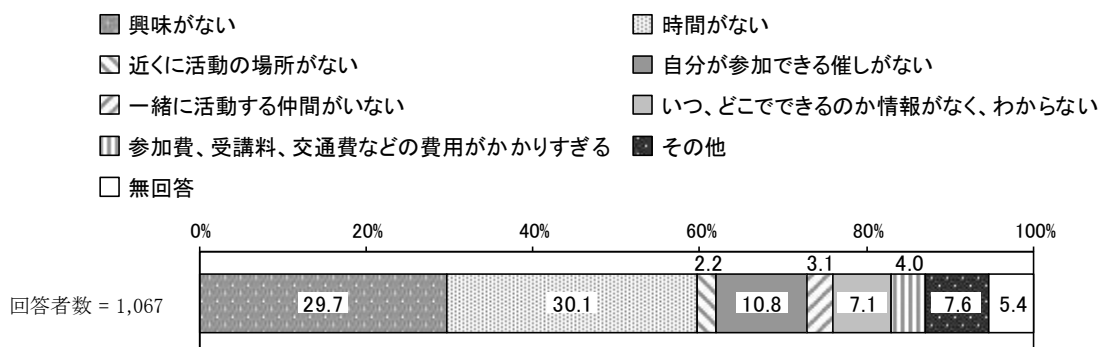
年代別で見ると、ほぼすべての年代で「その他の川越市内」が第1位となっていますが、20～29歳では「東京都内」が第1位となっています。



問5で、「16.自ら活動していない、活動できなかった」と答えた方におたずねします。

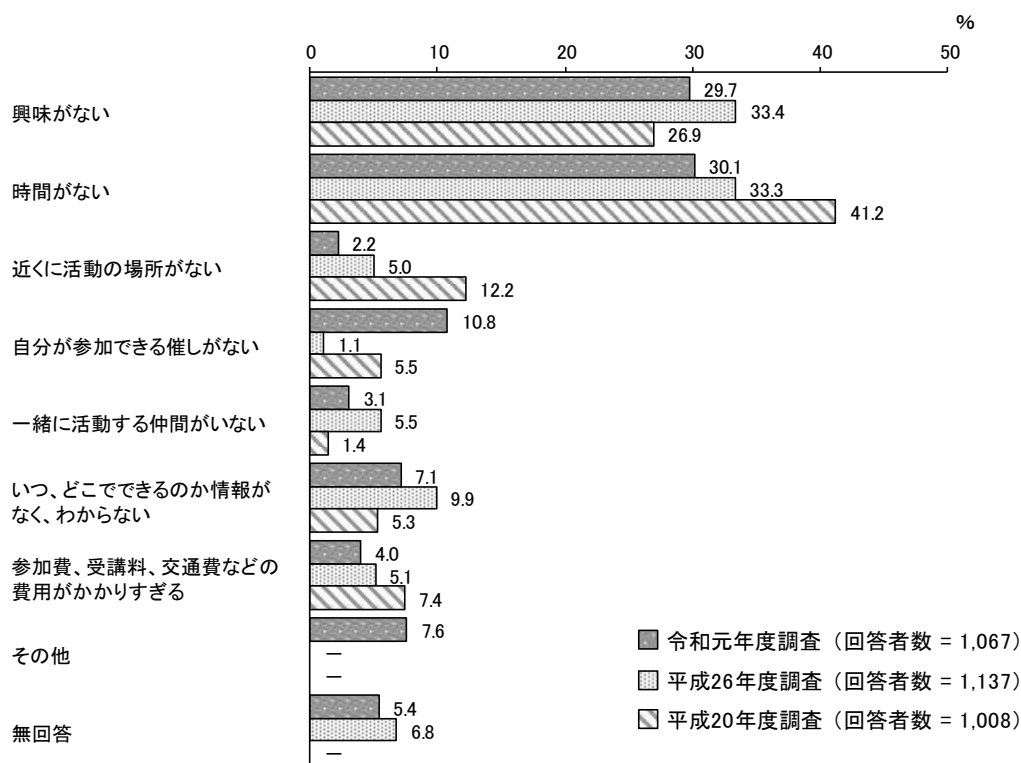
問7 その最も大きな理由1つに○をつけてください。

「時間がない」(30.1%)が最も多く、3割となっています。以下、「興味がない」(29.7%)、「自分が参加できる催しがない」(10.8%)の順となっています。



【経年比較】

平成20年度、26年度調査とは選択肢が異なるため参考とします。

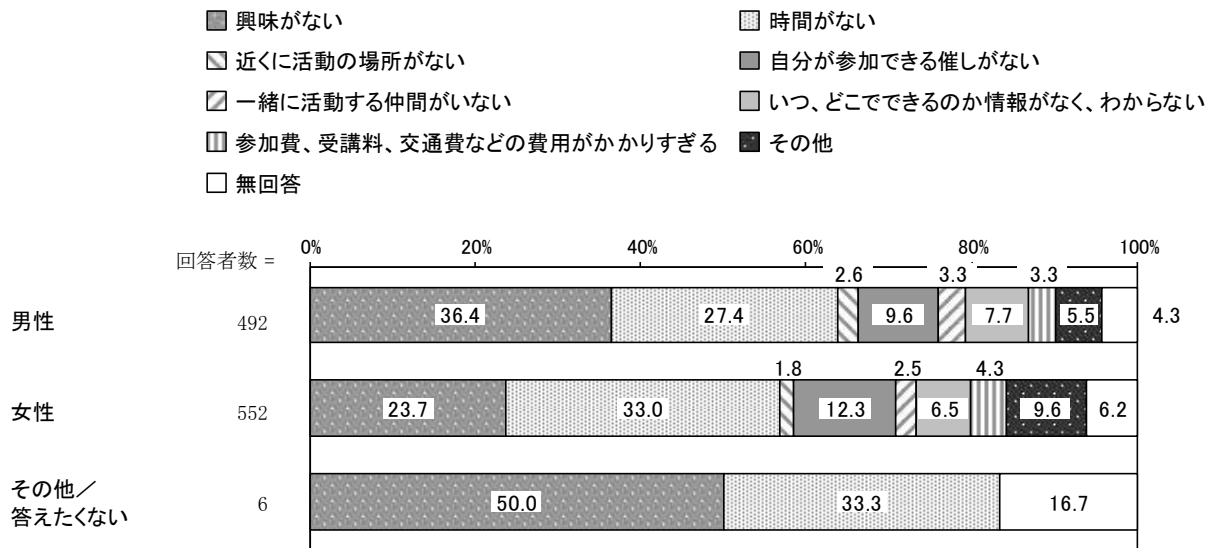


※平成26年度調査、平成20年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

※平成20年度調査は「無回答」を含まない集計です。

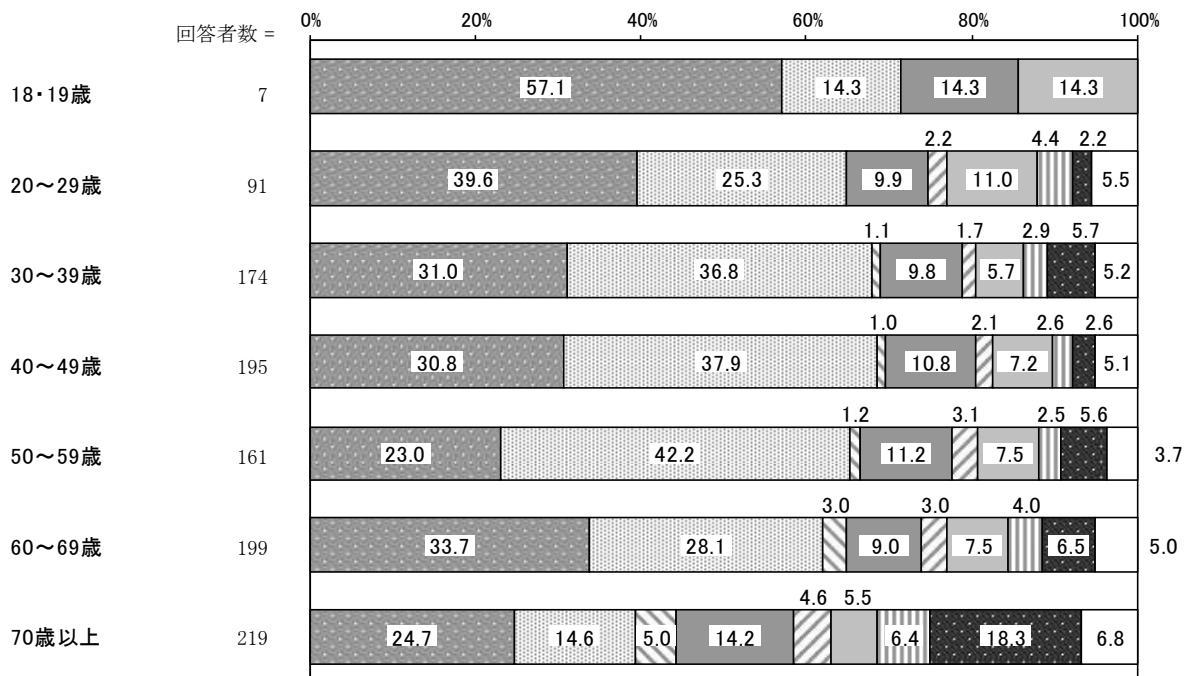
【性別】

性別で見ると、男性は「興味がない」(36.4%)が第1位で、3割半ばとなっています。一方女性は「時間がない」(33.0%)が3割を超え、最も多くなっています。



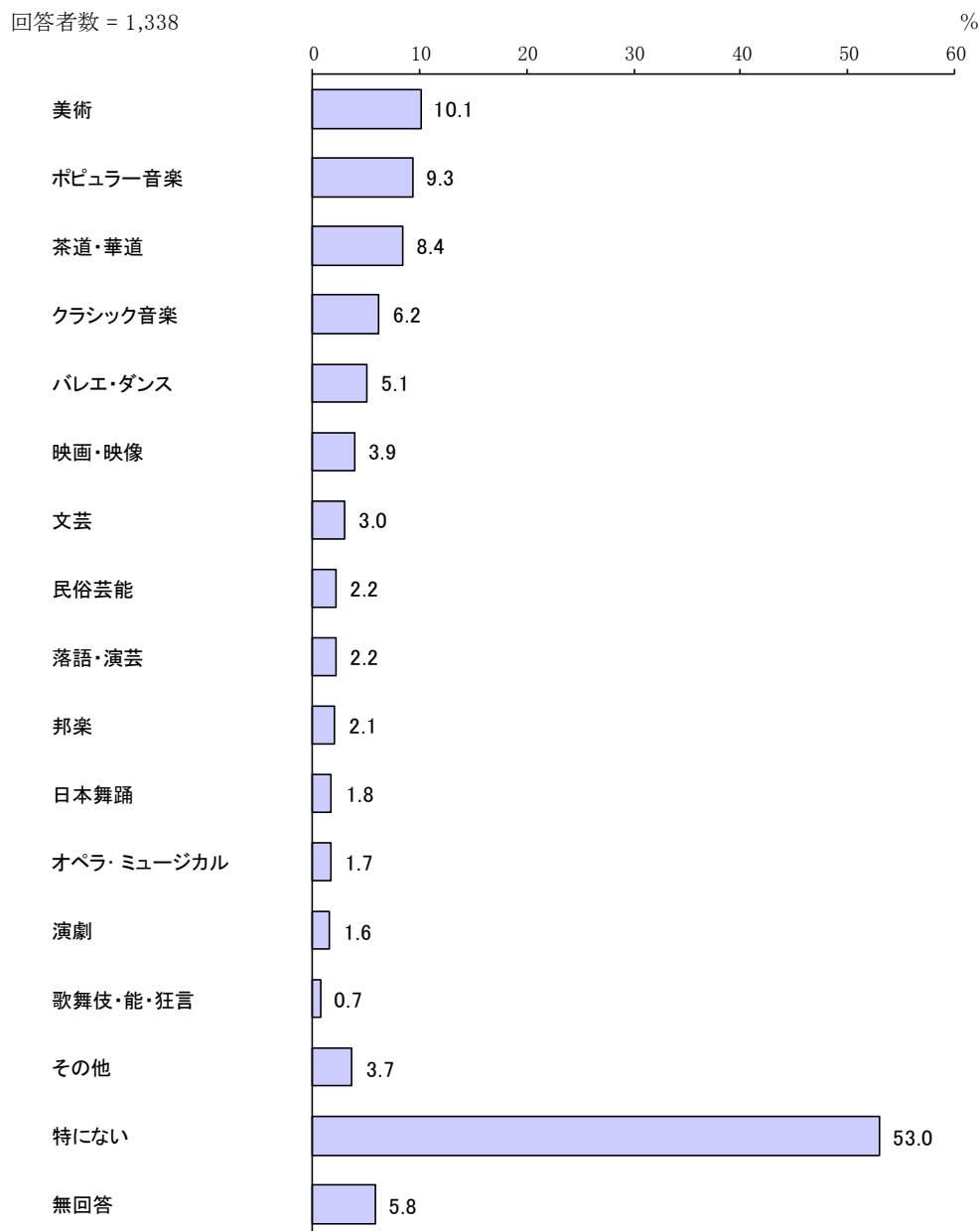
【年代別】

年代別で見ると、いずれの年代も上位2つは「興味がない」、「時間がない」ですが、20～29歳、60～69歳、70歳以上では「興味がない」が第1位、その他の年代では「時間がない」が第1位となっています。



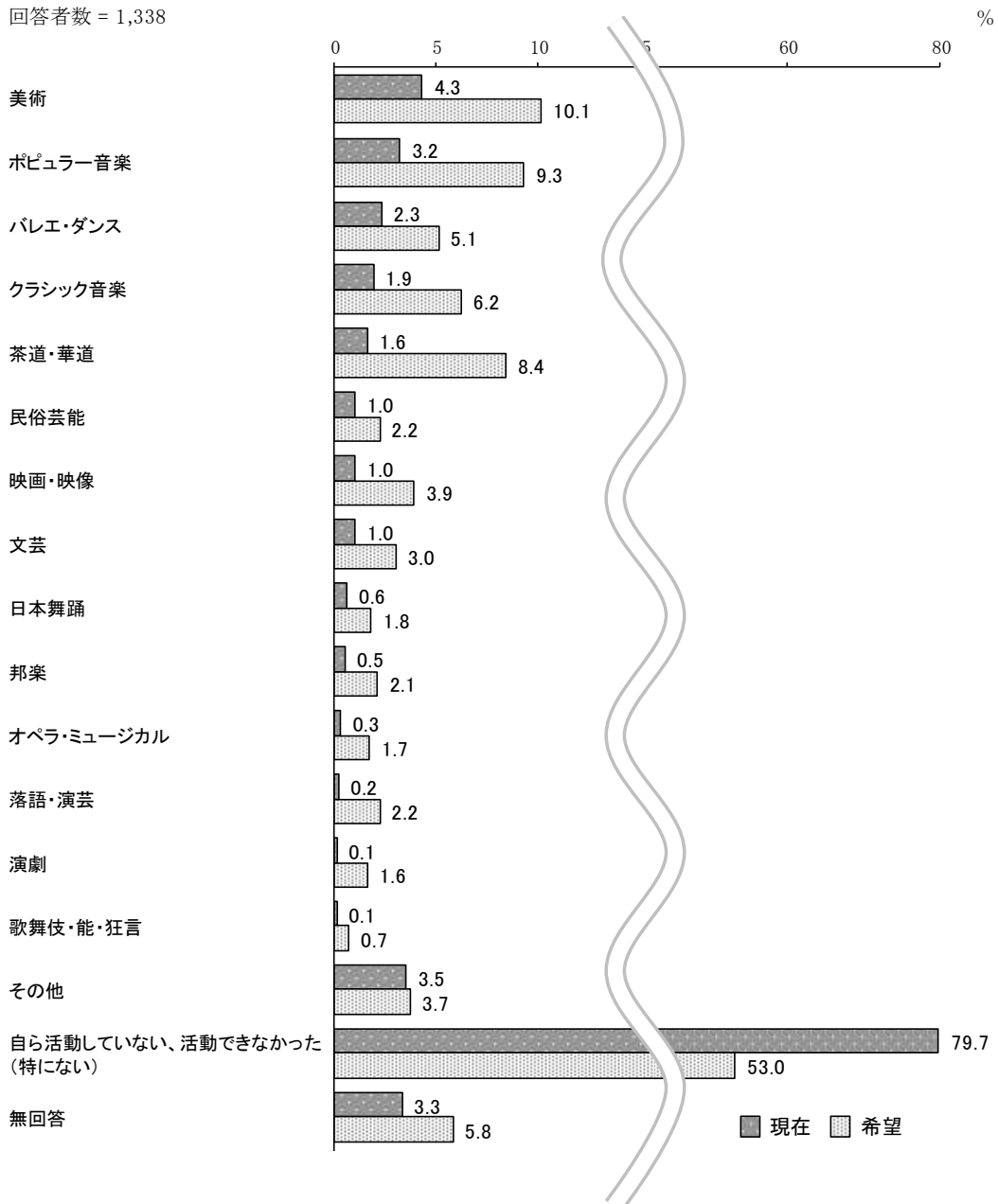
問8 今後、下記の演目の中で、自ら活動したいと思うものはありますか。
(〇はいくつでも)

「特にない」(53.0%)が最も多く、5割を超えています。以下「美術」(10.1%)、「ポピュラー音楽」(9.3%)の順となっています。



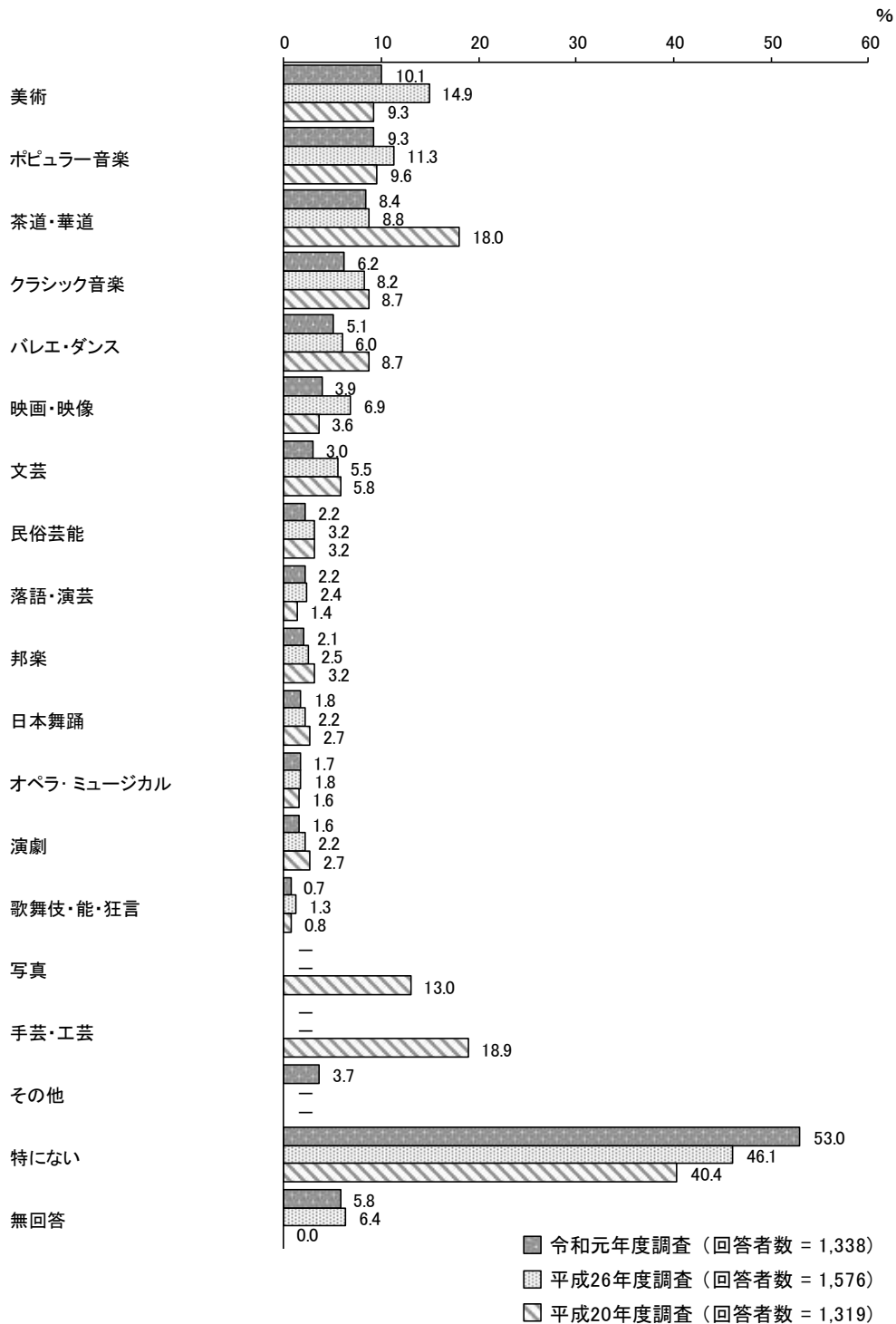
<現在と希望の比較>

問5での「自ら活動していない、活動できなかった」の回答は79.7%でしたが、問8の「特にない」の回答は53.0%です。このことから、“現在は活動していないが、何らかの活動をしたいと思っている人”が多いと考えられます。



【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「特にない」が 6.9 ポイント増加しています。



※令和元年度調査、平成 26 年度調査には、「写真」「手芸・工芸」はありませんでした。また、平成 26 年度調査、平成 20 年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

平成 20 年度調査では、「茶道・華道」は「書道・華道」、「歌舞伎・能・狂言」は「歌舞伎・能楽・文楽」、「文芸」は「文芸・文字」という選択肢でした。

【年代別】

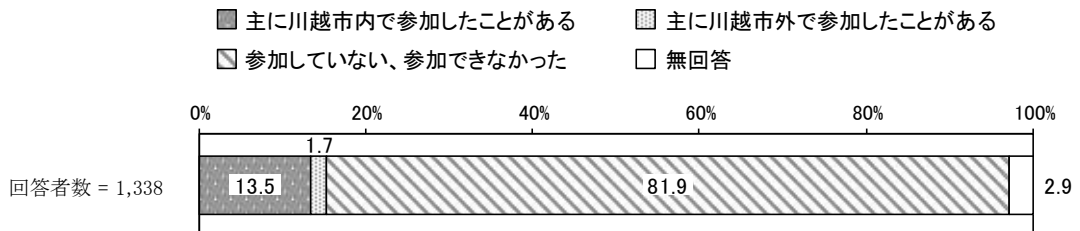
「特にない」を除いた選択肢中、全体で第1位となった「美術」は、多くの年代で第2位までの回答に入っていますが、30～39歳では「茶道・華道」(11.6%)、「ポピュラー音楽」(10.6%)に続き、「美術」(9.5%)は第3位なります。

単位：%

区分	回答者数(件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	その他	特にない	無回答
18・19歳	8	12.5	12.5	—	—	—	12.5	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	50.0	—
20～29歳	103	17.5	10.7	14.6	3.9	3.9	3.9	1.9	—	4.9	1.0	1.0	7.8	10.7	2.9	—	47.6	1.9
30～39歳	189	5.8	10.6	9.5	3.2	2.6	6.3	1.6	—	3.2	3.7	2.6	2.6	11.6	2.6	2.6	54.5	2.1
40～49歳	231	5.6	6.5	11.7	1.3	1.3	7.4	0.9	0.9	1.7	0.9	1.3	2.2	10.8	1.3	3.5	56.7	2.6
50～59歳	191	5.2	9.4	7.9	0.5	1.6	7.3	1.6	1.0	1.0	2.1	3.1	3.7	7.9	1.0	4.2	55.0	3.1
60～69歳	251	5.2	10.8	9.2	2.0	1.2	4.8	1.6	1.2	1.6	2.8	2.8	4.8	7.2	2.8	5.6	54.6	4.4
70歳以上	337	4.2	9.2	9.5	0.9	1.5	2.1	2.4	0.9	2.1	2.1	1.8	3.9	4.7	5.9	4.5	50.7	13.4

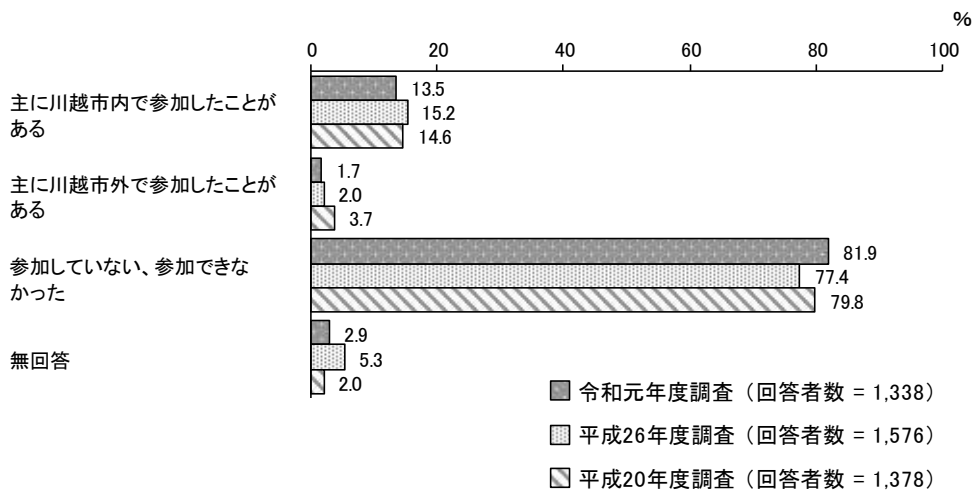
問9 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加したことがありますか。（お祭り、獅子舞などの伝統行事や、博物館の講座などへの参加も含みます。）（1つに○）

「参加していない、参加できなかった」（81.9%）が8割を超え、最も多くなっています。以下、「主に川越市内で参加したことがある」（13.5%）、「主に川越市外で参加したことがある」（1.7%）の順となっています。



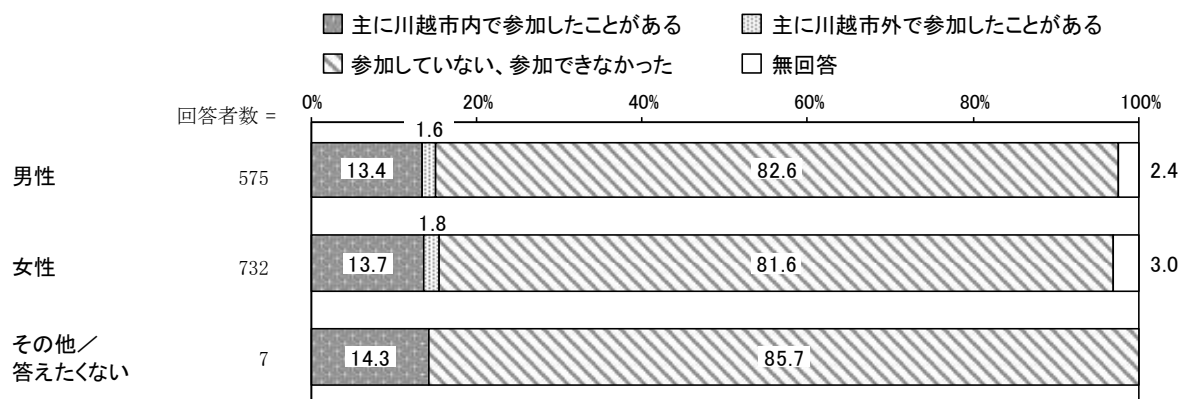
【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、第1位の「参加していない、参加できなかった」（81.9%）が4.5ポイント増えています。



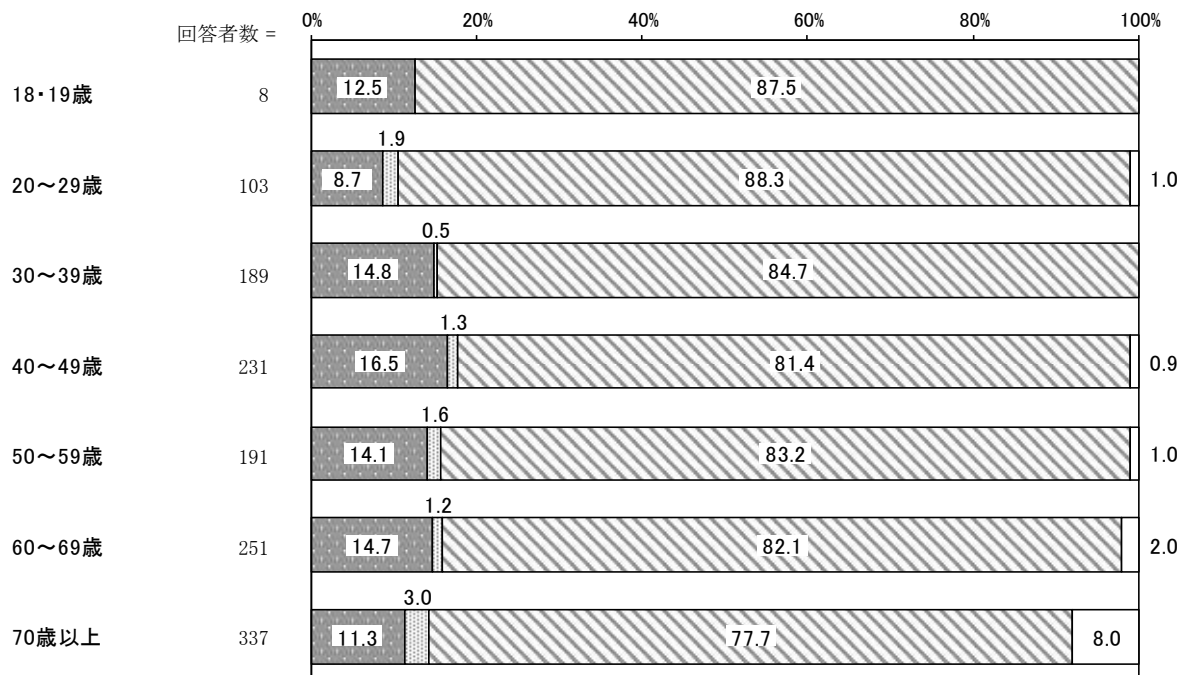
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

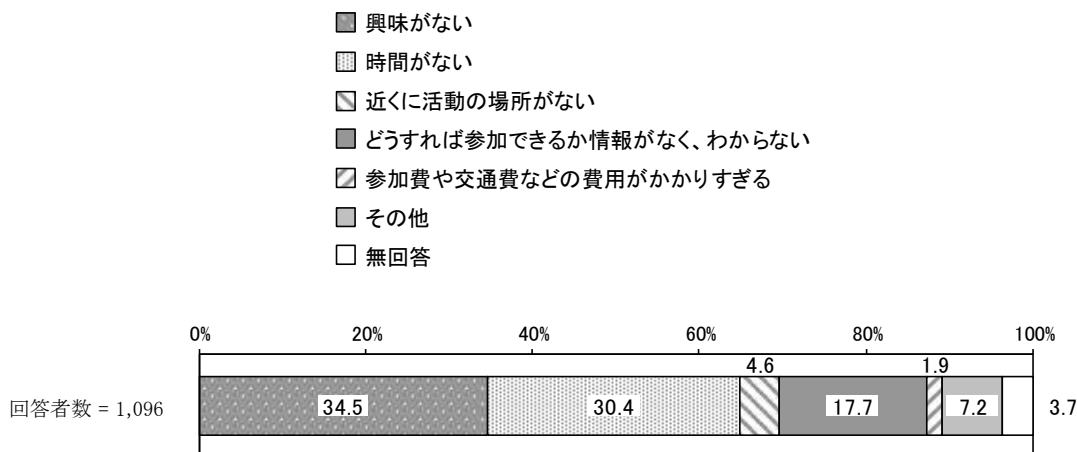
年代別でみると、いずれの年代も「参加していない、参加できなかった」が第1位ですが、第2位の「主に川越市内で参加したことがある」は20～29歳（8.7%）を除き、その他の年代では1割を超えています。



問9で「3. 参加していない、参加できなかった」と答えた方におたずねします。

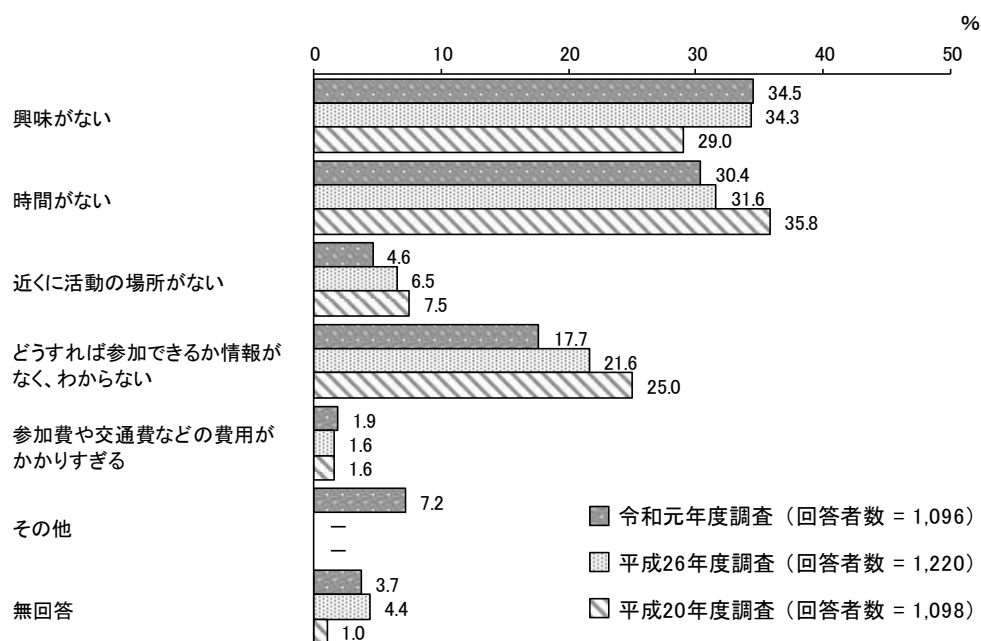
問10 その最も大きな理由1つに○をつけてください。

「興味がない」(34.5%)が3割半ばと、最も多くなっています。以下、「時間がない」(30.4%)、「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」(17.7%)の順となっています。



【経年比較】

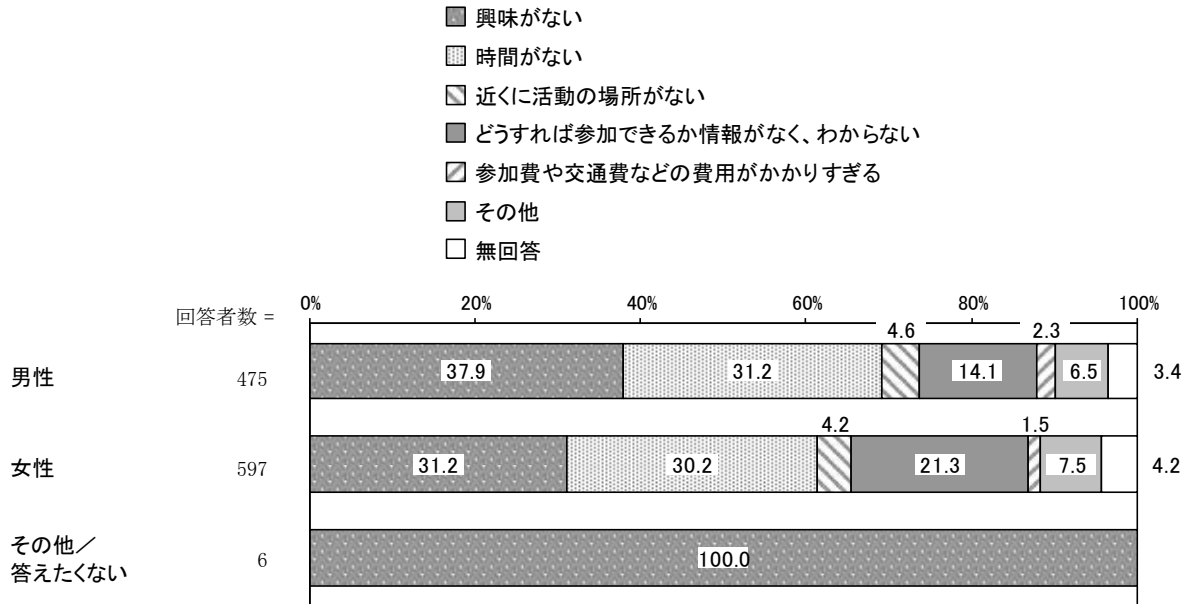
平成20年度調査、平成26年度調査とは選択肢が異なるため参考とします。



※平成26年度調査、平成20年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

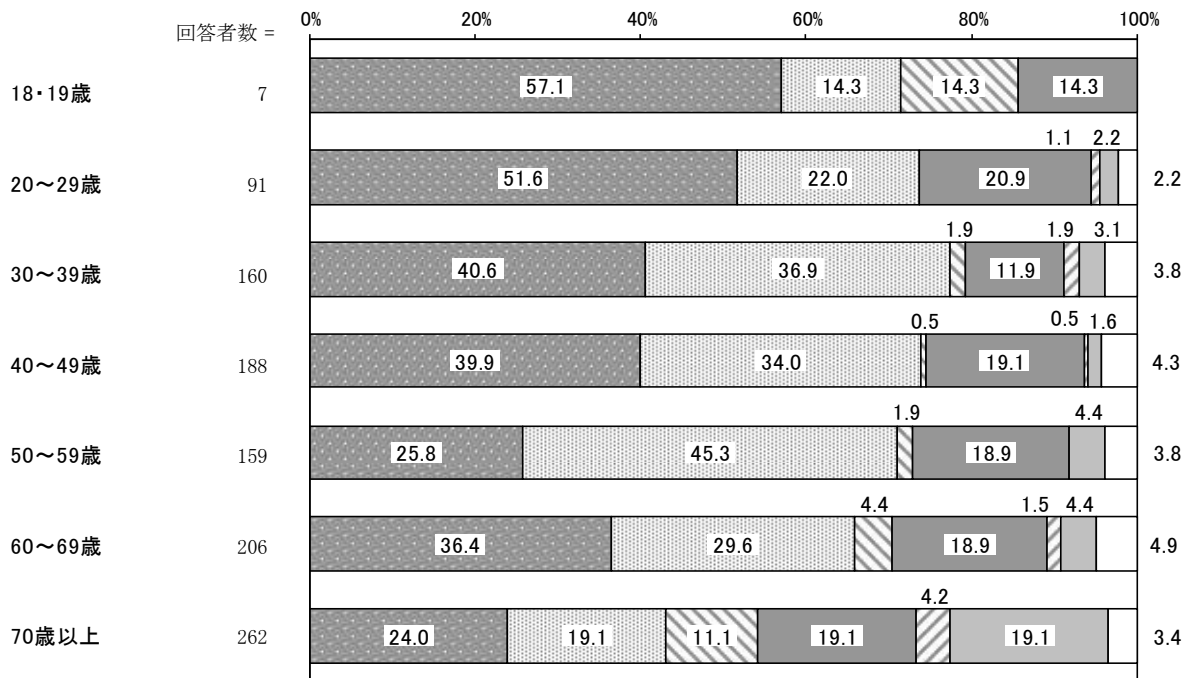
【性別】

性別で見ると、第2位となった回答「時間がない」は、男女でほぼ同じ割合となりましたが、第1位の「興味がない」に関しては男性（37.9%）が女性（31.2%）を6.7%上回りました。第3位の「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」は女性の回答（21.3%）が男性（14.1%）を7.2%上回っています。



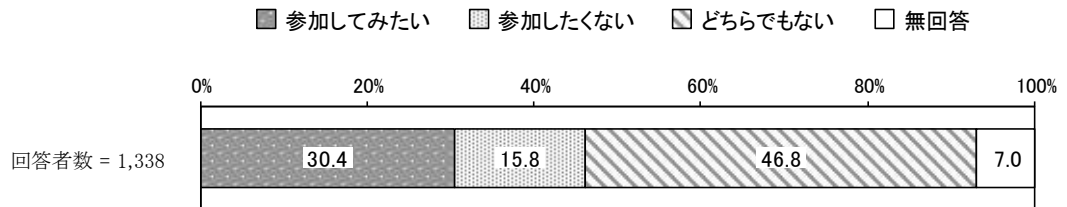
【年代別】

年代別で見ると、年代が低くなるにつれ「興味がない」が多くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、50～59歳で「時間がない」（45.3%）が多く、4割半ばとなっています。



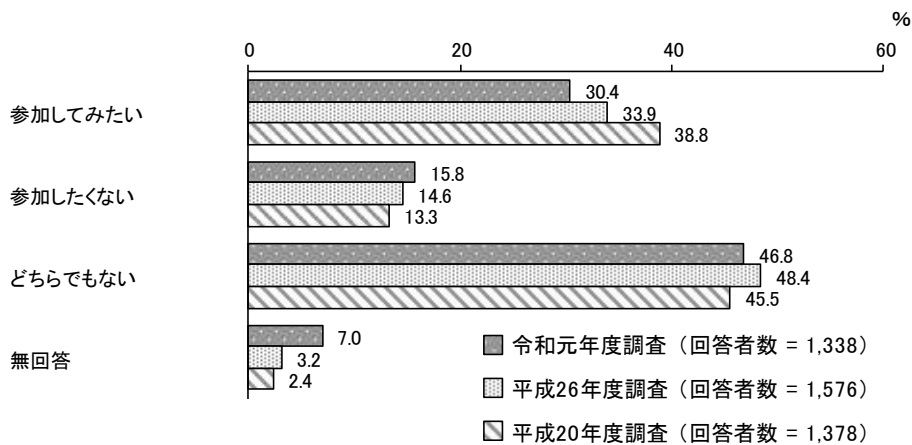
問 11 今後、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加してみたいと思いますか。
(1つに○)

「どちらでもない」(46.8%)が5割近くと、最も多くなっています。以下、「参加してみたい」(30.4%)、「参加したくない」(15.8%)の順となっています。



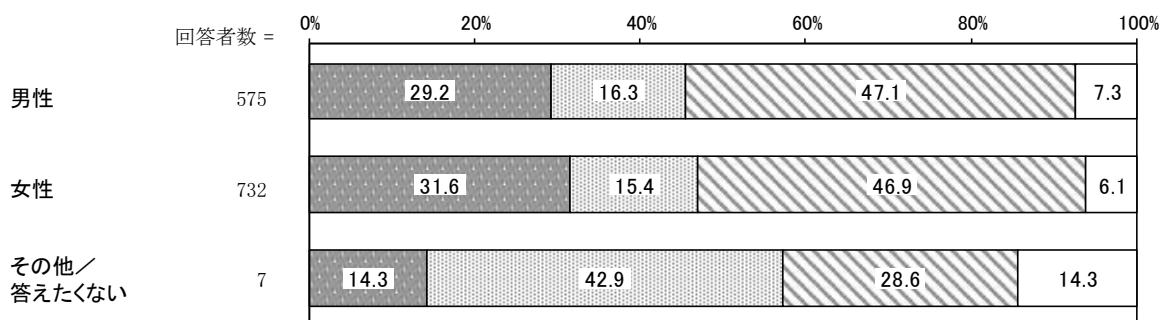
【経年比較】

平成20年度調査、平成26年度調査と比較すると、「参加してみたい」の割合が減少しています。



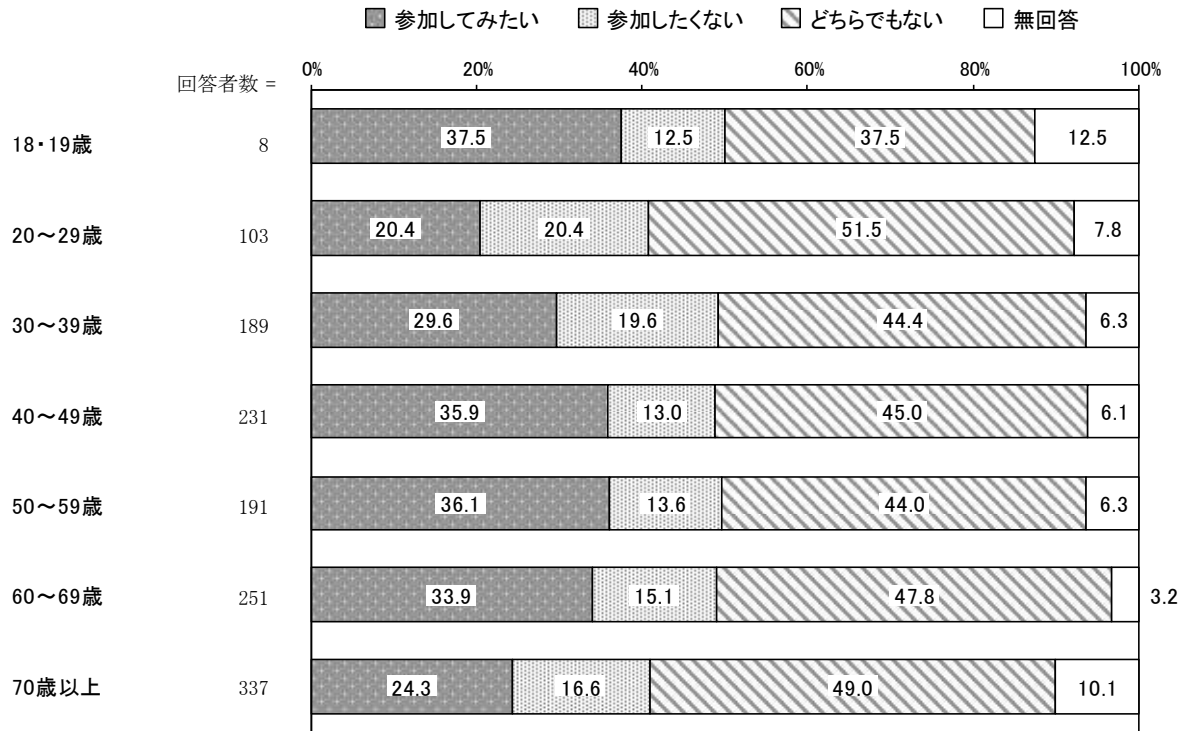
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



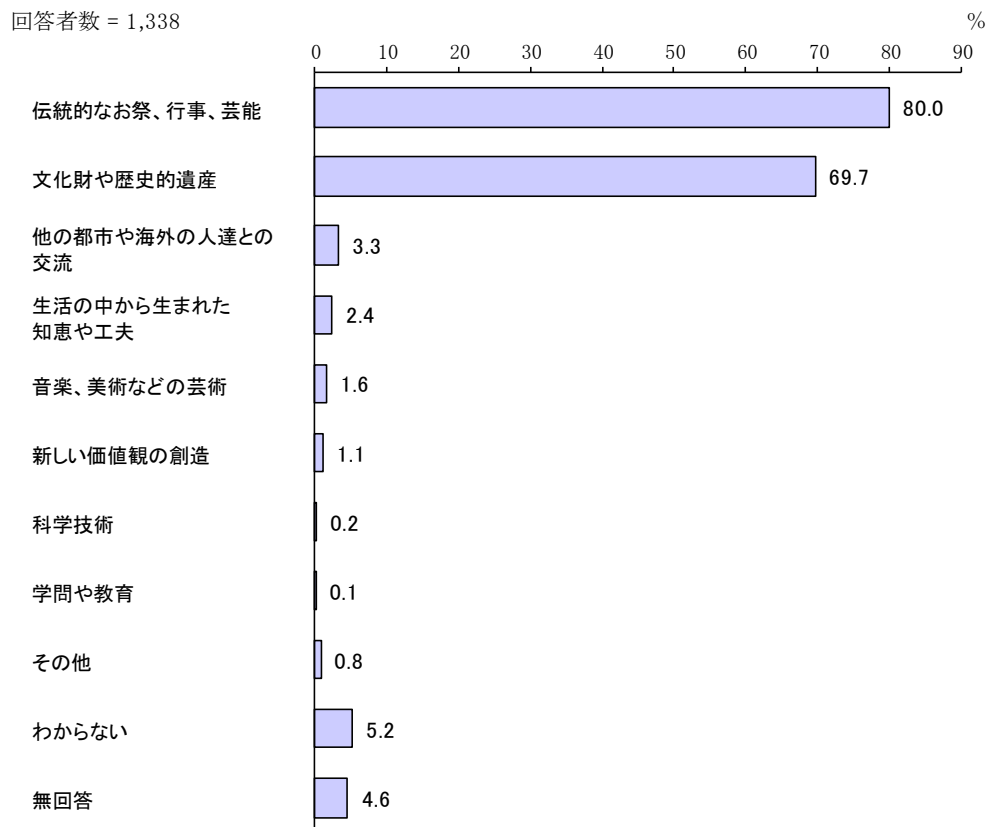
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、「参加してみたい」と答えた年代は、40～49歳、50～59歳が多く、3割半ばとなっています。



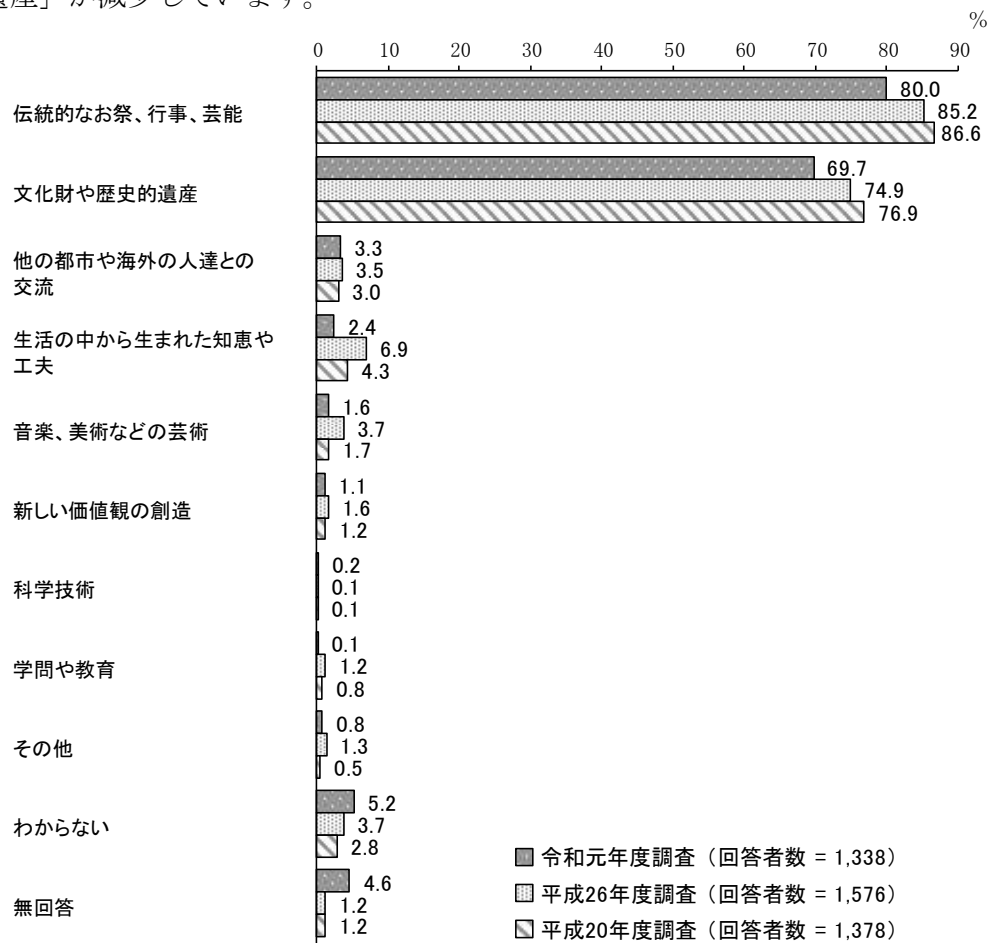
問 12 「川越の文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強くお持ちですか。
(2つに〇)

「伝統的なお祭、行事、芸能」(80.0%)が8割と、最も多くなっています。以下、「文化財や歴史的遺産」(69.7%)、「わからない」(5.2%)の順となっています。



【経年比較】

平成 20 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、「伝統的なお祭、行事、芸能」「文化財や歴史的遺産」が減少しています。



【年代別】

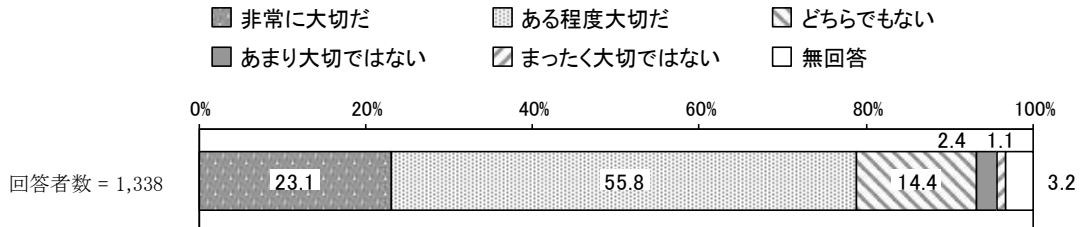
年代別でみると、全ての年代で「伝統的なお祭、行事、芸能」と「文化財や歴史的遺産」が上位2位を占めています。「伝統的なお祭、行事、芸能」と回答した人が一番多い年代は50～59歳（90.6%）、「文化財や歴史的遺産」と回答した人が一番多い年代は20～29歳（76.7%）です。

単位：%

区分	回答者数（件）	音楽、美術などの芸術	伝統的なお祭、行事、芸能	文化財や歴史的遺産	他の都市や海外の人達との交流	生活の中から生まれた知恵や工夫	新しい価値観の創造	学問や教育	科学技術	その他	わからない	無回答
18・19歳	8	—	100.0	62.5	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	103	1.0	85.4	76.7	2.9	—	—	—	—	1.0	8.7	—
30～39歳	189	1.1	83.1	70.9	3.7	1.1	1.6	—	—	—	4.8	1.1
40～49歳	231	0.9	80.1	68.0	3.5	0.4	1.7	—	—	2.2	5.2	3.5
50～59歳	191	1.0	90.6	71.7	2.6	0.5	0.5	—	0.5	0.5	3.1	2.1
60～69歳	251	1.6	81.7	71.3	4.0	4.8	1.2	—	—	0.8	5.2	3.6
70歳以上	337	3.3	70.0	66.2	3.0	4.5	1.2	0.3	0.6	0.6	5.9	9.8

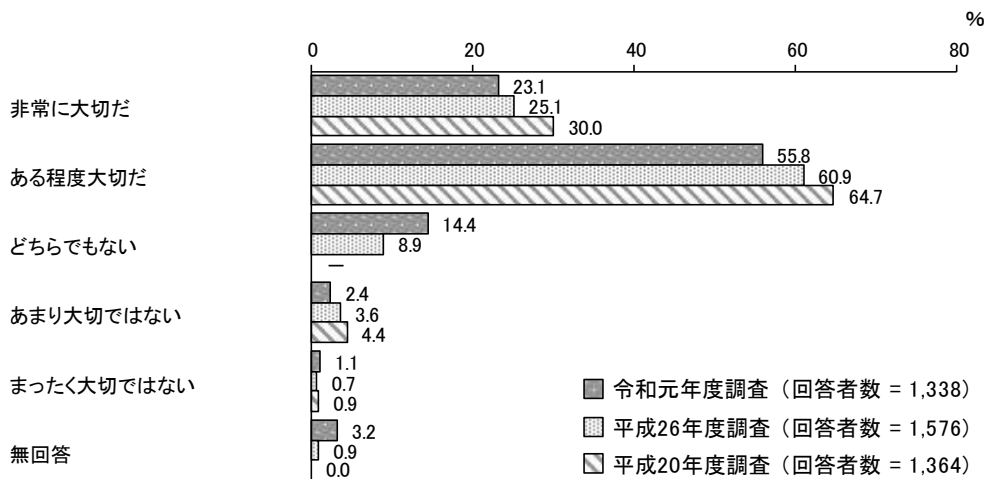
問 13 あなたは、日常生活の中で、優れた芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行うことが大切だと思いますか。(1つに○)

「非常に大切だ」(23.1%)と「ある程度大切だ」(55.8%)を合わせた“大切だ”(78.9%)が8割近くを占めます。一方、「あまり大切ではない」(2.4%)と「まったく大切ではない」(1.1%)を合わせた“大切ではない”の割合は3.5%となっています。



【経年比較】

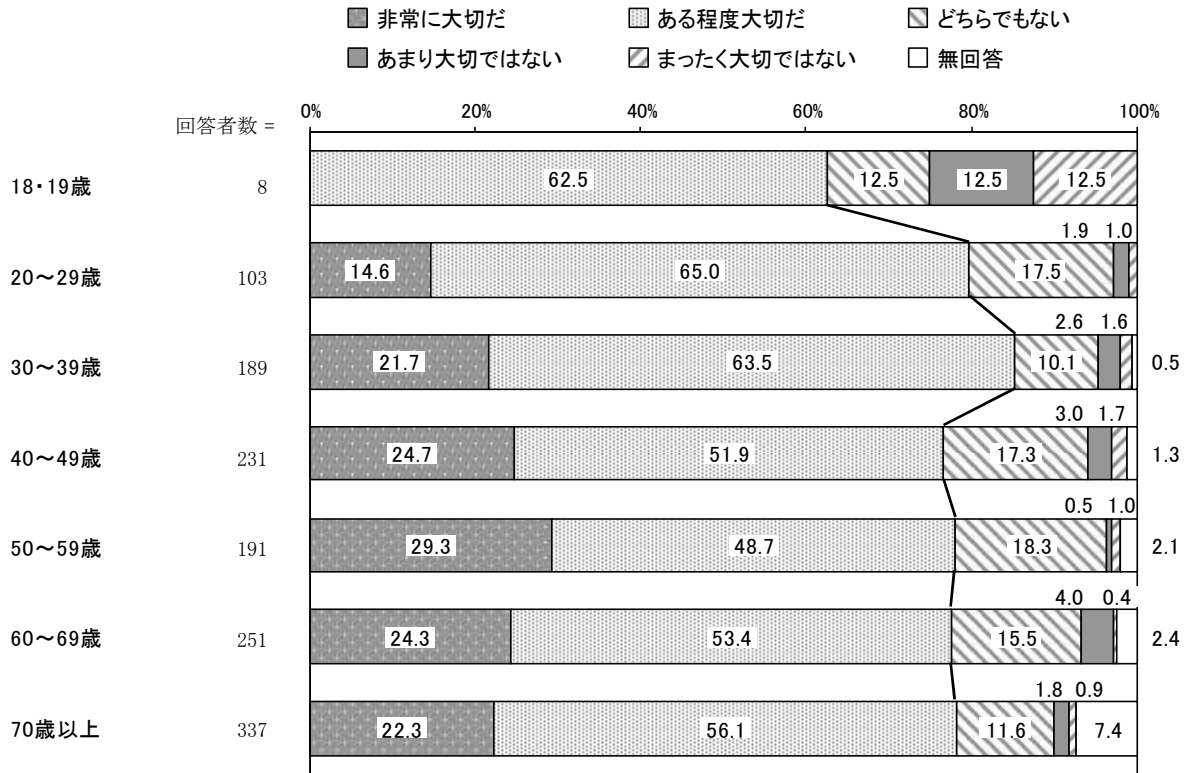
平成 26 年度調査と比較すると、“大切だ”の割合が減少し、「どちらでもない」の割合が増加しています。



※平成 20 年度調査には「どちらでもない」の選択肢はありませんでした。

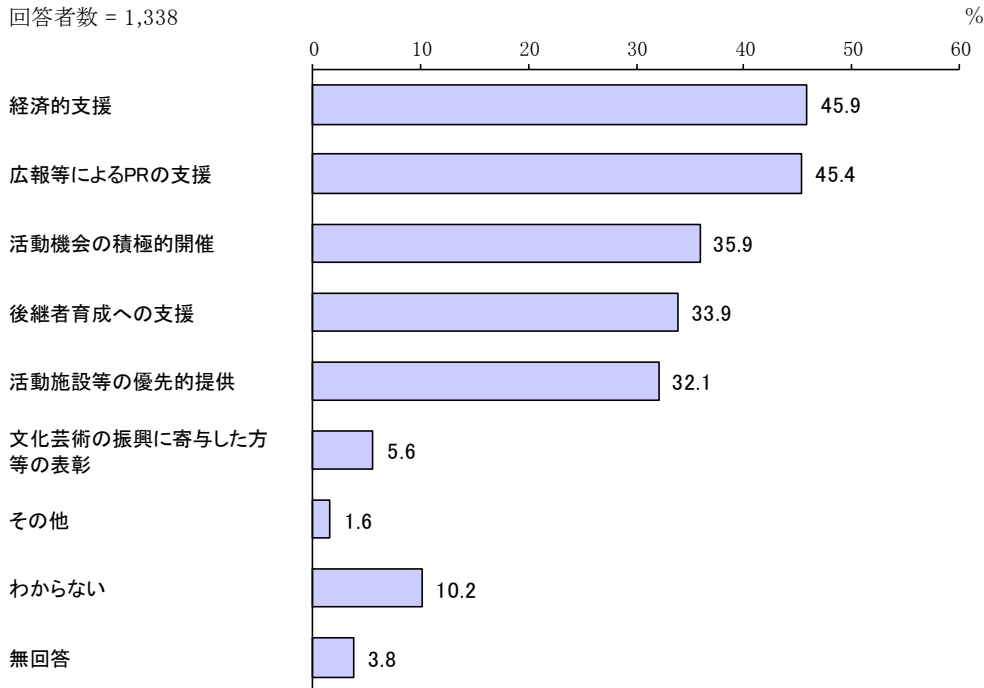
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳で“大切だ”（85.2%）の割合が高く、8割半ばとなっています。



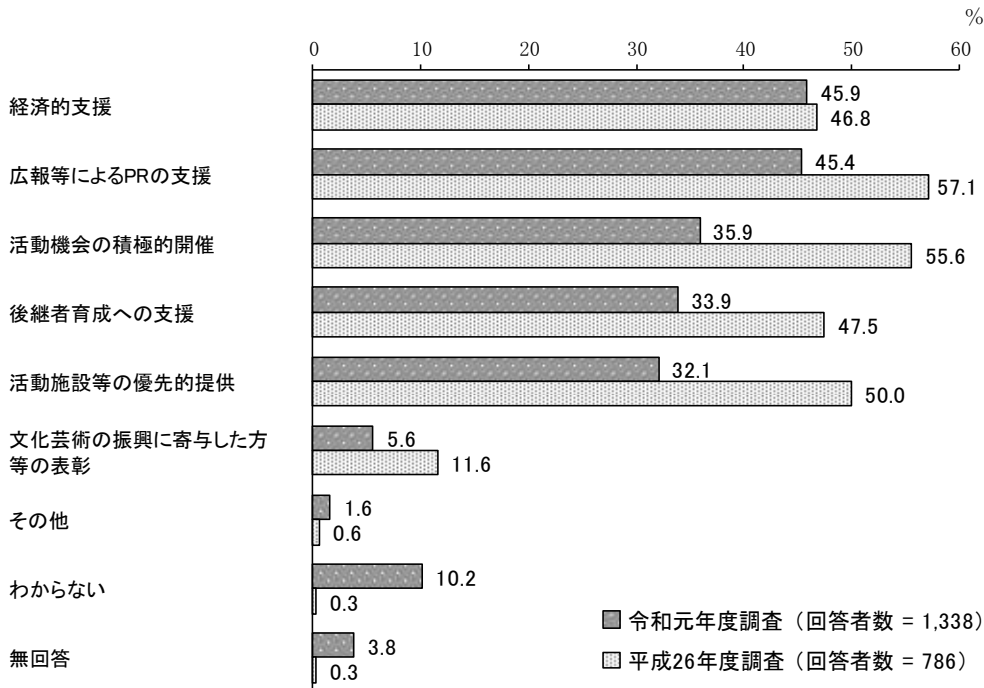
問 14 市が市民の文化活動や市内の芸術家を支援するには、どんなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「経済的支援」（45.9%）が4割半ばと、最も多くなっています。以下「広報等によるPRの支援」（45.4%）、「活動機会の積極的開催」（35.9%）の順となっています。



【経年比較】

平成 26 年度調査との比較は、設問の対象者が異なるため参考とします。



※平成 26 年度調査では、「芸術家等への支援が必要か」との設問で「必要だ」と回答した人のみが回答しています。

【年代別】

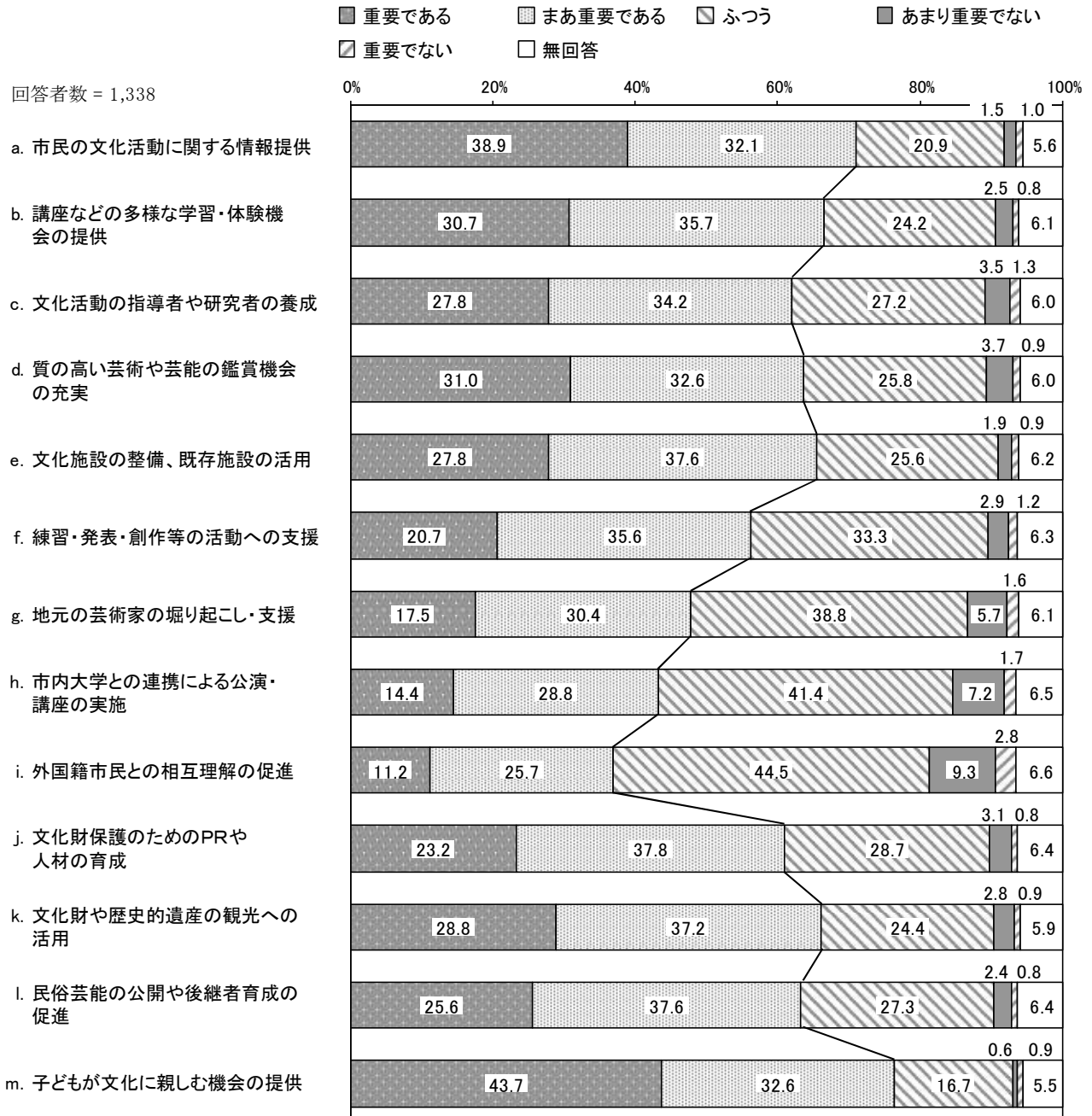
年代別でみると、いずれの年代も「経済的支援」、「広報等によるPR」が上位2位を占めています。20歳以上の複数の年代（20～59歳）で「経済的支援」が第1位となっており、60歳を超える年代では「広報等によるPR」が第1位となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	経済的支援	活動施設等の優先的提供	広報等によるPRの支援	活動機会の積極的開催	後継者育成への支援	文化芸術の振興に 寄与した方等の表彰	その他	わからない	無回答
18・19歳	8	37.5	25.0	50.0	25.0	37.5	12.5	—	12.5	—
20～29歳	103	55.3	25.2	48.5	43.7	21.4	9.7	1.9	8.7	—
30～39歳	189	50.3	34.4	50.3	41.3	34.4	5.8	1.6	7.4	0.5
40～49歳	231	48.5	30.7	46.3	35.9	34.6	4.8	1.7	10.8	1.3
50～59歳	191	52.4	34.0	47.1	45.0	40.8	5.8	2.1	8.9	1.6
60～69歳	251	41.4	33.1	41.8	35.5	31.5	4.8	1.2	13.1	4.0
70歳以上	337	38.9	32.0	43.3	26.4	35.0	4.7	1.8	10.4	8.6

問 15 あなたは、文化活動をもっと活発にするために行う市の取り組みとして、次の各項目が、どれくらい重要だと思いますか。(それぞれの項目1つに○)

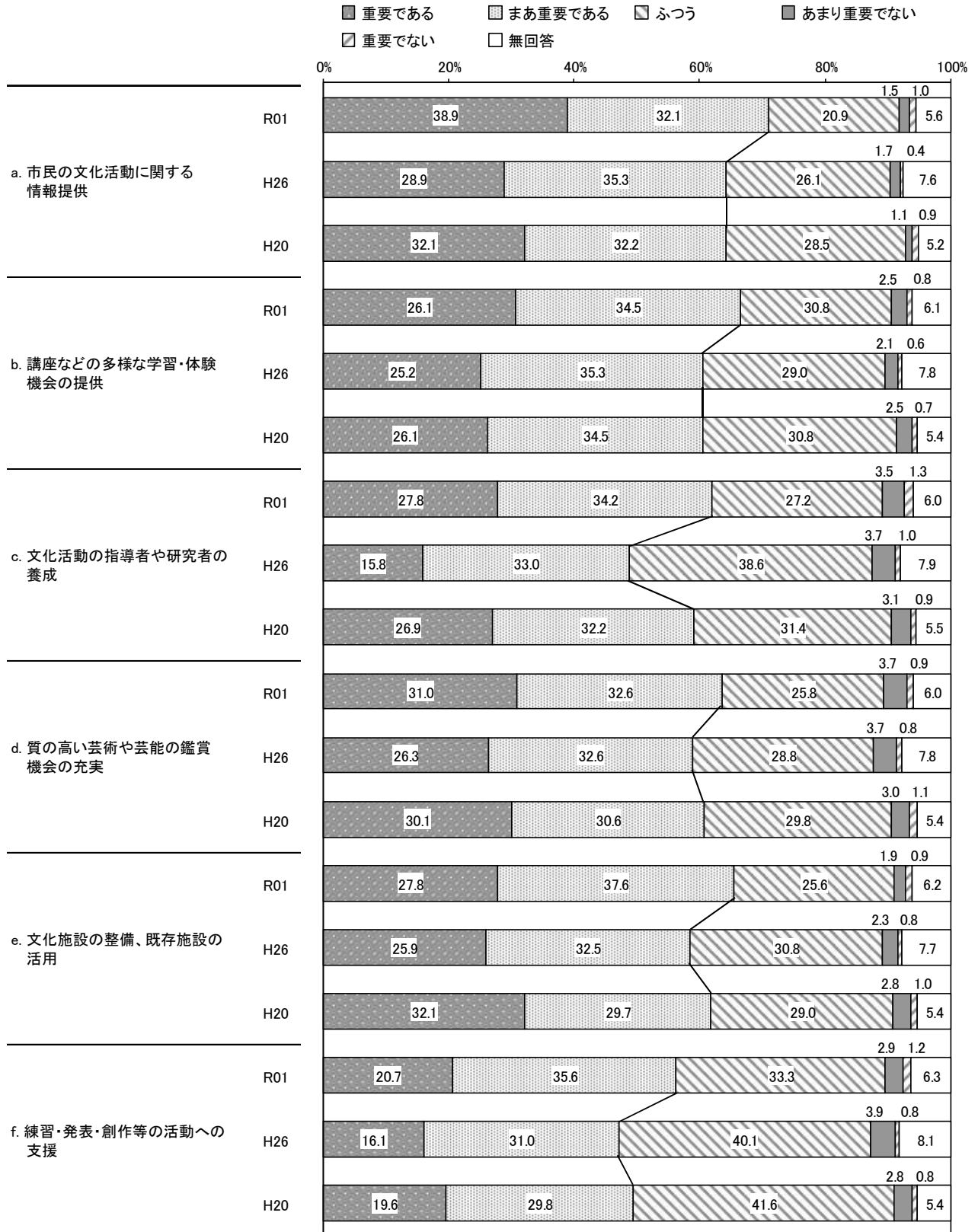
「m. 子どもが文化に親しむ機会の提供」で「重要である」(43.7%)と「まあ重要である」(32.6%)を合わせた“重要である”(76.3%)が多く、7割半ばとなっています。以下、「a. 市民の文化活動に関する情報提供」で「重要である」(38.9%)と「まあ重要である」(32.1%)を合わせた“重要である”(71.0%)、「b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供」で「重要である」(30.7%)と「まあ重要である」(35.7%)を合わせた“重要である”(66.4%)の順となっています。



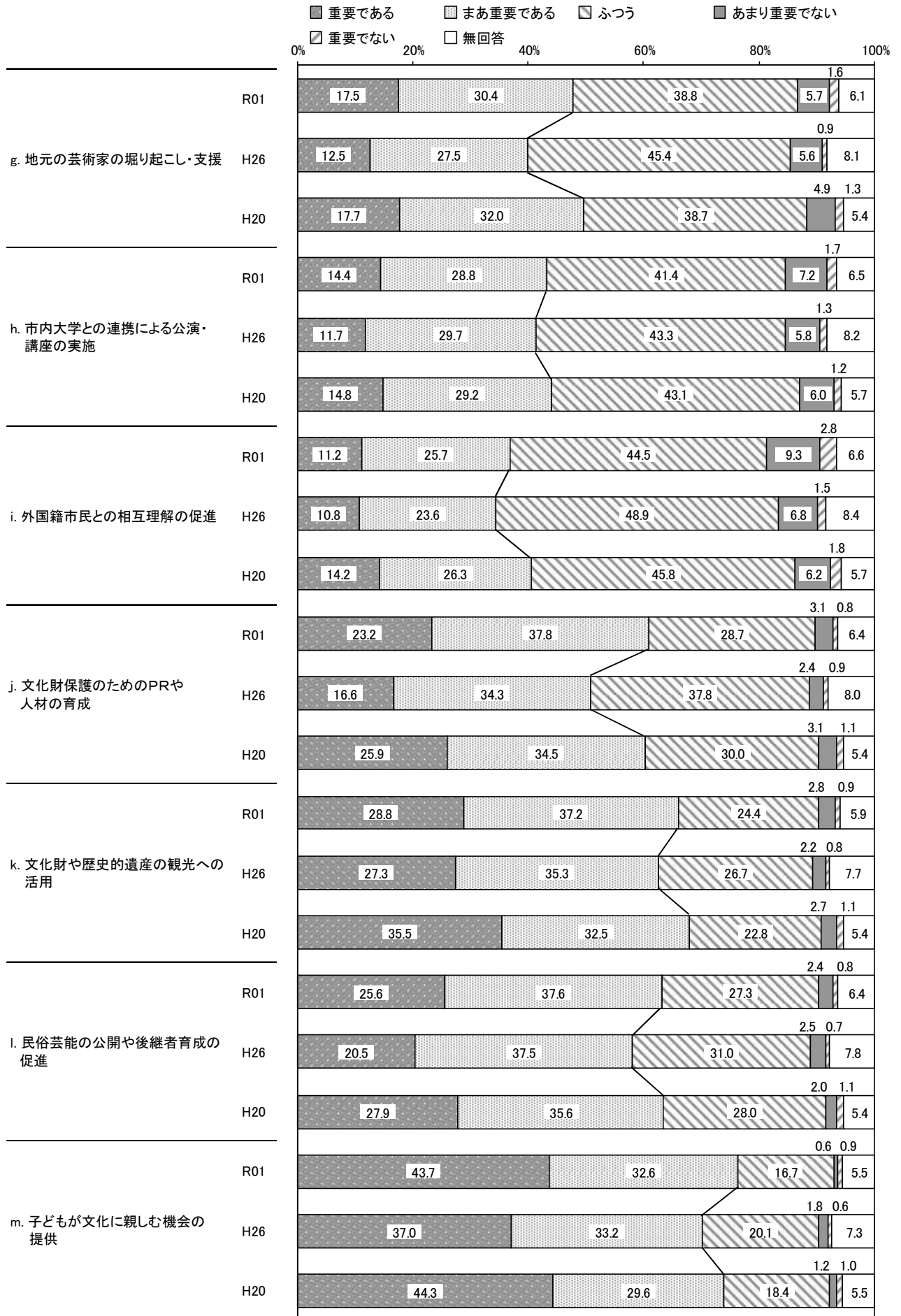
【市の各施策の重要度の経年比較】

『市の各施策に対する重要度』については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせた“重要である”が平成 26 年度調査と比べて「c. 文化活動の指導者や研究者の養成」が 13.2 ポイント、「j. 文化財保護のための PR や人材の育成」が 10.1 ポイント増加している他、すべての項目で重要度が高くなっています。

「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”については、1 ポイント前後の増減であり差のない回答となっています。



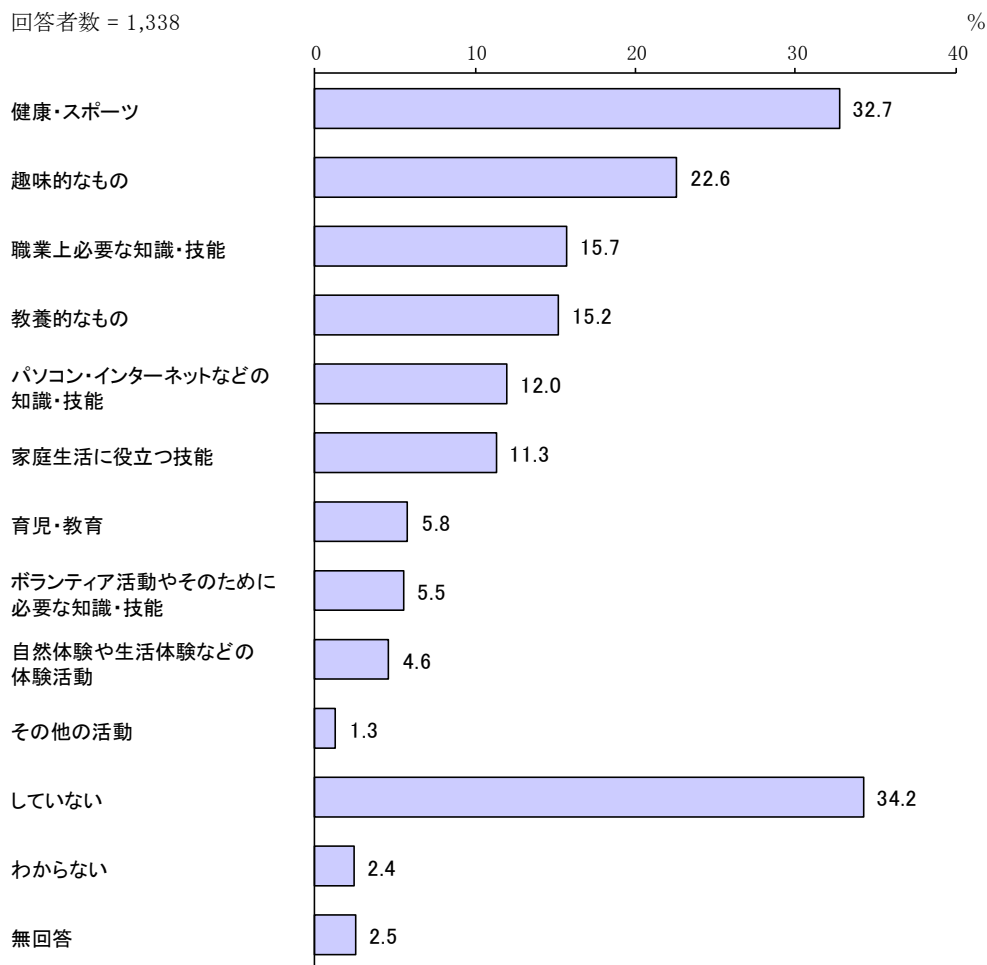
【市の各施策の重要度の経年比較（つづき）】



B 生涯学習の活動について

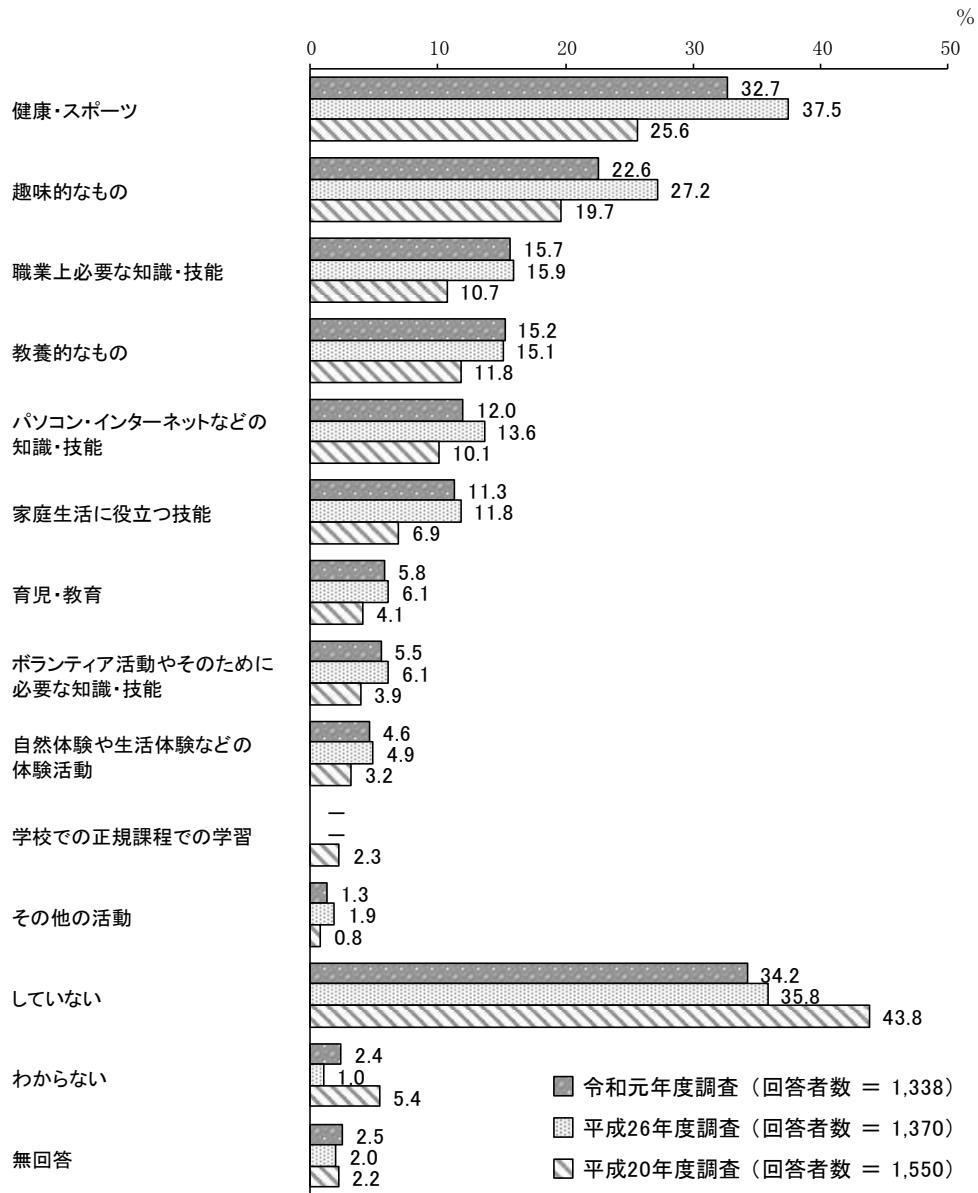
問 17 あなたは、この1年間（平成30年8月～令和元年7月）に『生涯学習』をしたことがありますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
（○はいくつでも）

「していない」の割合が34.2%と最も高く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」の割合が32.7%、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」の割合が22.6%となっています。



【経年比較】

平成 20 年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「していない」の割合が減少しています。



※平成 25 年度調査、令和元年度調査には、「学校での正規課程での学習」の選択肢はありません。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「健康・スポーツ」「パソコン・インターネットなどの知識・技能」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「趣味的なもの」「家庭生活に役立つ技能」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	していない	わからない	無回答
男性	575	19.3	17.0	37.0	6.4	3.5	17.9	16.9	6.1	5.9	1.2	34.6	2.3	1.4
女性	732	25.4	14.1	30.1	15.3	7.7	14.2	8.3	5.2	3.8	1.5	33.9	2.6	2.5
その他／答えたくない	7	—	—	14.3	—	14.3	14.3	14.3	—	—	—	57.1	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50～59歳で「していない」の割合が高く、4割を超えています。また、70歳以上で「健康・スポーツ」の割合が4割近く、20～29歳で「職業上必要な知識・技能」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：％

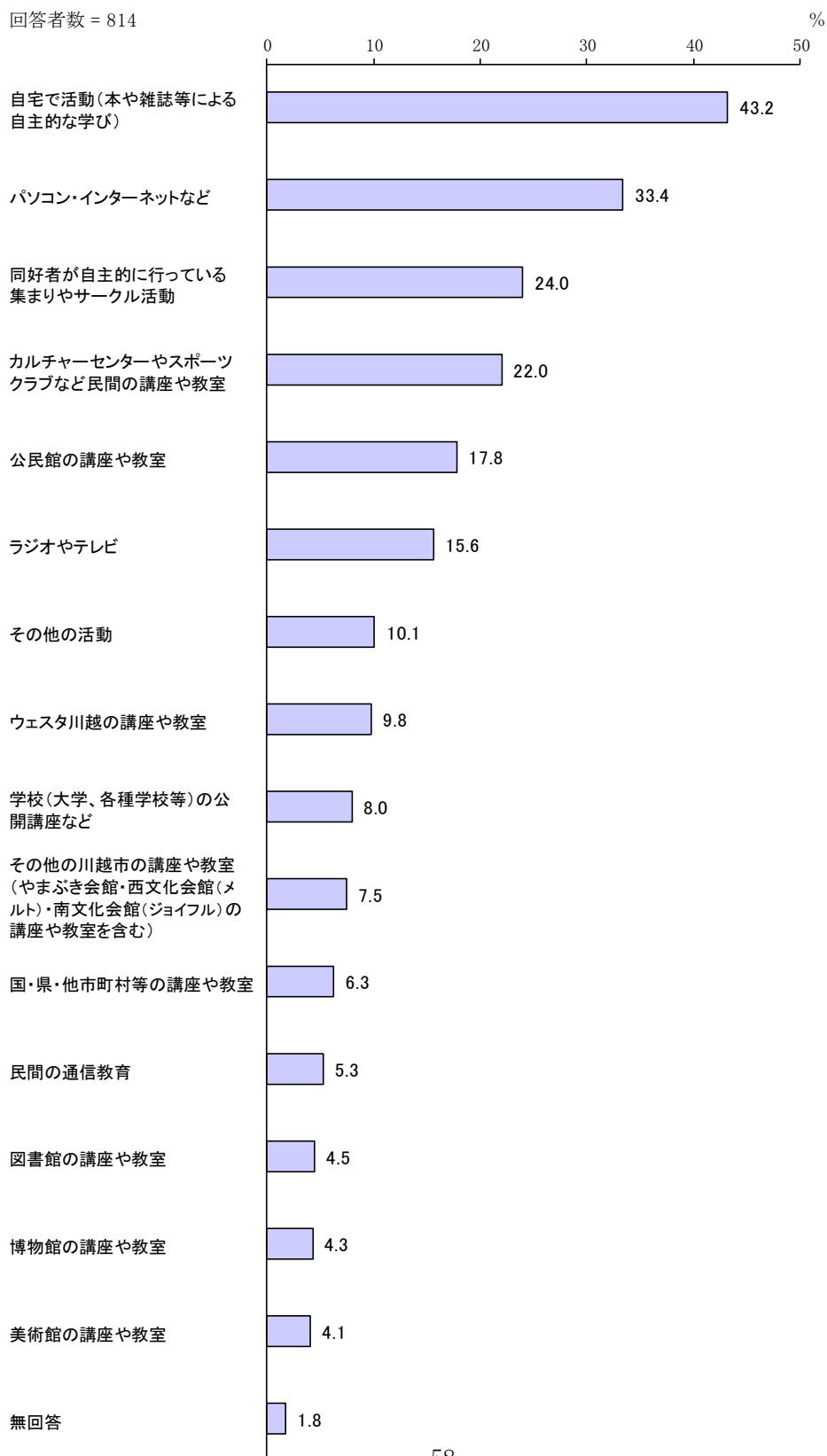
区分	回答者数(件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	していない	わからない	無回答
18・19歳	8	25.0	25.0	37.5	12.5	—	25.0	12.5	—	—	—	25.0	12.5	—
20～29歳	103	29.1	20.4	32.0	20.4	9.7	35.0	18.4	8.7	1.9	—	20.4	5.8	—
30～39歳	189	16.4	15.9	28.0	14.8	13.8	26.5	9.0	1.6	8.5	1.1	30.2	3.7	0.5
40～49歳	231	19.9	16.9	29.0	9.1	10.8	21.6	14.3	2.6	4.8	0.4	35.5	2.6	—
50～59歳	191	14.1	9.9	33.0	5.8	4.7	16.8	13.1	7.3	6.3	1.6	42.4	1.6	1.0
60～69歳	251	27.9	17.1	35.5	12.7	1.2	10.4	12.0	6.4	5.6	1.2	39.0	0.8	0.4
70歳以上	337	26.7	13.1	36.8	9.8	0.9	3.6	10.1	7.1	2.1	2.7	32.0	2.1	6.5

問 17 で 1. ～ 10. と答えた方におたずねします。

問 18 あなたは、『生涯学習』をどのように行っていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

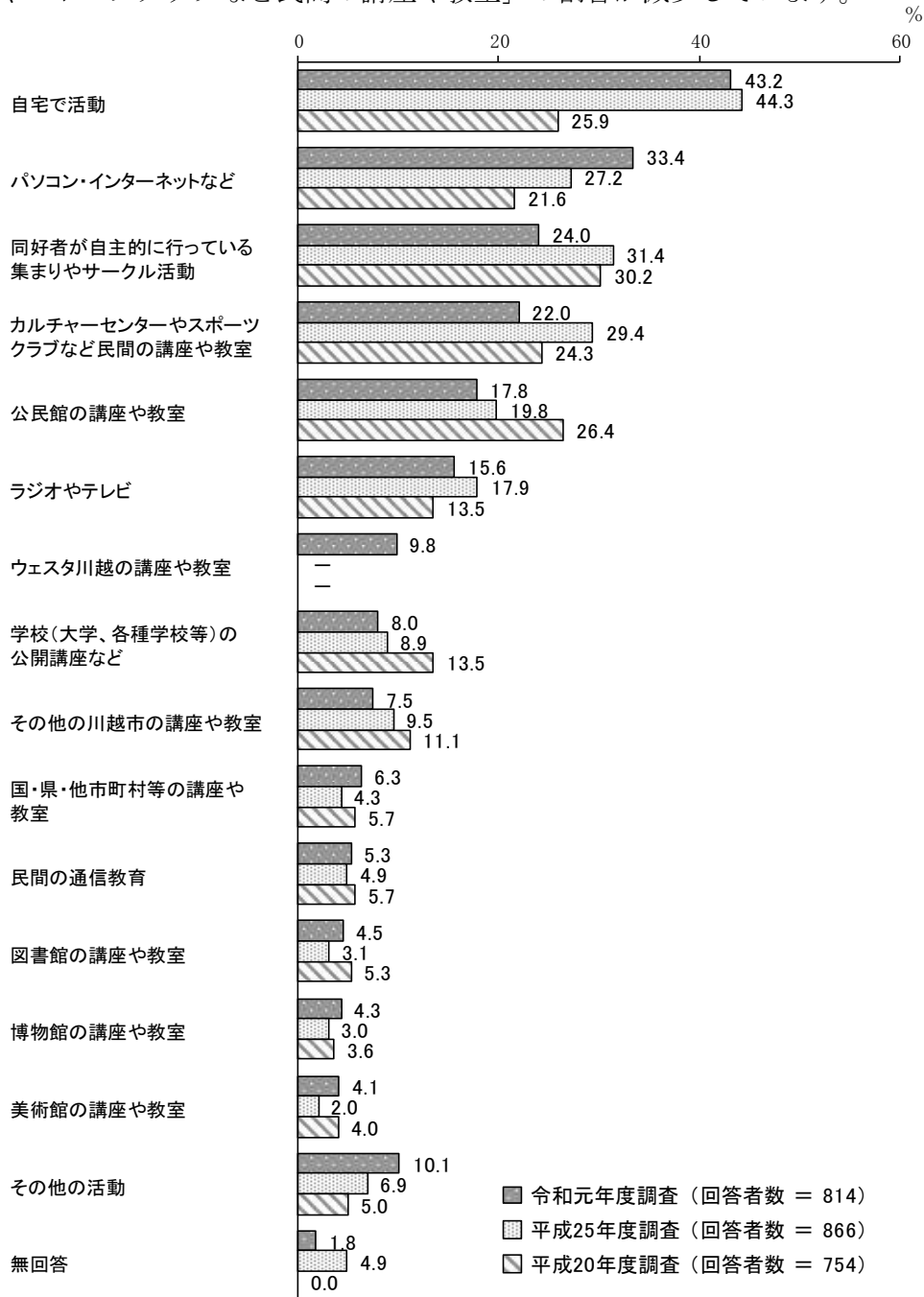
「自宅で活動(本や雑誌等による自主的な学び)」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「パソコン・インターネットなど」の割合が 33.4%、「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」の割合が 24.0%となっています。

回答者数 = 814



【経年比較】

平成 20 年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「パソコン・インターネットなど」の割合が増加しています。一方、「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」の割合が減少しています。



※平成 20 年度調査、平成 25 年度調査には「ウエスタ川越の講座や教室」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）」「パソコン・インターネットなど」の割合が、年代が高くなるにつれ「公民館の講座や教室」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、70歳以上で「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」の割合が高く、4割となっています。

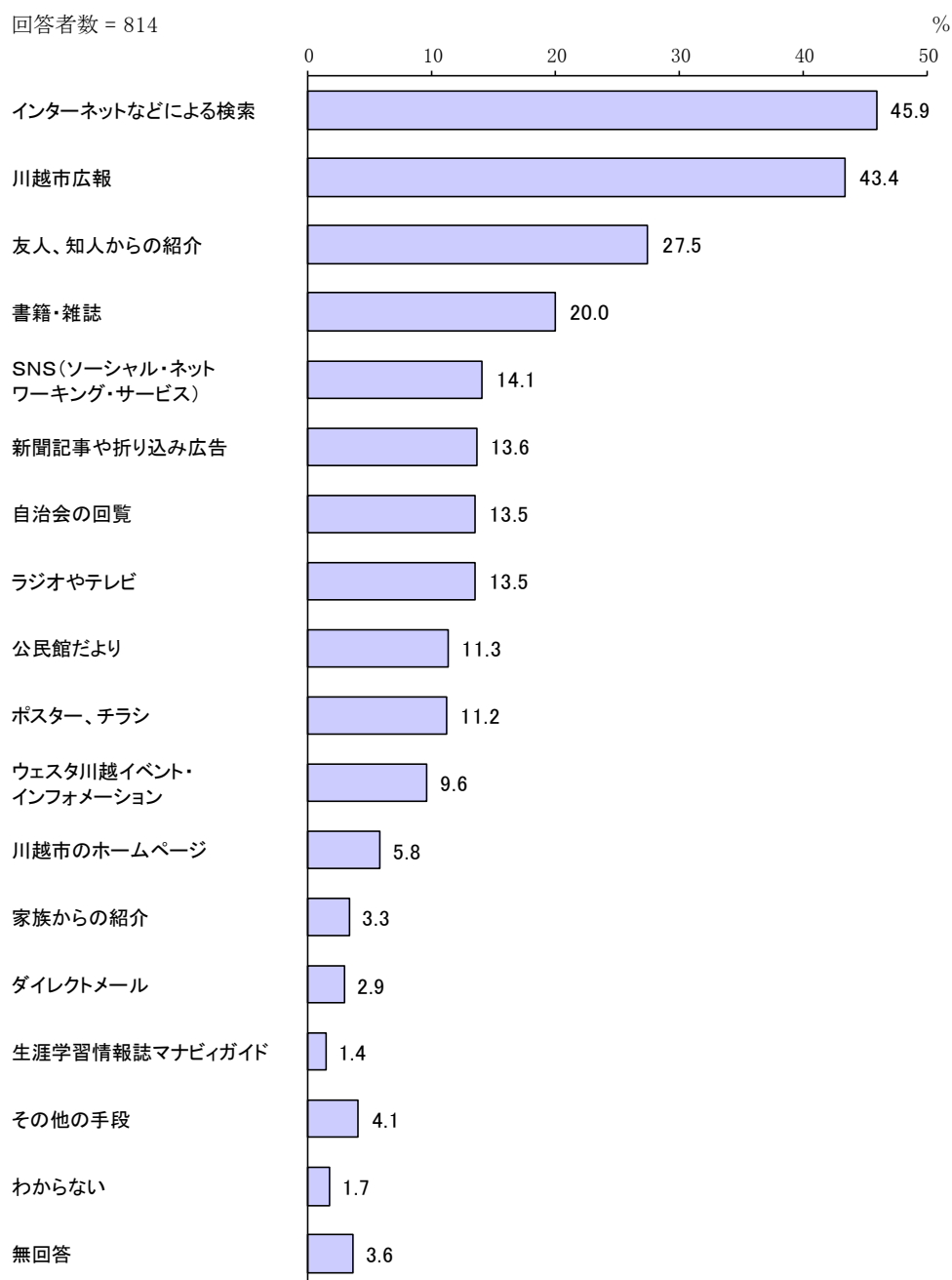
単位：％

区分	回答者数 (件)	公民館の講座や教室	図書館の講座や教室	博物館の講座や教室	美術館の講座や教室	ウエスタ川越の講座や教室	その他の川越市の講座や教室	国・県・他市町村等の講座や教室	学校（大学、各種学校等）の公開講座など	カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室	民間の通信教育	同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動	自宅で活動 (本や雑誌等による自主的な学び)	パソコン・インターネットなど	ラジオやテレビ	その他の活動	無回答
18・19歳	5	—	—	—	—	—	20.0	—	60.0	—	—	20.0	40.0	—	—	20.0	—
20～29歳	76	2.6	1.3	1.3	1.3	2.6	3.9	3.9	14.5	10.5	2.6	14.5	63.2	52.6	10.5	15.8	—
30～39歳	124	8.1	4.0	2.4	2.4	5.6	4.8	4.8	4.8	16.9	8.1	20.2	57.3	42.7	11.3	11.3	—
40～49歳	143	8.4	2.8	4.2	3.5	4.9	2.8	7.0	6.3	30.8	9.8	14.0	44.1	36.4	11.2	14.0	2.1
50～59歳	105	9.5	5.7	2.9	1.9	4.8	10.5	10.5	8.6	33.3	5.7	17.1	42.9	41.0	16.2	15.2	—
60～69歳	150	27.3	4.0	7.3	6.0	14.0	10.7	4.7	7.3	24.0	6.0	27.3	39.3	32.7	18.0	5.3	2.7
70歳以上	200	33.0	7.0	5.5	6.5	17.5	10.0	6.0	7.0	15.0	0.5	39.5	30.5	17.0	22.0	5.0	4.0

問 17 で 1. ～ 10. と答えた方におたずねします。

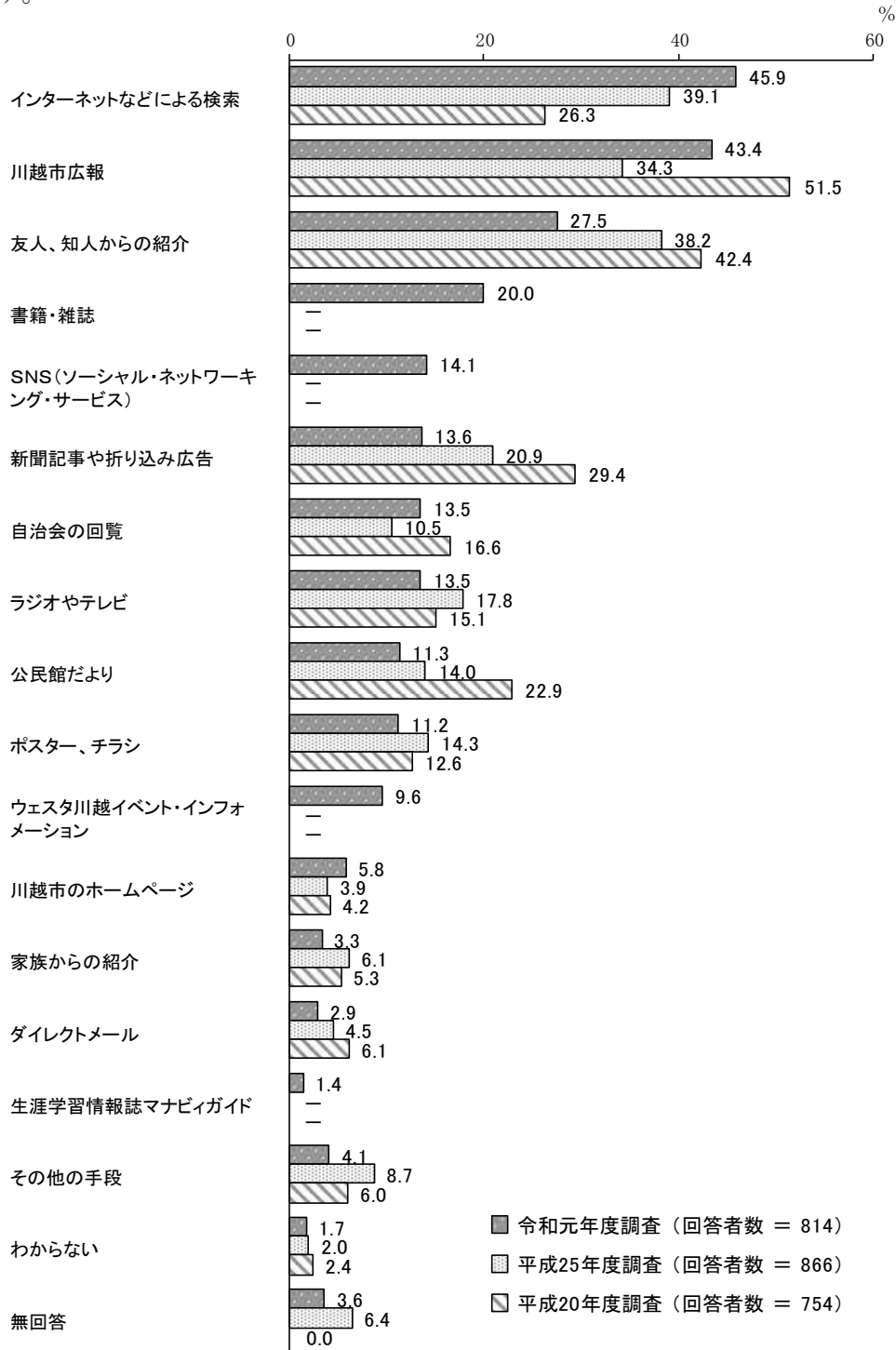
問 19 あなたは、『生涯学習』に関する情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「インターネットなどによる検索」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「川越市広報」の割合が 43.4%、「友人、知人からの紹介」の割合が 27.5%となっています。



【経年比較】

平成 20 年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「インターネットなどによる検索」の割合が増加しています。一方、「友人、知人からの紹介」「新聞記事や折り込み広告」の割合が減少しています。



※平成 20 年度調査、平成 25 年度調査には、「書籍・雑誌」「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」「ウエスタ川越イベント・インフォメーション」「生涯学習情報誌マナビガイド」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「書籍・雑誌」「インターネットなどによる検索」「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」の割合が、年代が高くなるにつれ「川越市広報」「公民館だより」「自治会の回覧」の割合が高くなる傾向がみられます。

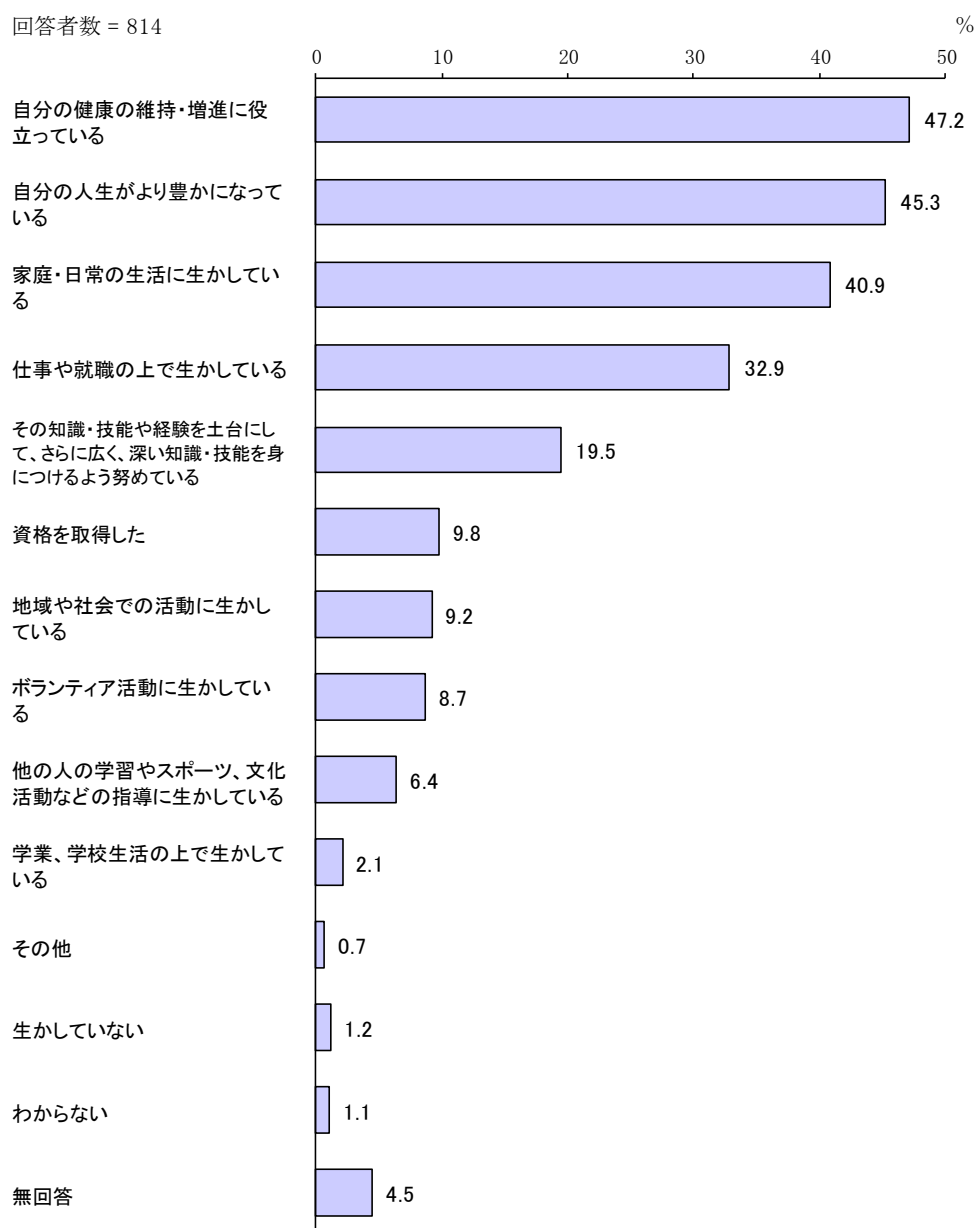
単位：％

区分	回答者数 (件)	川越市広報	公民館だより	自治会の回覧	川越市のホームページ	ウエスタ川越イベント・ インフォメーション	生涯学習情報誌マナビイガイド	家族からの紹介	友人、知人からの紹介	新聞記事や折り込み広告	書籍・雑誌	ポスター、チラシ	ダイレクトメール	ラジオやテレビ	インターネットなどによる検索	SNS（ソーシャル・ ネットワーキング・サービス）	その他の手段	わからない	無回答
18・19 歳	5	20.0	—	—	—	—	—	—	20.0	—	40.0	—	—	—	20.0	—	40.0	—	
20～29 歳	76	15.8	—	2.6	1.3	3.9	—	3.9	31.6	6.6	34.2	6.6	1.3	11.8	78.9	42.1	3.9	1.3	1.3
30～39 歳	124	26.6	0.8	6.5	7.3	3.2	2.4	2.4	16.9	3.2	25.8	10.5	0.8	10.5	64.5	23.4	8.9	3.2	1.6
40～49 歳	143	37.8	0.7	7.0	4.2	10.5	1.4	4.9	24.5	8.4	18.9	13.3	2.1	9.1	62.9	25.2	4.9	1.4	3.5
50～59 歳	105	39.0	6.7	10.5	7.6	4.8	—	4.8	23.8	12.4	20.0	10.5	2.9	13.3	61.0	13.3	1.0	1.9	2.9
60～69 歳	150	58.7	16.7	12.7	6.7	16.0	2.0	2.7	27.3	16.0	18.0	12.0	4.7	16.7	33.3	1.3	4.0	0.7	3.3
70 歳以上	200	59.5	27.5	29.5	6.5	12.0	1.5	2.5	37.5	24.0	13.0	11.5	4.0	16.5	14.0	—	2.0	1.0	6.5

問 17 で 1. ～ 10. と答えた方におたずねします。

問 20 あなたは、『生涯学習』を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「自分の人生がより豊かになっている」の割合が 45.3%、「家庭・日常の生活に生かしている」の割合が 40.9%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「仕事や就職の上で生かしている」の割合が、年代が高くなるにつれ「自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、30～39歳で「家庭・日常の生活に生かしている」の割合が5割を超え、60～69歳で「自分の人生がより豊かになっている」の割合が高く、5割半ばとなっています。

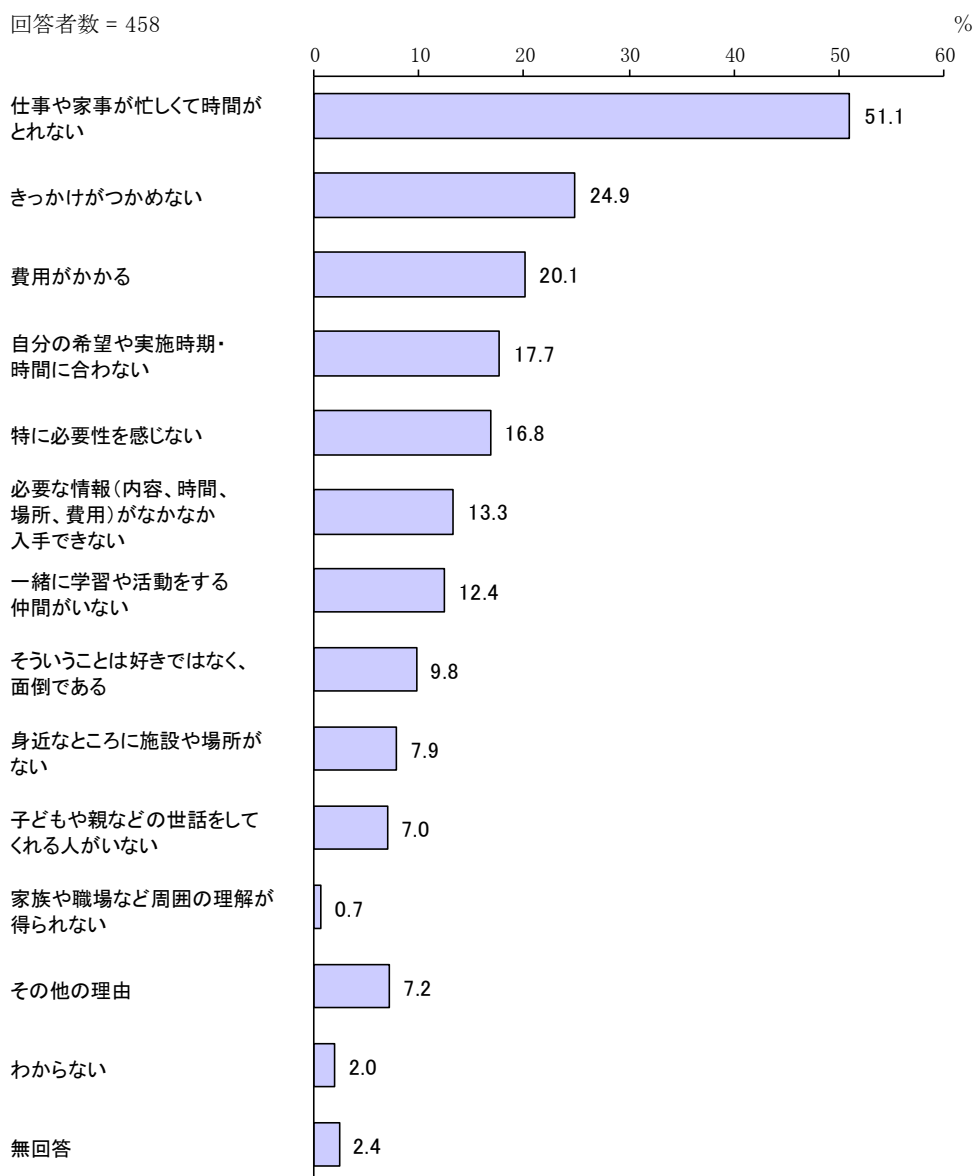
単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事や就職の上で生かしている	ボランティア活動に生かしている	資格を取得した	家庭・日常の生活に生かしている	地域や社会での活動に生かしている	その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く深い知識・技能を身につけるよう努めている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	自分の人生がより豊かになっている	自分の健康の維持・増進に役立っている	学業、学校生活の上で生かしている	その他	生かしていない	わからない	無回答
18・19歳	5	40.0	—	20.0	60.0	—	—	—	40.0	40.0	60.0	—	—	—	—
20～29歳	76	57.9	6.6	17.1	38.2	5.3	30.3	7.9	42.1	26.3	10.5	—	—	2.6	3.9
30～39歳	124	54.8	2.4	12.9	52.4	5.6	23.4	3.2	37.9	37.1	—	0.8	—	0.8	2.4
40～49歳	143	40.6	3.5	13.3	42.7	4.9	16.8	4.2	35.0	35.0	2.1	0.7	1.4	0.7	4.2
50～59歳	105	39.0	10.5	11.4	27.6	12.4	19.0	10.5	47.6	46.7	1.0	1.0	1.9	1.0	3.8
60～69歳	150	22.0	12.7	8.0	42.0	12.0	19.3	6.7	54.7	56.0	1.3	—	3.3	1.3	5.3
70歳以上	200	9.0	12.5	3.5	39.0	13.0	16.0	7.5	50.0	64.0	—	1.5	0.5	1.0	6.0

問 17 で『1 1. していない』と答えた方におたずねします。

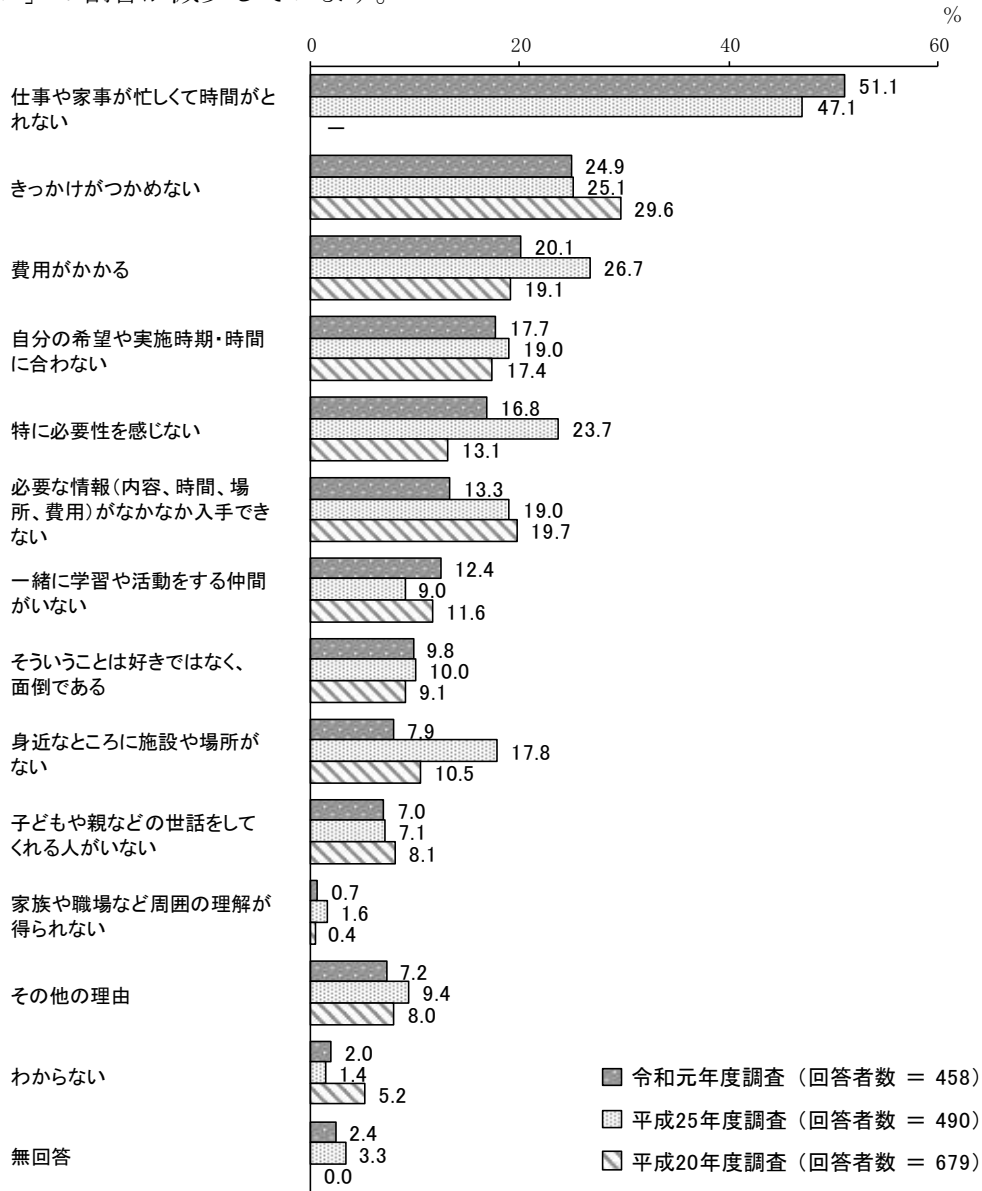
問 21 あなたが、『生涯学習』を行っていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」の割合が 24.9%、「費用がかかる」の割合が 20.1%となっています。



【経年比較】

平成 20 年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「費用がかかる」「特に必要性を感じない」「必要な情報（内容、時間、場所、費用）がなかなか入手できない」「身近なところに施設や場所がない」の割合が減少しています。



※「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」は、平成 20 年度調査では、「仕事に忙しくて時間がない」「家事に忙しくて時間がない」に分けて集計しています。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に必要性を感じない」「そういうことは好きではなく、面倒である」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」「子どもや親などの世話をしてくれる人がいない」「自分の希望や実施時期・時間に合わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事や家事が忙しくて時間がとれない	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	費用がかかる	必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がない	自分の希望や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きっかけがつかめない	面倒である	特に必要性を感じない	その他の理由	わからない	無回答
男性	199	48.2	1.5	19.6	15.1	13.6	6.0	14.6	0.5	25.1	11.6	19.6	6.5	2.0	2.0
女性	248	54.8	11.3	20.6	12.1	11.7	9.3	20.6	0.8	25.0	7.3	13.7	8.1	2.0	2.4
その他／答えたくない	4	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—

【年代別】

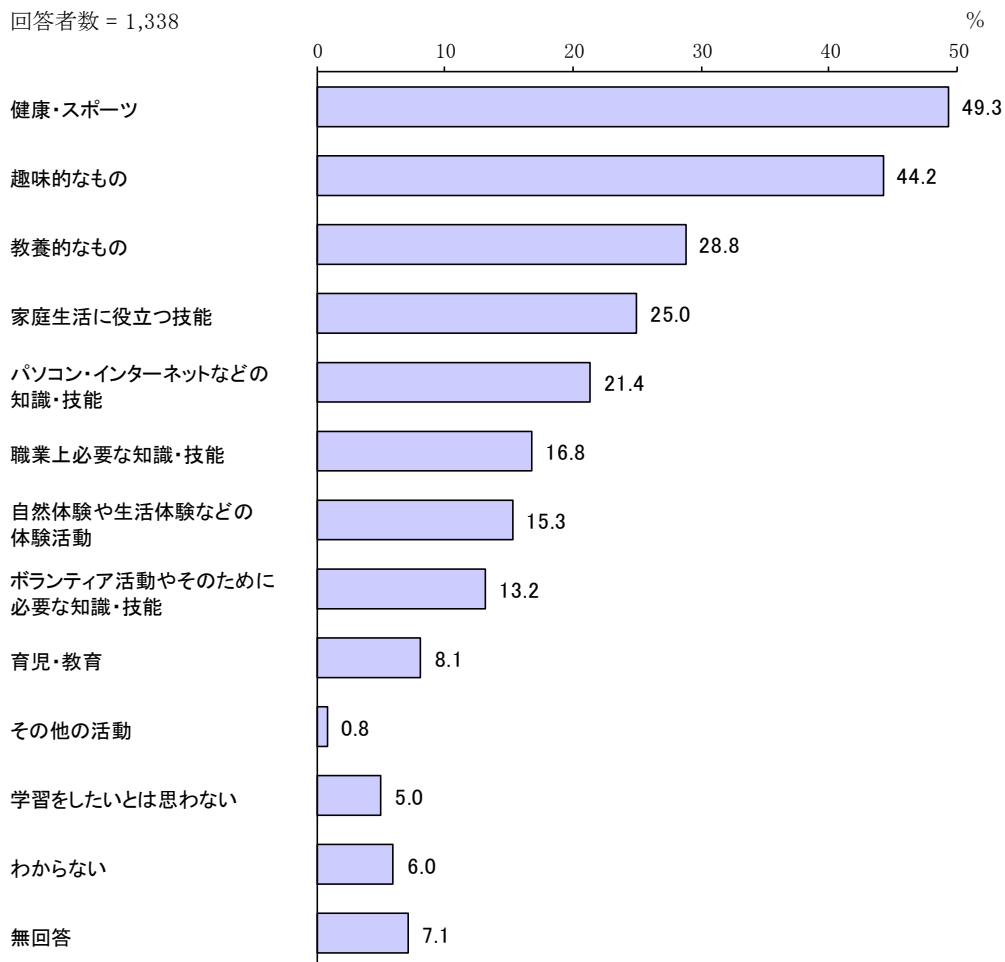
年代別でみると、他の年代に比べ、50～59歳で「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、20～29歳で「費用がかかる」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事や家事が忙しくて時間がとれない	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	費用がかかる	必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がない	自分の希望や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きっかけがつかめない	面倒である	特に必要性を感じない	その他の理由	わからない	無回答
18・19歳	2	—	—	—	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—
20～29歳	21	71.4	14.3	33.3	9.5	23.8	14.3	9.5	—	33.3	19.0	14.3	—	4.8	—
30～39歳	57	68.4	21.1	28.1	14.0	12.3	5.3	21.1	—	21.1	12.3	8.8	1.8	1.8	—
40～49歳	82	68.3	11.0	24.4	9.8	7.3	7.3	17.1	2.4	17.1	7.3	14.6	3.7	1.2	2.4
50～59歳	81	74.1	6.2	28.4	18.5	13.6	2.5	28.4	1.2	29.6	6.2	17.3	1.2	—	1.2
60～69歳	98	41.8	2.0	16.3	13.3	10.2	10.2	16.3	—	27.6	6.1	21.4	8.2	4.1	2.0
70歳以上	108	21.3	0.9	7.4	12.0	13.9	10.2	12.0	—	25.0	13.0	17.6	18.5	1.9	4.6

問 22 あなたは、今後どのような『生涯学習』をしてみたいと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

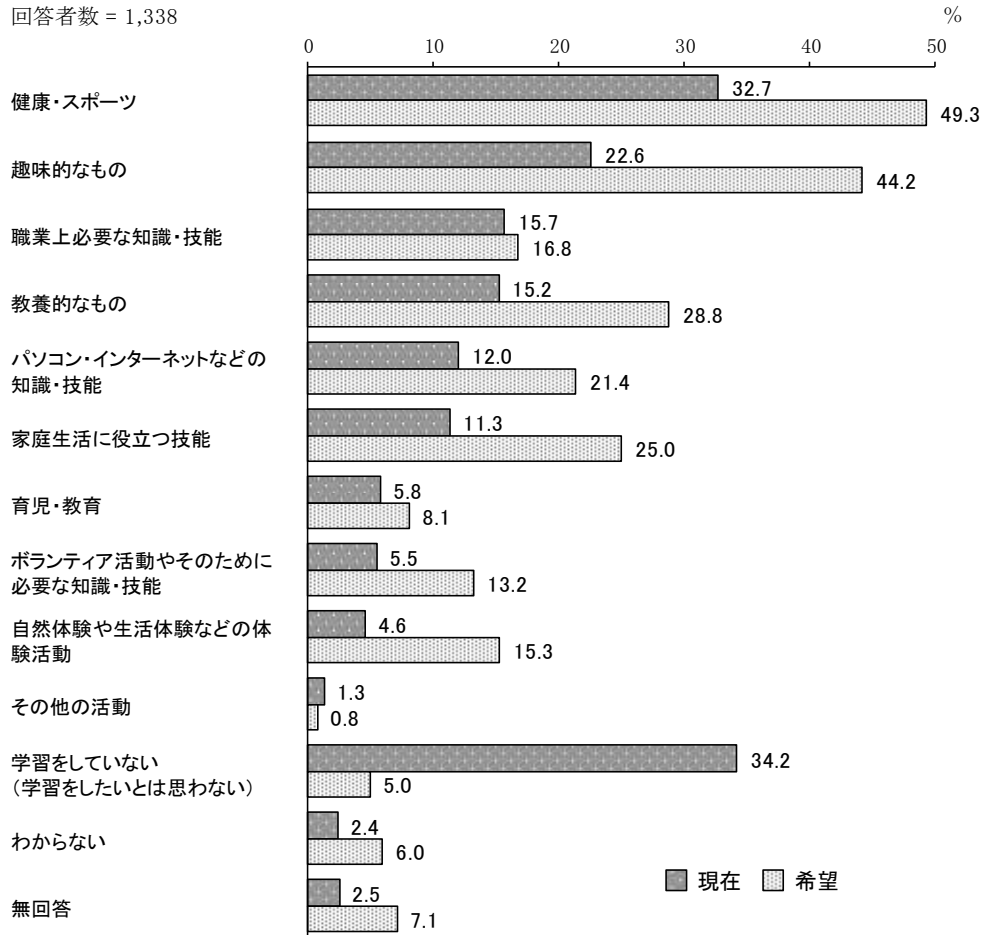
「健康・スポーツ」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「趣味的なもの」の割合が 44.2%、「教養的なもの」の割合が 28.8%となっています。



<現在と希望の比較>

問 17 の現在の活動状況と比較すると、「学習をしていない」の 34.2%に対して、「学習をしたいとは思わない」は 5%となっています。

回答者数 = 1,338



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「趣味的なもの」「家庭生活に役立つ技能」「育児・教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	学習をしたいとは思わない	わからない	無回答
男性	575	37.7	30.4	49.6	15.3	4.3	18.6	23.7	13.9	15.5	1.2	5.7	6.3	6.6
女性	732	50.0	28.4	50.0	33.1	11.2	15.6	20.4	13.1	15.6	0.5	4.5	5.3	6.4
その他／ 答えたくない	7	28.6	—	14.3	—	14.3	14.3	14.3	—	—	—	14.3	42.9	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29歳で「趣味的なもの」「健康・スポーツ」「家庭生活に役立つ技能」の割合が、20～29歳、30～39歳で「育児・教育」「職業上必要な知識・技能」の割合が高くなっています。

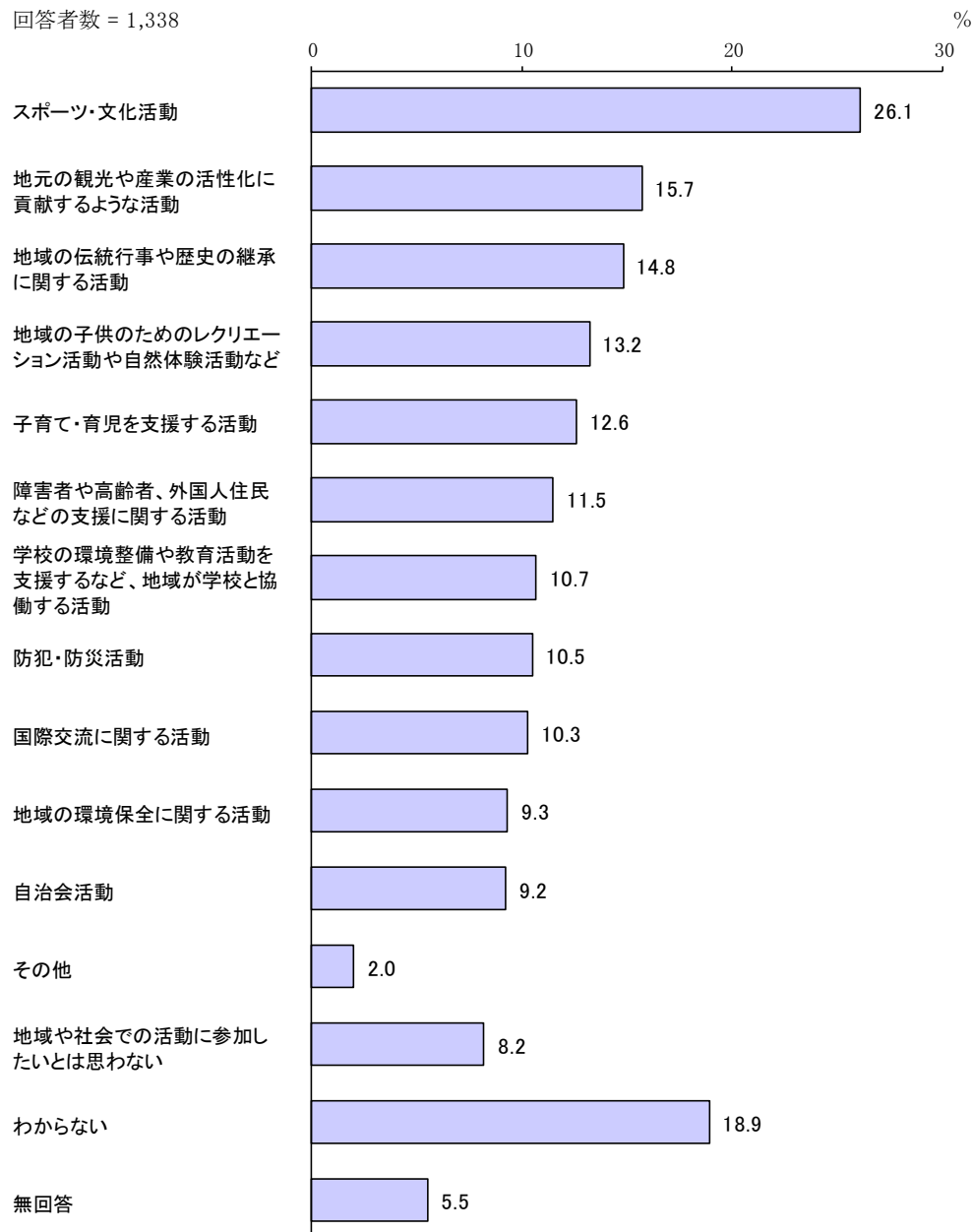
単位：％

区分	回答者数(件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	学習をしたいとは思わない	わからない	無回答
18・19歳	8	62.5	25.0	62.5	37.5	12.5	37.5	37.5	25.0	37.5	—	—	—	—
20～29歳	103	55.3	29.1	59.2	43.7	21.4	33.0	27.2	9.7	18.4	—	1.0	4.9	2.9
30～39歳	189	46.0	30.2	45.0	33.9	22.8	33.3	24.3	10.6	26.5	1.6	2.1	3.2	4.8
40～49歳	231	51.5	31.6	52.8	26.4	12.1	24.7	23.4	14.7	16.5	0.9	3.9	6.5	2.2
50～59歳	191	45.5	35.6	53.4	21.5	4.2	20.4	23.6	16.2	19.9	0.5	2.6	4.2	5.2
60～69歳	251	43.0	29.9	49.8	24.3	1.2	6.0	21.9	14.7	12.4	0.4	6.8	8.0	5.6
70歳以上	337	35.3	22.6	44.2	15.7	0.6	3.3	16.3	12.2	6.2	1.2	9.2	7.1	13.1

問 23 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「スポーツ・文化活動」の割合が26.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.9%、「地域の観光や産業の活性化に貢献するような活動」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 1,338



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「スポーツ・文化活動」「自治会活動」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育て・育児を支援する活動」「障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校の環境整備や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	わからない	無回答
男性	575	9.4	12.3	6.8	17.7	16.7	31.5	8.5	11.8	9.7	13.2	13.7	1.7	8.5	17.7	3.8
女性	732	11.9	14.2	17.2	14.5	13.7	22.7	13.7	7.5	10.9	8.6	5.9	2.2	7.8	19.9	5.6
その他／ 答えたくない	7	—	—	28.6	—	14.3	—	14.3	—	—	—	14.3	—	42.9	28.6	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29歳で「スポーツ・文化活動」の割合が高く、4割近くとなっています。また、30～39歳で「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」の割合が、50～59歳で「地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校の環境整備や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	わからない	無回答
18・19歳	8	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	—	—	—	12.5	—
20～29歳	103	13.6	20.4	23.3	11.7	14.6	37.9	11.7	1.9	13.6	12.6	1.9	1.0	7.8	19.4	1.0
30～39歳	189	11.1	27.0	22.8	15.3	15.3	28.0	9.5	6.3	13.8	14.8	3.2	—	10.1	16.9	0.5
40～49歳	231	10.8	13.4	19.5	19.9	15.2	26.4	14.3	6.1	16.0	10.4	5.6	0.4	8.2	20.3	1.7
50～59歳	191	12.0	9.4	10.5	24.1	18.3	31.4	12.6	8.4	9.4	8.4	6.8	2.6	6.3	20.9	2.1
60～69歳	251	8.8	8.8	7.2	14.3	17.5	24.3	12.7	13.9	11.2	9.6	8.8	1.6	9.2	20.7	4.4
70歳以上	337	10.1	8.9	4.5	10.1	11.0	20.8	8.3	12.8	3.3	9.5	19.9	4.5	8.0	17.2	12.8

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、古谷地区で「地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動」の割合が高く、3割となっています。

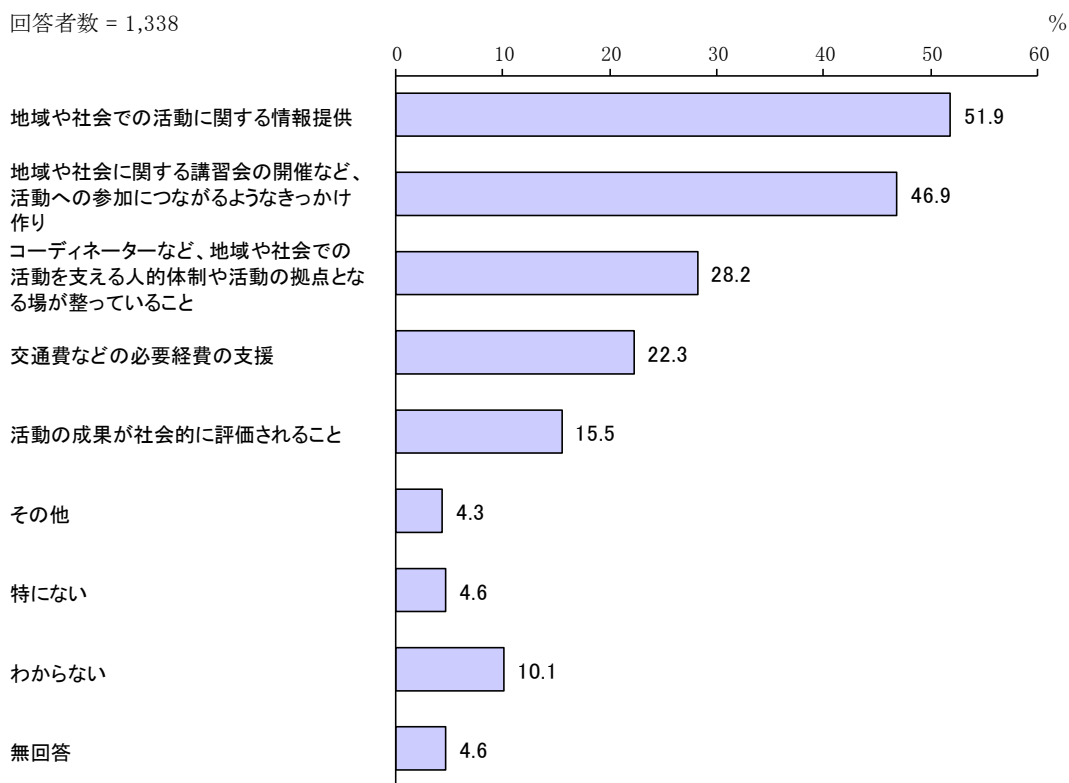
単位：%

区分	回答者数（件）	学校の環境整備や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	わからない	無回答
本庁管内	395	10.1	13.2	12.9	20.3	18.0	24.3	8.9	7.8	11.4	9.9	10.4	1.8	9.6	19.5	3.0
芳野地区	18	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	33.3	5.6	16.7	11.1	16.7	5.6	—	5.6	33.3	—
古谷地区	33	6.1	6.1	3.0	15.2	30.3	21.2	6.1	21.2	6.1	9.1	18.2	—	3.0	12.1	9.1
南古谷地区	92	10.9	12.0	15.2	18.5	13.0	20.7	8.7	9.8	9.8	10.9	5.4	3.3	8.7	21.7	8.7
高階地区	170	9.4	14.7	19.4	12.4	17.1	25.9	15.3	8.8	10.6	10.0	10.0	1.8	6.5	19.4	6.5
福原地区	67	22.4	17.9	11.9	6.0	10.4	23.9	22.4	7.5	10.4	11.9	9.0	1.5	9.0	19.4	4.5
大東地区	132	8.3	13.6	10.6	15.9	13.6	28.8	7.6	12.1	3.0	11.4	10.6	0.8	9.8	15.2	4.5
霞ヶ関地区	150	9.3	11.3	11.3	11.3	12.0	31.3	13.3	11.3	10.7	13.3	7.3	2.0	4.7	20.7	6.0
川鶴地区	34	17.6	11.8	8.8	17.6	2.9	29.4	14.7	2.9	11.8	5.9	5.9	2.9	8.8	20.6	8.8
霞ヶ関北地区	56	12.5	16.1	7.1	25.0	14.3	25.0	16.1	14.3	23.2	16.1	12.5	3.6	7.1	12.5	5.4
名細地区	101	8.9	12.9	13.9	10.9	13.9	33.7	9.9	6.9	7.9	9.9	9.9	4.0	10.9	14.9	2.0
山田地区	49	18.4	14.3	6.1	16.3	12.2	24.5	16.3	6.1	16.3	4.1	6.1	2.0	8.2	30.6	2.0

問 24 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
(○はいくつでも)

「地域や社会での活動に関する情報提供」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が 46.9%、「コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること」の割合が 28.2%となっています。

回答者数 = 1,338



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50～59 歳、60～69 歳で「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が高く、5割を超えています。また、20～29 歳で「交通費などの必要経費の支援」の割合が高く、4割近くとなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や社会での活動に関する情報提供	地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り	拠点となる場が整っていること	コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の	活動の成果が社会的に評価されること	交通費などの必要経費の支援	その他	特にない	わからない	無回答
18・19 歳	8	62.5	25.0	25.0	12.5	—	—	—	25.0	—	
20～29 歳	103	56.3	43.7	25.2	21.4	38.8	4.9	1.0	7.8	1.0	
30～39 歳	189	54.5	43.9	31.2	24.9	27.0	5.8	2.1	9.5	0.5	
40～49 歳	231	48.1	42.9	29.4	20.3	24.7	7.4	4.3	14.3	0.9	
50～59 歳	191	55.5	51.8	34.6	13.1	20.9	6.3	2.6	6.8	2.6	
60～69 歳	251	53.4	52.6	28.3	12.7	19.1	2.4	7.2	10.0	4.0	
70 歳以上	337	49.0	46.3	23.7	8.9	16.6	1.5	7.1	10.4	10.1	

【地区別】

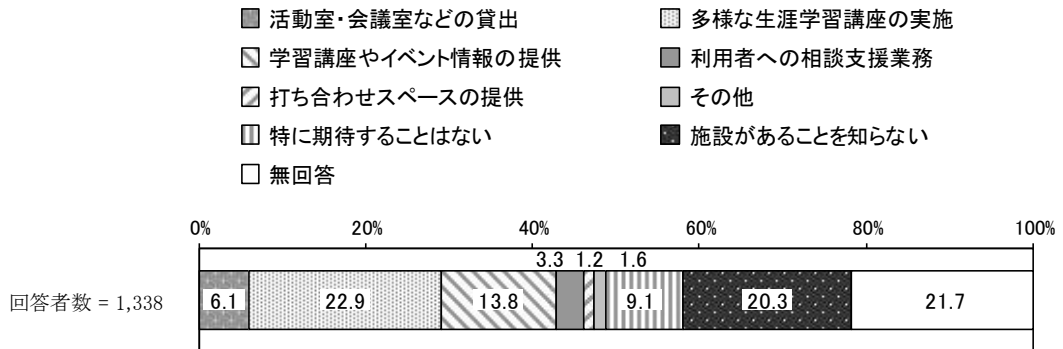
地区別でみると、他に比べ、古谷地区で「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が高く、7割近くとなっています。また、高階地区、霞ヶ関北地区で「地域や社会での活動に関する情報提供」の割合が高く、6割近くとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	地域や社会での活動に関する 情報提供	地域や社会に関する講習会の開催 など、活動への参加につながるような きっかけ作り	コーディネーターなど、地域や社会 での活動を支える人的体制や活動の 拠点となる場が整っていること	活動の成果が社会的に 評価されること	交通費などの必要経費の支援	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
本庁管内	395	53.7	48.6	29.4	15.4	21.0	4.3	5.3	9.9	2.8
芳野地区	18	38.9	16.7	11.1	5.6	16.7	—	11.1	27.8	—
古谷地区	33	45.5	66.7	27.3	12.1	24.2	—	—	3.0	6.1
南古谷地区	92	47.8	42.4	23.9	16.3	20.7	4.3	2.2	10.9	8.7
高階地区	170	57.1	49.4	29.4	13.5	24.7	4.7	4.1	10.6	4.1
福原地区	67	53.7	43.3	29.9	17.9	25.4	1.5	10.4	4.5	4.5
大東地区	132	50.8	53.0	25.0	14.4	25.0	2.3	5.3	8.3	2.3
霞ヶ関地区	150	48.7	44.0	30.0	17.3	22.7	3.3	4.7	14.0	6.7
川鶴地区	34	50.0	44.1	32.4	11.8	23.5	2.9	11.8	8.8	2.9
霞ヶ関北地区	56	58.9	58.9	30.4	23.2	21.4	8.9	1.8	—	3.6
名細地区	101	49.5	40.6	33.7	21.8	17.8	7.9	3.0	10.9	2.0
山田地区	49	51.0	34.7	24.5	6.1	26.5	8.2	—	18.4	4.1

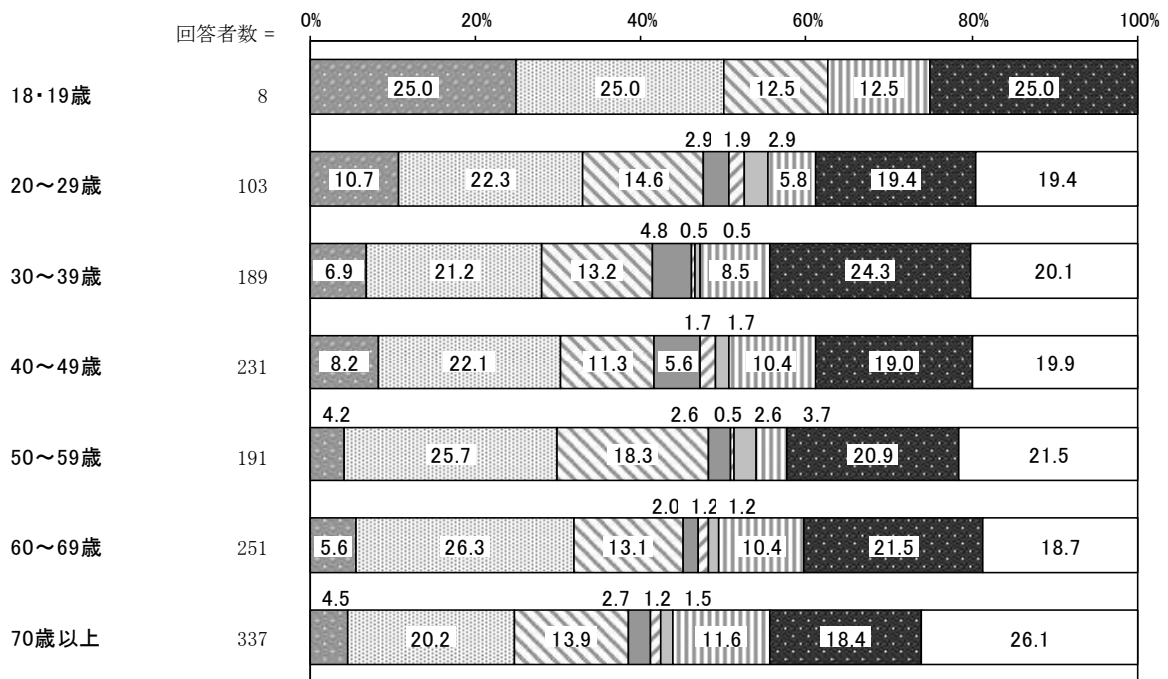
問 25 川越市では、市民の皆さんの自主的な学習活動を支援し、市民活動の場や生涯学習の機会の充実を目的とした市民活動・生涯学習施設（ウェスタ川越2階）が平成27年にオープンし、主体的な学びの場として活用されています。
 あなたは、この施設にどのような運営・役割を期待しますか。次の中から最も当てはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

「多様な生涯学習講座の実施」の割合が22.9%と最も高く、次いで「施設があることを知らない」の割合が20.3%、「学習講座やイベント情報の提供」の割合が13.8%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39歳で「施設があることを知らない」の割合が高く、2割半ばとなっています。



令和元年度 川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査報告書

発行日 令和元年 11 月

発行 川越市

編集 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1

電話：049-224-8811（代表）

049-224-6157（直通）

FAX：049-224-8712

E-mail：bunkashinko@city.kawagoe.saitama.jp

URL：http://www.city.kawagoe.saitama.jp/